

香川県立ミュージアム 年報

第 10 号（平成 29 年度）

香川県立ミュージアム

香川県立ミュージアム年報 第10号

目次

I 沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

II 事業の概要

本館

29年度の活動概要・・・・・・・・・・6

1 展示企画事業

(1) 館内展示

- ①歴史展示・・・・・・・・・・7
- ②常設展示・・・・・・・・・・8
- ③特別展示・・・・・・・・・・10
- ④ロビー展・・・・・・・・・・26
- ⑤貸館事業・・・・・・・・・・27

(2) 館外展示

市町等共同企画展示・・・・・・・・・・27

(3) 展示システム

- ①展示案内（委託業務）・・・・・・・・・・27
- ②音声ガイドシステム・・・・・・・・・・27

(4) 企画・広報

- ①広報活動・・・・・・・・・・27
- ②パスポート事業・・・・・・・・・・28

(5) 展覧会企画力向上事業・・・・・・・・・・29

2 地域連携学習支援事業

(1) 学校教育支援活動

- ①ミュージアム活用研究会・・・・・・・・・・30
- ②教員向け講座
（ティチャーズプログラム）・・・・・・・・・・30
- ③館蔵資料・
作品複製教材の制作・貸出・・・・・・・・・・30
- ④学校への広報・・・・・・・・・・31
- ⑤校外学習への協力・・・・・・・・・・31
- ⑥教員研修会への協力・・・・・・・・・・32
- ⑦職場体験学習・

インターンシップへの協力・・・・・・・・・・32

- ⑧大学との連携・・・・・・・・・・33
- ⑨博物館実習・・・・・・・・・・33
- ⑩体験学習室・・・・・・・・・・34
- ⑪図書コーナー・・・・・・・・・・34
- ⑫ビデオライブラリー・・・・・・・・・・34

(2) 地域連携活動

- ①職員の講師派遣・・・・・・・・・・34
- ②文化財レスキュー・・・・・・・・・・35
- ③ボランティア・・・・・・・・・・35
- ④香川県資料館協議会・・・・・・・・・・36

(3) 普及活動

- ①ワークショップ・・・・・・・・・・37
- ②キッズワークショップ・・・・・・・・・・38
- ③特別展関連イベント・・・・・・・・・・38
- ④講演会・・・・・・・・・・39
- ⑤学芸講座・・・・・・・・・・39
- ⑥ミュージアム・コンサート・・・・・・・・・・39

3 調査研究事業

(1) 調査研究活動

- ①寺社総合調査・・・・・・・・・・40
- ②収蔵資料の調査研究・・・・・・・・・・40
- ③資料所在等の確認調査・・・・・・・・・・40
- ④展示に係る調査・・・・・・・・・・41
- ⑤レファレンス等による調査・・・・・・・・・・41
- ⑥他機関との共同研究・・・・・・・・・・41
- ⑦各種研修の受講・・・・・・・・・・42

(2) 成果物公表

- ①研究成果の公表・・・・・・・・・・42
- ②刊行物・・・・・・・・・・44

4 資料の収集・整理・保管事業

(1) 資料収集活動

- ①購入資料・・・・・・・・・・45
- ②寄贈資料・・・・・・・・・・45
- ③寄託資料・・・・・・・・・・46
- ④文献資料の収集・・・・・・・・・・46

(2)資料整理保管活動	
①収蔵資料管理システム	46
②虫菌害対策	46
(3)館外特別利用状況	
①貸出利用一覧	47
②閲覧利用一覧	49
③画像利用一覧	50

分館 瀬戸内海歴史民俗資料館

29年度の活動概要	56
-----------	----

1 展示企画事業

(1)館内展示

①常設展示	57
②テーマ展	57

(2)企画広報

ホームページほか広報活動	57
--------------	----

2 地域連携学習支援事業

(1)学校教育支援活動

学校との連携	57
--------	----

(2)地域連携活動

①職員の講師派遣	58
②ボランティア	58

(3)普及活動

①れきみん講座	58
②ワークショップ	59

3 調査研究事業

(1)調査研究活動

①歴史民俗総合調査・研究	59
②有形民俗資料の調査・研究	59
③無形民俗資料の調査・研究	59
④展示に係る調査	59
⑤レファレンス等による調査	59
⑥教育普及に伴う調査	60
⑦ボランティア館外調査	60
⑧瀬戸内全誌に係る調査	60

(2)成果物公表

①研究成果の公表	60
②刊行物	60

4 資料の収集・整理・保管事業

(1)資料収集活動

①寄贈資料	61
②寄託解除	61
③文献資料の収集	61

(2)資料整理保管活動

収蔵資料管理システム	61
------------	----

(3)館外特別利用状況

①貸出利用一覧	62
②閲覧利用一覧	62
③画像利用一覧	62

分館 香川県文化会館

1 展示事業	64
--------	----

2 貸館事業

(1)県民ギャラリー	64
(2)芸能ホール	64
(3)和室	64

III 組織と運営

1 組織・職員

(1)組織図	65
(2)職員名簿	65

2 予算	65
------	----

3 香川県立ミュージアム

運営協議会	65
-------	----

4 利用状況	67
--------	----

IV 施設の概要

本館

1	建築概要	68
2	面積	69
3	各階配置図・平面図	71

分館 瀬戸内海歴史民俗資料館

1	建築概要	73
2	面積	73
3	平面図	74

分館 香川県文化会館

1	建築概要	75
2	面積	75
3	平面図	75

V 条例・規則等

	香川県立ミュージアム条例	77
	香川県立ミュージアム規則	77
	教育委員会の権限に関する事務の委任	80
	香川県立ミュージアムの 管理運営のための組織規則	80
	香川県立ミュージアム使用料規則	81
	香川県立ミュージアムの 歴史、美術及び民俗に関する資料収集要綱	83
	香川県立ミュージアムの 歴史、美術及び民俗に関する資料利用要綱	84
	利用案内	86

I 沿革

		香川県文化会館	瀬戸内海歴史民俗資料館	香川県歴史博物館
昭和39年	10月	建築工事着工		
昭和41年	4月	建築工事竣工		
		開館記念「第31回香川県美術展覧会」開催（以後毎年開催）		
昭和47年	1月		建築工事着工	
	4月		香川県教育委員会社会教育課内に設置準備室を置く	
昭和48年	3月		建築工事竣工	
	8月		発足	
	11月		開館（3日）	
			開館記念特別展示「国宝 伝讃岐国出土袈裟襴文銅鐸」	
昭和50年	5月		日本建築学会賞受賞	
昭和55年	3月		漁撈収蔵庫建築工事竣工	
昭和60年	9月	「県展50周年記念県展回顧展」開催		
		県展50周年記念レセプション開催、「県展史」発行		
昭和63年	11月	置県百年記念「香川の工芸の100年展」開催		
平成6年	4月			香川県教育委員会に建設準備室を設置
平成8年	7月			建築工事起工
平成9年	9月	第1回JIA25年賞受賞		
平成10年	10月		公共建築百選頭彰	
平成11年	3月			建築工事竣工
	11月			開館（16日）
平成12年	4月			開館記念特別展「徳川御三家展」を開催
平成15年	7月		開館30周年記念建造物「歴民の灯台」除幕式	
平成19年	4月		瀬戸内海歴史民俗資料館が香川県歴史博物館の分館となる	
		香川県立ミュージアム		
平成20年	4月	香川県歴史博物館と香川県文化会館を統合し香川県立ミュージアム開館（1日）		
		本館（旧歴史博物館）のほか、文化会館と瀬戸内海歴史民俗資料館の2分館体制となる（文化会館は改修工事のため一時休館）		
		開館記念展「静かなる情熱－藤川勇造とロダンの美」を開催		
平成21年	4月	文化会館の改修が終わり県民ギャラリーがオープン		
平成22年	10月	県立ミュージアム入館者50万人達成（13日）		
平成24年	9月	本館常設展示室2・4・5、多目的室を改修		
平成25年	10月	県立ミュージアム入館者数100万人達		
平成27年	3月	瀬戸内海歴史民俗資料館所蔵品310点が国重要有形民俗文化財に指定される		



香川県立ミュージアム外観



瀬戸内海歴史民俗資料館外観
撮影：四航コンサルタント



香川県文化会館外観
撮影：市川靖史

II 事業の概要

本館

1 展示企画事業

(1) 館内展示

① 歴史展示

歴史展示室では、香川県の生い立ちから現代までの歩みを通観できるよう、「かがわ今昔—香川の歴史と文化」と題して、原始・古代・中世・近世・近現代の5つの時代に分け、各時代を計20の大項目にそって展示を行っている。各時代入口には、象徴する建物や景観などを再現したメイン展示とあらましを紹介した映像（歴史ショーステージ）を配し、時代状況を捉えやすくしている。さらに、展示内容をより詳しく紹介するために、各時代の番組をタッチパネル式のモニターで放映している（詳覧映像）。

歴史展示室は香川の歴史を紹介した展示室であるためその内容が大きく変わることはないが、展示資料の保護と収蔵資料の活用を目的として資料の展示替えを実施している。平成29年度は6月、9月、12月、3月に定期的な展示替えを行った。

また、平成29年度末に歴史ショーステージのうち「高松城下を歩く」と詳覧映像3台（原始・古代・戦後の公営住宅）の映像機器を更新した。

【展示替え実績】

第1期	平成29年6月19日（月）	51件55点
第2期	平成29年9月19日（月）	37件38点
第3期	平成29年12月18日（月）	38件47点
第4期	平成30年3月19日（月）	38件62点

時代	原始	古代	中世	近世	近現代
歴史ショーステージ	讃岐のあけぼの ガイダンス映像	古代の讃岐 ガイダンス映像	躍動する武士と讃岐 ガイダンス映像	江戸時代の社会と人々の暮らし ガイダンス映像 高松城下を歩く	香川県の成立と発展 ガイダンス映像
メイン展示	狩りをする旧石器時代の人々 ・縄文の森 ・堅穴住居	今岡古墳出土埴輪組陶棺 ・乾漆聖観音坐像 ・讃岐五大師	志度寺縁起 ・白峯寺十三重塔 ・明王寺釈迦堂瓦 ・蒙古襲来絵詞	江戸講中燈籠 ・高松塩飽漁場争論裁許状 ・高松城下図屏風 ・四国古図 ・庄屋の蔵 ・讃岐の生んだ人物	昭和初期の教室 ・昭和20年代の住宅
詳覧展示	氷河期を生き抜いた人々 ・旧石器時代の暮らし ・石器をつくる 森と海に生きる人々 ・瀬戸内海の成立 ・縄文土器 ・自然の中で生きる(海の暮らし) ・自然の中で生きる(山の暮らし) 新しい文化の伝来 ・米を作る暮らし ・弥生の技術 ・弥生人の祈り ・争いとムラの統合	支配者の誕生 ・前方後円墳の時代 ・ムラの暮らしと渡来系文化 律令国家と讃岐 ・讃岐国の成立 ・条里制 ・寒早十首の世界 仏教文化の伝来と発展・変容 ・国分寺と古代寺院 ・讃岐の高僧たち ・仏教の変容と末法思想 律令体制の変容 ・地方政治の変質と純友の乱	武家政権の成立 ・崇徳上皇と源平合戦 ・讃岐の荘園・公領 ・蒙古襲来 細川氏の支配と文化 ・細川氏と讃岐 ・中世の流通 中世讃岐の神仏信仰 ・信仰の広がり 讃岐の戦国時代 ・細川氏から三好氏へ ・長宗我部元親と讃岐	統一政権と生駒藩 ・統一政権と生駒藩 ・生駒氏の讃岐支配 ・生駒騒動 三藩の成立 ・高松藩の成立 ・丸亀・多度津藩の成立 ・幕府領と朱印地 讃岐三白と廻船 ・町の暮らし ・村の暮らし ・讃岐廻船と湊の発達 金毘羅参詣と四国遍路 ・金毘羅参り ・四国遍路と旅する人々 幕末の動乱 ・開国と攘夷のはざままで ・幕末外交使節と讃岐人の活躍 ・明治維新と讃岐の動向	香川県の成立 ・藩から県へ ・博文社と分県独立運動 ・第三次香川県の成立 文明開化と殖産興業 ・「開化」と人々の暮らし ・博覧会と産業の近代化 デモクラシーと民衆 ・日清・日露戦争と農村の変化 ・大衆文化と観光地の発展 ・民衆運動のたかまり 戦中・戦後の県民生活 ・15年戦争のはじまり ・戦後の復興
詳覧映像	・瀬戸内海の2万年 ・銅鐸絵画の世界	・讃岐の古代遺跡 ・讃岐のみほとけ ・菅原道真と讃岐	・水主神社の経函 ・中世の埋納銭	・寛政の百姓一揆 ・讃岐三白 ・庄屋の蔵ガイダンス映像	・香川の近代建築1・2 ・汽車が電車が香川を走る ・戦後の公営住宅

②常設展示

歴史・美術にかかわるテーマの展示を、収蔵品を中心に企画し、展示している。歴史の展示では従来と同様に展示ごとに観覧の補助として、解説シートを作成し、美術の展示では作品鑑賞カードを、それぞれ観覧者へ無料配布した。

また、会期中には担当学芸員によるミュージアムトークを実施した。平成 29 年度は、周年に合わせた展示や、特別展の内容に合わせた展示を企画した。美術作品の展示では、展示の機会が少ない作品を活用できるテーマを工夫した。

常設展示室 1 は、平成 28 年度と同様に、展示室を「高松松平家歴史資料コーナー」「テーマ展示」の 2 コーナー構成とした。「高松松平家歴史資料コーナー」では、テーマ展示の展示替えに合わせ、6 回の展示替えを行い、展示資料は同時期に開催しているテーマ展示の解説シートに掲載するようにした。

来館者の多いゴールデンウィークには、「国宝 藤原佐理筆詩懐紙」の特別公開も行った（4 月 21 日～5 月 7 日）。常設展示室 1「テーマ展示」では 6 本の企画を行った。展示内容については別表に掲載している。

「松平左近一高松藩を救った英才」は、松平左近の 150 年遠忌に合わせて企画した。当館収蔵資料のほか、県内寺院が所蔵する関連資料を調査し、その成果を展示で紹介した。

「地域の文化をまもる力」では、地域の人々による文化遺産をまもり伝える取り組みを紹介した。また、関連行事の当館職員によるミュージアムトークに合わせて、展示で紹介した団体の方に、活動内容についてお話いただき、地域の文化遺産保全活動の大切さを知っていただく機会を設けた。

「超絶!!江戸の生き物図鑑」は、特別展「かがわ生命のミュージアム」に合わせて企画した。久しぶりに高松松平家所蔵の博物図譜をまとめて展示する機会となり、来場者に江戸時代の精緻な図鑑を楽しんでいただき、収蔵資料の魅力を知っていただくことができた。

「四国を繋ぐ一大久保謙之丞と四国新道一」は瀬戸大橋開通 30 周年関連企画として開催し、当館で平成 24 年度から取り組んできた大久保家資料の調査成果を紹介した。

常設展示室 2 は「ミュージアム・コレクション 20 世紀の美術」として、年間を通じて当館が収蔵する西洋美術の作品を紹介し、年 4 回の展示替えを行った。そのうち 2 回は西洋美術以外の収蔵作品と組み合わせてテーマを設定し、多様な作品を公開して、所蔵作品の魅力の発信に努めた。

常設展示室 3 は「空海室」として、「弘法大師空海の生涯と事績」というテーマで香川出身の弘法大師空海を紹介している。展示室は京都東寺の灌頂院の一角を縮小して再現し、曼荼羅と五大尊像を掲出する内陣空間を演出する。曼荼羅と

五大尊像は実物の複製と現代に新たに制作されたものを定期的に入れ替えている。

常設展示室 4・5「アートコレクション 香川ゆかりの作家たち」では、3 本のテーマ展を開催し、解説シートも作成した。

「銀濤社とその時代」では、香川県出身の在京洋画家の団体である銀濤社に注目し、それにつながる明治から昭和初期にかけての香川県出身の芸術家の活動や相互のつながりを紹介した。

「香川の風景—自由な見方で旅しよう—」では、身近な県内の風景を描いた絵画作品を紹介した。また、会場では、来館者が誰でも自由に鑑賞の気づきや感想をパネルに貼って、他の来館者とシェアする試みとして「みんながつながる参加型プロジェクト」を実施した。

「描かれた人々—福岡青嵐の写生画から—」は、明治 150 年関連企画として開催し、明治 30 年代に香川に滞在して香川の風景や人物を描いた、福岡青嵐の写生画を展示した。青嵐が残した多数の写生画の中で、人物に注目し、その描かれ方を 4 つの視点に分けて紹介した。



常設展示室 1「超絶!!江戸の生き物図鑑」展示風景

香川県立ミュージアム Collection Exhibition Vol. 02
アート・コレクション
—On the Table—
静物画の世界
◆会場 常設展示室2
◆日程 平成30年7月2日(火)～4月15日(日)

本展では、「静物画」をテーマとして複数の所蔵作品を紹介します。机の上で静かに広げられる静物画の世界の魅力はどうぞお楽しみください。

- 静物画とは
静物画とは、自然物・動物・人物や家畜、器・道具・そのほかの無機物の静物です。観望者には「何が見えるか」という問いかけをもち、その見方によって、静物画の表現が異なります。静物画の歴史は、西洋美術の発展とともに、静物画の表現も多岐にわたるようになってきました。静物画は、静物画の歴史とともに、静物画の表現も多岐にわたるようになってきました。静物画の歴史は、西洋美術の発展とともに、静物画の表現も多岐にわたるようになってきました。
- 対象を捉える
静物画は、静物画の歴史とともに、静物画の表現も多岐にわたるようになってきました。静物画の歴史は、西洋美術の発展とともに、静物画の表現も多岐にわたるようになってきました。
- 机の上の交響曲
静物画は、静物画の歴史とともに、静物画の表現も多岐にわたるようになってきました。静物画の歴史は、西洋美術の発展とともに、静物画の表現も多岐にわたるようになってきました。

解説シート「On the Table—静物画の世界」

常設展示一覧

※表中No. は解説シート発行番号

	展示名	内容	会期
常設展示室 1			
1	高松松平家歴史資料	高松 12 万石を治めた大名高松松平家に伝来する国宝や重要文化財をはじめとする名宝の数々や大名・華族のくらしや文化を物語るさまざまな歴史資料を季節や話題にあわせて紹介。高松松平家歴史資料を紹介する解説シートを配布した（常設展示 1 のテーマ展示あわせに展示品を入れ替え、展示作品一覧についてはテーマ展示解説シートに掲載）。展示件数：43 件	通年（下記企画展期間に合わせて、展示替え、ミュージアムトークを行った）
2	松平左近—高松藩を救った英才— No.85	江戸時代の社会が揺らぎ、激動を迎える時代を生きた松平左近。「さこん（左近）さん」について、政治・文化の分野における活躍の足跡をたどった。展示件数：40 件	4. 21～5. 28 ミュージアムトーク 2 回
3	地域の文化を まもる力 No.86	地域の歴史・文化は、地域の人々がそれを大切に思い、まもり伝えていくための取り組みをすることによって伝えられていく。県内での地域の人々による文化遺産継承活動の事例を紹介した。展示件数：30 件	6. 2～7. 17 ミュージアムトーク 2 回
4	超絶!! 江戸の生き物図鑑 No.87	特別展「かがわ生命のミュージアム」との連携企画。高松藩 5 代藩主松平頼恭の命により編纂された博物図譜のうち、鳥、魚シリーズを展示し、驚くべき、江戸時代の知力を紹介した。展示件数：10 件	7. 22～9. 3 ミュージアムトーク 2 回
5	古い道具と 昔のくらし No.89	学校教育単元をサポートする展示として、小学 3 年生で学ぶ「古い道具と昔のくらし」に関連した館蔵資料を展示した。展示件数：43 件	9. 12～12. 3 ミュージアムトーク 2 回
6	伊勢御師が見た讃岐 No.91	戦国時代、全国各地を巡り、伊勢信仰を広めた「御師」。彼らが残した帳簿（旦那帳）をもとに、御師が歩き、見聞した讃岐の風景と、出会った人々の暮らしぶりを紹介した。展示件数：37 件	12. 8～H30. 2. 18 ミュージアムトーク 3 回
7	瀬戸大橋開通 30 周年 関連企画 四国を繋ぐ 大久保 謙之丞と四国新道 No.94	瀬戸大橋構想の提唱者として知られる大久保謙之丞（1849～1891）が、実現に奔走した四国新道の開鑿などの事績と生涯について、大久保家に残る資料から紐解いた。展示件数：72 件	H30. 2. 23～4. 22 ミュージアムトーク 2 回
常設展示室 2			
8	アート・コレクション 交錯する都市 NY	館蔵作品から、川島猛、ジョージ・ナカシマ、ポール・ジェンキンスなど 1960 年代を核に同時代のニューヨークで共に刺激し合った作家たちを紹介した。展示点数：7 点	4. 4～6. 25 ミュージアムトーク 2 回
9	アート・コレクション 20 世紀の美術 I	館蔵作品から、ピカソ、ブラック、ルオー等の 20 世紀の美術をテーマに展示し、その魅力を紹介した。I ではルオーに注目した。展示点数：5 点	6. 27～10. 1 ミュージアムトーク 2 回
10	アート・コレクション 20 世紀の美術 II	館蔵作品から、ピカソ、ブラック、ルオー等の 20 世紀の美術をテーマに展示し、その魅力を紹介した。II ではキュビズムに注目した。展示点数：31 点	10. 3～12. 24 ミュージアムトーク 2 回
11	アート・コレクション On the Table —静物画の世界— No.92	伝統的な絵画ジャンルの静物画の魅力をブラックほか当館の所蔵品によって紹介。物に対する画家の親密なまなざしで観衆を魅了した。展示点数：8 点	H30. 1. 2～4. 15 ミュージアムトーク 2 回

常設展示室 3			
12	弘法大師空海の生涯と事績	空海の生涯と事績について関連資料を通して紹介。空海ゆかりの国宝・重要文化財など貴重な資料の複製品を中心に、館蔵の四国偏礼図、納経帳など遍路関係資料を展示。曼荼羅図等や遍路関連資料は年4回展示替えを実施した。	I期 3.14～6.18 II期 6.20～9.18 III期 9.20～12.17 IV期 12.19～3.11
常設展示室 4・5			
13	アート・コレクション 銀濤社とその時代 No.88	昭和初期に活動した在京の香川県出身画家のグループ「銀濤社」について、小林萬吾、藤川勇造、北原千鹿等の作品を通し、その活動や香川の美術・工芸との関わりを紹介した。展示点数：25点	7.28～9.24 ミュージアムトーク 2回
14	アート・コレクション 香川の風景～自由な見方で旅しよう～ No.90	香川の風景を描いた絵画を中心に海・山・城等のテーマに沿って、作家の目から見た香川的美を紹介した。展示点数：17点	12.1～12.24 ミュージアムトーク 2回
15	アート・コレクション 明治150年関連企画 描かれた人々ー福岡青嵐の写生画から No.93	明治時代に香川に滞在した日本画家・福岡青嵐の写生画に描かれた人々の姿を、「顔を描く」「人の仕草を描く」「人々の生活」「自然と人」の4つの視点で紹介した。展示点数：79点	H30.1.27～3.25 ミュージアムトーク 2回

③特別展示

平成29年度は、春・秋に、地域に立脚した視点で企画した特別展を開催し、夏には環境森林部と共同開催で、初めて自然史をテーマにした特別展を開催した。

春の「クロスポイント」は、現在国内外のアートシーンにおいて精力的に活動を行う香川県出身・ゆかりの作家20人を紹介し、香川という場所をひとつのクロスポイント（交差する場）として、彼らの創作活動に焦点をあてる展示を行った。展覧会の準備過程で、香川県出身・ゆかりの作家本人との綿密な打ち合わせ等を通じて、彼らによる「多彩な表現」を紹介することができ、来館者からも高い評価を得られた。また、これまで県立ミュージアムで開催してきた「香川県美術展覧会」や「日本伝統工芸展」とは異なる切り口で、現在の香川の美術界を紹介することができたため「新しい試みをする館」、「現代美術の作品を紹介する館」というイメージを生み出す契機となった。また、出品作家によるトークやワークショップなどを開催し、関連行事も充実したものになった。

広報面では、現代美術に興味を持つ若い世代を意識して、館の公式Twitterに加え、特設サイトやFacebookなどのSNSを積極的に活用した。出品作家のサイトとのリンクなどによる情報発信によって、新規の来館者を開拓することができた。

新しい取り組みによる成果も見られたが、入場者数、図録の販売数については目標値を下回り、今後、それらの数値を伸ばしていくことや、今回新規に開拓することができた客層に継続して来館してもらえる工夫が必要である。

秋の「讃岐びと、時代を動かす」は、讃岐の古代豪族に焦点を当て、近年の発掘調査や文献資料の再検討から得られた研究成果を踏まえ、中央から見た一地方の古代史像ではなく、地域が主人公となる古代史像を紹介した。

毎日展示解説を行い、観覧者の理解が深まるよう努力したこともあり、郷土香川の「知られざる」歴史について知ることができたという感想が多く、観覧者の満足度が高かった。

広報やワークショップなどを通じて、中学生や、類似のテーマを展開する市町の文化財部局、まちづくり観光の主宰者らと協働することができた。その結果、連携先を通じて来館経験のない人の来館につながった。

広報面では、展覧会の内容に応じたキャラクターを創出し、キャラクターを基にしたPR動画を5本制作して、YouTubeで公開するという新たな手法を試みた。

図録作成では、読みやすく、学校の授業などで使える読み物や資料集として活用できるものを目指した結果、会期中に完売となった。これまでも歴史系の特別展の図録はニーズが高かったが、内容を工夫することによって、販売数を伸ばすことができ、自主財源獲得につながる可能性があることが確認できた。今後、販売方法についてもよりいっそうの検討を進めていきたい。

一方で、入場者数は目標値を大きく下回り、集客面では課題が残った。文化財保護協会など、歴史に興味を持ってもらえる団体への広報時期を早めることや、わかりやすく展示内

容が伝わる広報によって、多くの人にまず来場してもらい、満足していただき、クチコミで情報が広がるような流れをつくる必要がある。

夏の「かがわ生命のミュージアム」では、初めて自然史の展示を開催した。地元NPOの協力を得て、香川の自然を理解するための標本や写真などを数多く展示することができた。子どもに人気の恐竜の骨格標本や、フィギュア、3D映像等も用意し、夏休み前に県内の全小学生にチラシを配布して広報したこともあって、夏休み中の家族連れで賑わった。毎週土曜・日曜に実施した「むしむしクイズ」(講師はNPO職員)も好評でクイズ目当てのリピーターも多かった。森林環境部としては、初めての大規模な展覧会であったが、決定から展覧会開催まで1年弱と準備期間が短かったため、展示内容・展示方法について当館とのすり合わせが十分できなかった。今後同様な形式で開催することがある場合には、展示内容、展示スペースなどを調整するための準備期間が必要である。

また、連携企画として常設展「超絶!!江戸の生き物図鑑」を開催したにもかかわらず、特別展と常設展が別料金になり、相乗効果を狙うことが難しかった。

そのほかに恒例となっている「香川県美術展覧会(県展)」、「日本伝統工芸展」も開催した。第82回香川県美術展覧会は、観覧者の利便性を高めるため、会期を4期から3期に短縮して開催した。それによって経費節減にもつながった。また出品規定や応募制限の見直しにより過去5年間の傾向

から逆転し、出品数が増加、わずかながら出品者の平均年齢が若返った。しかし入場者を問わず減少傾向であり、引き続き県展の改善は急務といえよう。

第64回日本伝統工芸展は、平成25年度から入場者数の減少が続いており、新規の観覧者開拓のための取り組みをした。展覧会の関連行事として毎年実施している講演会について、例年とは傾向の違う講師を招き、参加者の年齢層が広がった。講演会に引き続き、展示室内での解説もあったため、初めて来館する講演会参加者に展示会場に足を運んでもらうきっかけにもなった。

また、正月の時期であることから、館内のカフェでは、漆のカフェオレボウルを借用し、讃岐の郷土料理である「あん餅雑煮」を提供した。これは、非常に好評で、特に県外からの来館者に喜ばれた。

広報面では、初めてラジオCMを行ったが、これに対して目立った効果は得られなかった。

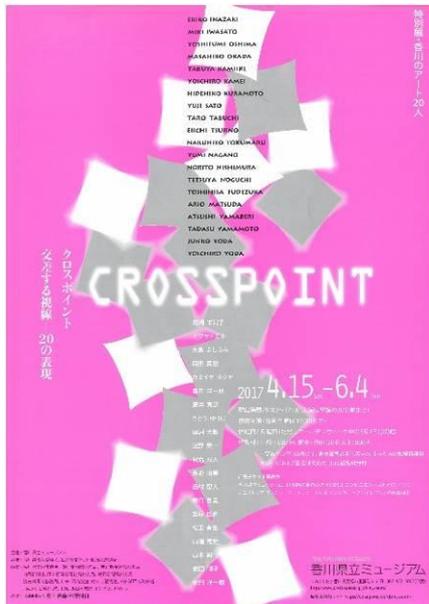
新しい取り組みによって新たな観覧者の開拓につながったが、全体の観覧者数は昨年度に比べて約1,000人の減となった。今回成功した取り組みは継続しつつ、さらに新規来場者の開拓に向けて、さらなる広報の強化・関連行事の工夫などを行っていく必要がある。

特別展示一覧

	展示名	内容	会 期	入場者数
1	クロスポイント／交差する視線 20の表現	現在、国内外のアートシーンにおいて精力的に活動を行う香川県出身・ゆかりの作家20人の作品を紹介。香川という土地をひとつのクロスポイント(交差する場)として彼らの創作活動に焦点を当てた。	4.15(土)～6.4(日) [45日間] 出品作家によるアーティスト・トーク8回、ナイト・トーク3回	7,432人
2	第82回 香川県美術展覧会(県展)	県民による美術作品を展覧し、美術に親しむ機会を提供するため県内公募による総合美術展を開催。会期を3期にした。 1期:洋画、彫刻 2期:書 3期:工芸、写真、日本画	第1期 6.28(水)～7.4(火)[7日間] 第2期 7.7(金)～7.13(木)[7日間] 第3期 7.17(月・祝)～7.23(日)[7日間] [計21日間]	9,063人
3	かがわ生命のミュージアム ～感じて!進化の歴史とふしぎ～	生き物や自然のすばらしさ、面白さ等を体感できる展覧会。進化の歴史やすごさを体感する古代生物の化石や恐竜等の標本展示のほか、進化の不思議を実感する昆虫の標本等を展示。また、生物フィギュアや3D映像	8.5(土)～9.3(日) [27日間] ミュージアムトーク 毎週土・日曜日「むしむしクイズ」実施	15,903人

		等で生命の誕生や進化の謎、不思議さを楽しく、わかりやすく紹介した。		
4	讃岐びと、時代を動かす —地方豪族が見た古代世界—	讃岐の古代豪族たちに焦点を当てた展覧会。近年の発掘調査や文献資料の再検討から得られた研究成果を踏まえ、従来の中央政権から見た一地方の古代史像ではなく、地域が主人公となる古代史像を紹介した。	10.7(土)～ 11.26(日) [44日間] 会期中毎日ミュージアムトークを実施	5,215人
5	第64回 日本伝統工芸展	先人から受け継いできた優れた技を磨き、現代生活に即した新しいかたちを紹介。重要無形文化財保持者の作品、受賞作品及び四国在住作家の入選作品を中心に、陶芸、漆芸、金工、木竹工、人形等300点を展示した。	H30.1.2(火)～ 1.21(日) [21日間] 作家による陳列品解説5回	5,745人

クロスポイント/交差する視線 20の表現



出品一覧

	作家名	タイトル	制作年	サイズ (cm)	所蔵
1-1	稲崎栄利子	雄鶏	2005年	40×60×31	作家蔵
1-2	稲崎栄利子	森	2011年	30×30×46	個人蔵
1-3	稲崎栄利子	castaway in space	2013年	20×20×20	作家蔵
2	イワサトミキ	顔出し看板「自分」	2017年		作家蔵
3-1	大島よしふみ	まいまい	2007年	70.0×70.0×80.0	作家蔵

3-2	大島よしふみ	めおん4	2009年	45.0×75.0×85.0	オンパファクトリー蔵
3-3	大島よしふみ	Foucault	2011年	48.0×88.0×130.0	作家蔵
3-4	大島よしふみ	豊漁丸	2011年	48.0×80.0×85.0	大達守枝蔵
3-5	大島よしふみ	まいまい×3	2017年	400.0×400.0×100.0	作家蔵
3-6	大島よしふみ	トンボ	2017年	80.0×65.0×75.0	作家蔵
4-1	岡田真宏	Being XXVI-0-W「水の夢・風神 雷神0-W」	2010年	121.0×366.5	作家蔵
4-2	岡田真宏	Being XXVII-1「水の夢・太母(グレート・マザー)」1	2016年	183.0×273.5	作家蔵
5	カミイケタクヤ	震海	2017年	800.0×300.0×400.0	
6-1	亀井洋一郎	Lattice receptacle-Monocrystal 1	2013年	25.0×25.0×11.0	
6-2	亀井洋一郎	Lattice receptacle-Polycrystal (twin1)	2013年	37.0×44.0×11.0	
6-3	亀井洋一郎	Lattice receptacle-Polycrystal (twin2)	2013年	47.0×25.0×11.0	
6-4	亀井洋一郎	Lattice receptacle-Polycrystal (triple)	2013年	47.0×44.0×11.0	
6-5	亀井洋一郎	Lattice receptacle-Crystallization 2	2014年	57.0×44.0×11.0	
7	藏本秀彦	それでも木漏れ日は	2011年-	324.0×1120.0	作家蔵
8-1	さとうゆうじ	「ピー」のすみか	2014年-17年	h300.0	
8-2	さとうゆうじ	「文形」のあかり	2016年	H240.0、7本で構成	
9-1	田淵太郎	窯変白磁面取茶盤 薄氷	2015年	14.0×12.5×9.5	作家蔵
9-2	田淵太郎	窯変白磁茶盤 空と	2016年	12.5×11.5×8.5	作家蔵
9-3	田淵太郎	窯変白磁面取茶盤 たき火	2016年	11.5×11.0×10.0	作家蔵
9-4	田淵太郎	窯変白磁面取茶盤 はなひらく	2016年	13.5×11.0×8.5	作家蔵
9-5	田淵太郎	窯変白磁茶盤 山眠る	2017年	12.0×12.0×10.0	作家蔵
9-6	田淵太郎	窯変白磁面取茶盤 アポロ	2017年	12.5×11.5×10.3	作家蔵
9-7	田淵太郎	窯変白磁面取茶盤 アームストロング	2017年	12.5×12.0×10.0	作家蔵
9-8	田淵太郎	窯変白磁面取茶盤 テツの足跡	2017年	12.5×11.5×10.0	作家蔵
9-9	田淵太郎	窯変白磁面取茶盤 Black or White	2017年	13.5×11.5×10.5	作家蔵
9-10	田淵太郎	窯変白磁面取茶盤 水昇る	2017年	12.0×11.0×10.0	作家蔵
9-11	田淵太郎	Barbaric White	2017年	14.0×14.0×71.0	作家蔵
9-12	田淵太郎	Barbaric White	2017年	14.0×14.0×71.0	作家蔵
9-13	田淵太郎	Barbaric White	2017年	14.0×14.0×71.0	作家蔵
9-14	田淵太郎	Barbaric White	2017年	14.0×14.0×71.0	作家蔵
9-15	田淵太郎	Barbaric White	2017年	14.0×14.0×71.0	作家蔵
9-16	田淵太郎	Barbaric White C	2017年	14.0×16.5×17.0	作家蔵
10-1	辻野榮一	Garion ガリオン	2008年	60.0×96.0×240.0	作家蔵
10-2	辻野榮一	Nesologian ネソロギアン	2008年	24.0×17.0×58.0 28.0×19.0×72.0	作家蔵
10-3	辻野榮一	Ramyu ラミュ	2008年	21.0×20.0×64.0	作家蔵

10-4	辻野榮一	Dalbella ダルベラ	2008年-11年	径86.0×60.0～ 径21.0×3.0	作家蔵
10-5	辻野榮一	Enromasis エンロマシス	2009年	67.0×60.0×88.0	作家蔵
10-6	辻野榮一	Stravinas ストラヴィナス	2011年	150.0×54.0×155.0	作家蔵
10-7	辻野榮一	Fillis フィリス	2011年	60.0×12.0×29.0～ 39.0×10.0×18.0	作家蔵
10-8	辻野榮一	Molluscant モルスカント	2011年	19.0×14.0×77.0	作家蔵
10-9	辻野榮一	Actina アクティナ	2013年	27.0×11.0×28.0	作家蔵
10-10	辻野榮一	Astecornu アステコルヌ	2015年	43.5×43.5×86.0	作家蔵
10-11	辻野榮一	Pinelbino ピネルビノ	2015年	76.0×30.0×16.0	作家蔵
10-12	辻野榮一	Bramonti ブラモンティ	2015年	48.5×65.0×55.0	作家蔵
10-13	辻野榮一	Ramnop ラムノップ	2015年	20.0×63.0×20.0	作家蔵
10-14	辻野榮一	Titanum ティタナム	2015年-16年	80.0×80.0×226.0	作家蔵
10-15	辻野榮一	Urocho ウローチョ	2016年	30.0×23.0×56.0	作家蔵
10-16	辻野榮一	Bivalvia ビバルビア	2016年	径65.0×45.0	作家蔵
10-17	辻野榮一	Articeras アルティケラス	2016年-17年	135.0×137.0×193.0	作家蔵
10-18	辻野榮一	群	2013年	60.0×60.0	個人蔵
10-19	辻野榮一	伸び行く生の形	2013年	73.0×55.0	作家蔵
10-20	辻野榮一	成長	2014年	59.4×42.0	作家蔵
10-21	辻野榮一	Ceramoglia セラモグリア	2014年	40.0×40.0	作家蔵
10-22	辻野榮一	つぼみ	2014年	42.0×29.7	作家蔵
10-23	辻野榮一	ひだの中の私の大切なもの	2014年	59.4×42.0	作家蔵
10-24	辻野榮一	Pinelbino ピネルビノ	2014年	29.7×42.0	作家蔵
10-25	辻野榮一	Cornubes コルヌベス	2017年	42.0×29.7	作家蔵
11	得丸成人	HANDS	2016年-		作家蔵
12	長野由美	Library Jack!	2017年		
13-1	西村記人	来るべき人	1996年	183.0×177.0	
13-2	西村記人	Black Box	1998年	210.0×166.0	
13-3	西村記人	無題	1998年	208.4×180.0	
13-4	西村記人	映画の夜	1999年	166.0×94.0	
13-5	西村記人	July, 2000 Liquid Room in Tokyo	2000年	239.0×203.5	
13-6	西村記人	友人と私	2000年	120.0×112.0	
14-1	野口哲哉	猫寿像	2008年	78.0×40.0	個人蔵
14-2	野口哲哉	Insectman-Armour colorful gusoku and “Butterfly” sashimono-	2012年	9.4×16.2 (箱)	個人蔵
14-3	野口哲哉	Insectman-Golden armour and “WARABI” sashimono-	2012年	9.4×16.2 (箱)	個人蔵
14-4	野口哲哉	Insectman- “KAGA” armour and “FAN” sashimono-	2012年	9.4×16.2 (箱)	個人蔵
14-5	野口哲哉	Package of Past man-armor Black” NIMAIDO” and Big “SASIMONO” 17c style-	2012年	9.4×16.2 (箱)	個人蔵

14-6	野口哲哉	Package of Past man-armor iron” NIMAIDO” and Big “SASIMONO” -	2012年	9.4×16.2 (箱)	個人蔵
14-7	野口哲哉	Package of Past man-armor Red and Gold” NIMAIDO” and Big “MAETATE” -	2012年	9.4×16.2 (箱)	個人蔵
14-8	野口哲哉	二人の清正	2012年	20.0×20.0 (箱)	個人蔵
14-9	野口哲哉	samurai option -the Black-	2015年	23.8×13.2 (箱)	個人蔵
14-10	野口哲哉	samurai option -the Brown-	2015年	23.8×13.2 (箱)	個人蔵
14-11	野口哲哉	samurai option -the Gold-	2015年	23.8×13.2 (箱)	個人蔵
14-12	野口哲哉	samurai option -the Red-	2015年	23.8×13.2 (箱)	個人蔵
14-13	野口哲哉	samurai option -the Silver-	2015年	23.8×13.2 (箱)	個人蔵
14-14	野口哲哉	Avatar1 -現身-	2016年	6.0×11.5×29.3	個人蔵
14-15	野口哲哉	Avatar2 -現身-	2016年	6.0×11.5×30.0	個人蔵
14-16	野口哲哉	BLACK MAN & HIS OPTION	2016年	22.5×15.5 (箱)	個人蔵
14-17	野口哲哉	GREAT ARMOUR -大鎧-	2016年	16.0×11.0 (箱)	個人蔵
14-18	野口哲哉	OLD MAN	2016年	21.0×14.8 (箱)	個人蔵
14-19	野口哲哉	PERFECTION ARMOUR -具足-	2016年	16.0×11.2 (箱)	個人蔵
14-20	野口哲哉	TRANSMISSION ～ジャーマン・スペシャル～	2017年	24.5×17.0×74.0	個人蔵
14-21	野口哲哉	POCKET	2017年	10.0×5.7×29.5	個人蔵
14-22	野口哲哉	風船追物語図	2017年	60.0×45.0	ギャラリー 玉英蔵
15-1	筆塚稔尚	むらぎも-2	2007年	30.0×90.0	
15-2	筆塚稔尚	むらぎも-籬 (たが)	2013年- 17年	各 18.0×18.0	
15-3	筆塚稔尚	muragimo 45×45	2013年- 17年	各 45.0×45.0	
15-4	筆塚稔尚	道標	2014年	90.0×90.0	
16	松田有生	flower	2017年		
17	山端篤史	メランコリック /not sad not	2017年	250.0×1000.0	作家蔵
18-1	山本紉	何も変えてはいけない	2016年	125.0×400.0	作家蔵
18-2	山本紉	星の池	2016年	120.0×188.0	作家蔵
19-1	依田順子	Untitled #L-12 (Susquehanna River)	1993年	203.0×305.0	作家蔵
19-2	依田順子	The River-Yoshinogawa	2006年	228.6×549.0	作家蔵
20-1	依田洋一朗	Somewhere in Time (The Boardwalk)	2011年	152.4×182.9 cm	セゾン現代 美術館
20-2	依田洋一朗	Living Too Long With A Single Dream (The Great Gatsby)	2013年	183.0×457.2 cm	セゾン現代 美術館

第 82 回香川県美術展覧会



	入選 (応募数)	無鑑 査	招 待	審 査 員	遺 作	展示点数総数
日本画	52(100)	1	9	2		64
洋画	96(253)	0	15	2	1	114
彫刻	13(21)	1	14	2		30
工芸	60(86)	0	9	4		73
書	204(472)	1	12	4		221
写真	143(363)	1	6	2		152
合計	568(1295)	4	65	16	1	654

第 82 回県展展示作品数一覧

かがわ生命のミュージアム



出品一覧

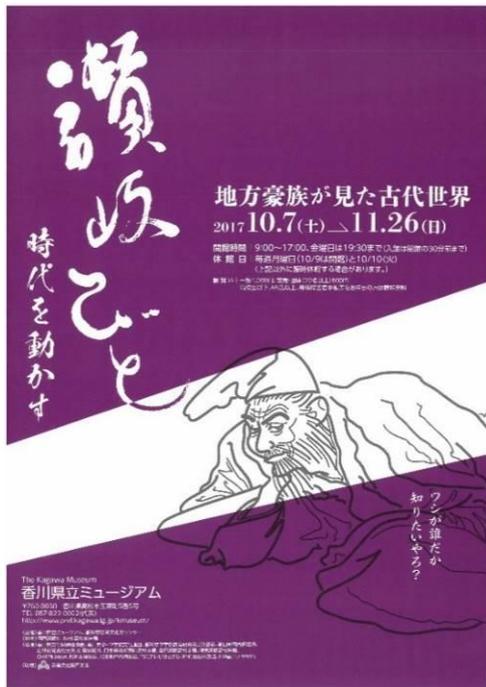
エントランス		30	古生代のウミユリ
1	ダンボールオブジェ カマキリ	31	最古の水生爬虫類
2	ダンボールオブジェ バッタ	32	白世紀のアンモナイト『アンモライト』
3	ダンボールオブジェ ティラノサウルス	33	縫合線の複雑なアンモナイト
4	ダンボールオブジェ トリケラトプス	34	殻の幅広いアンモナイト3種
5	ダンボールオブジェ プテラノドン (2体)	35	らせんからループに変わるアイノセラス
6	ダンボールオブジェ ブラキオサウルス	36	真珠層が残っているアンモナイト化石
7	恐竜ロボットティラノサウルス	37	巻貝のようなエゾセラス
プロローグ		38	まっすぐなバクリテス
1	生物進化年表(パネル)	39	ジュラ紀の大きなアンモナイト
2	トリケラトプス (フィギュア)	40	中生代のチョウザメ類
3	アロサウルス (フィギュア)	41	新しい型の魚類 (真骨類) への移行方フォリドフォルス類
生命誕生期 先カンブリア時代		42	硬鱗魚の一種
1	縞状鉄鋼	43	ジュラ紀のシーラカンス
2	ストロマトライト	44	胸鱗の大きな魚
3	ディッキンソニア(レプリカ)	45	レバノン産中生代魚類
古生代・中生代		46	巨大な肉食魚クラドシクルス
1	オレネルス類の三葉虫2点	47	ブラジル産白亜紀のシーラカンス
2	三葉虫の生育段階	香川県内で発見された化石	
3	ボリビアとイギリスのレドリキア目三葉虫5点	1	香川の地質図と地質層序表 (パネル3点)
4	ロシア産オルドビス紀変わった三葉虫3点	2	和泉層群 (パネル4点)
5	“モロッコの石”という名のモロッコニテス3点	3	モササウルス類の下あご
6	棘の多い変わったファコープス目の三葉虫2点	4	モササウルス科の骨格模型
7	最大の三葉虫の一つ アカドバダキシテス-レドリキア目-	5	クラッソストレア (カキ)
8	三葉虫の基本的形態を具えたレドリキア	6	馬蹄石 (カキの化石)
9	変わったプティコバリア目三葉虫のなかま11点	7	ロクソジャポニカ (二枚貝)
10	リカス目三葉虫2種5点	8	イノセラムス (二枚貝)
11	附属肢の残った三葉虫と足跡の化石2点	9	イノセラムス (二枚貝)
12	ファコープス目ダルマニテス科の三葉虫3点	10	イノセラムス (二枚貝)
13	幼形の特徴を残すプティコバリア目三葉虫6点	11	サンドパイプ
14	棘のあるボリビア産ダルマニテス科の珍しい三葉虫	12	コダイアマモ
15	コリネクソカス目三葉虫3種3点	13	オウムガイ
16	モロッコ産リカス目の三葉虫3点	14	現生のオウムガイ
17	三葉虫最後のグループ、フィリプシア類6点	15	オウムガイ断面
18	ゴニアタイトの一種3点	16	メゾプロシア (アンモナイト)
19	ドイツ産二畳紀のシーラカンス	17	メタブラセンティセラス (アンモナイト)
20	オステオレピス	18	パキディスカス (アンモナイト)
21	石炭紀の淡水性シーラカンス	19	ディディモセラス (アンモナイト)
22	棘魚の仲間	20	バクリテス (アンモナイト)
23	板皮類の甲冑魚、ボトリオレピスの復元レプリカ	21	メソダモリケスの上腕骨 (ウミガメ類)
24	ボリビア産二畳紀の腕足類14点	22	ウニ
25	ウミユリ4種 ウミユリと二枚貝	23	ウニ
26	ウミサソリ	24	ウニ
27	古生代のヒトデ2種	25	ブラビドセラス(アンモナイト)
28	脚の残る珍しい三葉虫化石	26	エビ
29	直角石2種	27	アブラスギ

28	土庄層群 (パネル4点)	6	昆虫の化石
29	ランダイスギの球果	7	昆虫の化石
30	イヌガヤ	8	虫入りコハク
31	クスノキ	昆虫とは 昆虫の定義	
32	ムカシケヤキ	1	昆虫の変態 (パネル3点)
33	モギカエデ	2	昆虫の体のつくり (テイオウゼミ)
34	セコイア	3	昆虫の体のつくり (アカエリトリバネアゲハ)
35	コンプトニア(ヤマモモ)	4	カブトムシの一生
36	マクリントキア	5	コノハムシの一生
37	フミガイのなかま (二枚貝)	6	昆虫に近い動物 (多足類)
38	サメの歯	7	昆虫に近い動物 (サソリ)
39	讃岐層群 (パネル4点)	世界の水辺の昆虫	
40	珪化木	1	南米のイトトンボのなかま (世界最長のなかま)
41	雨のあとの化石	2	北米のトンボ
42	世界最古のナマズ化石 (レプリカ)	3	カワトンボのなかま
43	三豊層群 (パネル3点)	4	トンボのなかま
44	トウヨウゾウの臼歯	5	ムカシヤンマのなかま、オニヤンマのなかま
45	ヤベオオツノジカ (掌状角)	6	オオアゴヘビトンボ
46	瀬戸内海が陸地であったころ (パネル2点)	7	アフリカの水生カメムシ類
47	マヤノロ (マヤシフゾウ)	8	ゲンゴウロのなかま
48	ニッポンムカシジカ	9	コオイムシのなかま
49	ナウマンゾウの牙	10	水中の殺し屋(世界最大の水中ギャング)
50	ナウマンゾウの牙	11	タガメ
51	ナウマンゾウの子どもの臼歯	12	アフリカ・マダガスカルのタガメ
52	ナウマンゾウの赤ちゃんの臼歯 (レプリカ)	世界の草原の昆虫	
53	インド象の下あごと臼歯 (レプリカ)	1	ヨーロッパのバッタ・コオロギ類
54	四国最大パキディスカス (アンモナイトの仲間)	2	バッタのなかま
大恐竜時代		3	バッタのなかま
1	トリケラトプス骨格標本	4	南米のバッタのなかま
2	アロサウルス骨格標本	5	バッタのなかま
3	恐竜類の椎骨 (香川県初の恐竜化石)	6	オオワラジゴキブリ
4	パラサウロロフス (恐竜フィギュア)	7	ハンミョウのなかま
5	バクトロサウルス・ジョンソニ骨格標本	8	コガネオサムシのなかま[飛ぶ羽がなく歩くだけの虫]
6	福井ラプトル・キタダニエンシス骨格標本	9	タイガービートルズ
7	フクイサウルス・テトリエンシス骨格標本	10	クビナガオサムシ
さわれる化石		11	カタビロオサムシ群
1	ティラノサウルスの歯の化石	12	アカガネオサムシ亜属
2	アパトサウルスのウンチの化石	13	オサモドキゴミムシのなかま
3	アーケロンのウンチの化石	14	タマオシコガネのなかま
4	トリケラトプスのフリルの化石	15	ナンバンダイコクコガネのなかま
5	恐竜の卵の化石	16	南アメリカのフンチュウ類
昆虫の進化の過程と化石		17	キンイロクワガタのなかま
1	昆虫の進化の過程 (パネル)	18	ナミブ砂漠のゴミムシダマシ
2	トンボの仲間	19	ウスバシロチョウのなかま
3	昆虫の化石	20	ウスバキチョウ
4	昆虫の化石	21	中央アジア高山のチョウ
5	ゴキブリの仲間	22	ミヤマウスバ

23	アポロウスバシロチョウ	33	アカネタテハのなかま
24	ジャクエモンウスバ	34	ミイロタテハのなかま(アマゾンの空飛ぶ宝石)
25	モンキチョウのなかま(珍稀種ぞろいの高山チョウ)	35	マダガスカルシンジュツバメガ(昼飛ぶガは美しい)
26	モンキチョウのなかま	36	マダガスカルオナガミズアオ(尾の長さは世界一)
27	フィールドモンキチョウ	香川の水辺の昆虫	
28	モンキチョウのなかま	1	香川県の水田のトンボ
29	南アメリカ・アンデスのモンキチョウ	2	アキアカネはなぜ減ったのか? (パネル)
30	クモツマキチョウのなかま	3	ギンヤンマはなぜ減ったのか? (パネル)
31	シロチョウのなかま	4	香川県のため池・水たまりのトンボ
32	ツマアカシロチョウのなかま	5	香川県の川の中流のトンボ
33	シジミチョウのなかま	6	香川県の川の上流のトンボ
34	シロジャノメのなかま	7	絶滅したトンボ、ハッチョウトンボ (写真)
35	ヒョウモンモドキのなかま	8	滅したトンボ、オオイトトンボ (写真)
36	小型ヒョウモンチョウ	9	トンボに必要な環境って何?(パネル)
世界の森林の昆虫		10	絶滅したトンボ、モートンイトトンボ (写真)
1	ニューギニアオオコノハギス (世界最大級のコノハギス)	11	絶滅したトンボ、コバネアオイトトンボ (写真)
2	ニューギニアオオトゲナフシ (捕まえるとケガするゾ!)	12	香川県で絶滅したトンボ
3	ナナフシのなかま(手足をとったら竹になる)	13	世界で四国だけのトンボ
4	ゴライアスオオトビナフシ	14	ヤゴの抜け殻
5	サカダチコノハナフシ	15	香川県の水辺の甲虫
6	コノハムシ(色も形の木の葉そっくり)	16	水辺の昆虫に必要な環境って何? (パネル)
7	ニイニゼミのなかま	17	香川県塩田 (跡地) のガ
8	テリオウゼミ(鳴き声も大きい世界最大のゼミ)	18	香川県の水生甲虫
9	ユカタンビワハゴロモ(なぜか悪魔の虫とよばれている)	19	香川県の水生カメムシ
10	東南アジアのカメムシ類	20	香川県のう海辺の昆虫
11	ヨロイモグラゴキブリ	21	香川県の水辺の哺乳類と鳥類 (パネル)
12	カレハカマキリのなかま	22	ミサゴ
13	カブトムシのなかま	23	カルガモ
14	ゴホンヅノカブトのなかま	24	ゴイサギ
15	ヘルクレスオオカブト(ギネスでも有名な世界最大のカブト)	25	ヤマセミ
16	ゾウカブトのなかま(体重は世界一のカブトムシ)	26	アライグマ
17	パイオリンムシのなかま(こんなに薄くなりました)	27	ヌートリア
18	ゴライアスオオツノハナムグリ(世界最大のハナムグリ)	28	ニッポンカワウソ (2体)
19	ギラファノコギリクワガタ	香川の草原の昆虫	
20	オオキバクワガタのなかま	1	クワガタヒョウモン(写真)
21	オオクワガタのなかま	2	ウラギンスジヒョウモン (写真)
22	オオルリタマムシのなかま	3	ヒョウモン類の明暗を分けたもの (パネル)
23	オオキバカミキリ(かみつかれたらいたいぞ!!)	4	ギンボシヒョウモン(写真)
24	オサゾウムシのなかま	5	香川県のヒョウモンチョウ
25	アンフリサスキシタ	6	絶滅したクロシジミ
26	ゴライアストリパネ(メスの大きさは世界最大級)	7	香川県のシジミチョウ
27	カザリシロチョウのなかま	8	香川県のヒカゲチョウ
28	オオゴマダラのなかま(大空に舞う新聞紙)	9	香川県のシロチョウ
29	ドクチョウのなかま(からだに毒をもつチョウ)	10	香川県のアゲハチョウ・セセリチョウ
30	フクロウチョウのなかま	11	香川県とその周辺のバッタ
31	タイヨウチョウのなかま	12	バッタとカマキリから見た草原(パネル)
32	キプリスモルフォ	13	香川県のカマキリ

14	香川県の岩場（荒地）のガ	36	香川県のクワガタムシ
15	世界の蛾の発見物語in香川（パネル）	37	香川県のセミ
16	香川県の甲虫	38	ツムガタキセル(写真)
17	香川県の草原の哺乳類と鳥類（パネル）	39	セトウチマイマイ(写真)
18	ノスリ	40	デンデンムシ県・香川県(パネル)
19	チョウゲンボウ	41	ケハダビロウドマイマイ(写真)
20	カシラダカ	42	オオギセル(写真)
21	キジ	43	世界で香川県だけのデンデンムシ
22	カヤネズミと巣	44	アワマイマイから見た四国4県の県民性
23	ニホンノウサギ	45	香川県の誇るべきデンデンムシ
24	キツネ	香川の昆虫 拡大フィギュア	
香川の森林の昆虫		1	ヒメタイコウチ（フィギュア）
1	香川県のアゲハチョウ	2	ヒメタイコウチ（標本）
2	チョウの多い環境とは？（パネル）	3	サヌキセダカコブヤハズカミキリ（フィギュア）
3	香川県のミドリシジミ	4	サヌキセダカコブヤハズカミキリ（標本）
4	絶滅したスジボソヤマキチョウ	5	ゾウズサンメクラチビゴミムシ(フィギュア)
5	香川県のタテハチョウ	6	ゾウズサンメクラチビゴミムシ(標本)
6	香川県のヒカゲチョウ	オオムラサキの地理的変異	
7	香川県のカリバチ	1	東日本のオオムラサキ
8	樹液に集まる昆虫（夜）	2	西日本のオオムラサキ
9	樹液に集まる昆虫（昼）	3	オオムラサキ(台湾・朝鮮)
10	香川県のブナ林の昆虫	4	オオムラサキ(中国)
11	香川県の照葉樹林の昆虫	5	オオムラサキ(雲南・ベトナム)
12	香川県のカマキリとバッタ・キリギリス	6	クロオオムラサキ
13	香川県の森林の哺乳類と鳥類（パネル）	昆虫と人との関わり	
14	クマタカ	1	食用昆虫（コオロギのなかま）
15	ホトトギス	2	食用昆虫（タガメのなかま）
16	アオゲラ	3	まごたろうむし（薬用）
17	ニホンジカ	4	昆虫類に寄生する菌類（薬用）
18	ムササビ	5	いろいろなマユ（カイコ）
19	ニホンリス	6	生糸（カイコ）
20	ニホンザル	7	生物模倣技術の一例（パネル）
21	イノシシ	映像コーナー	
22	タヌキ	1	つながる生命（映像）
23	アナグマ	2	組写真(6点)
24	テン	野山に飛び出そう！	
25	コンピラオオコバネナガハネカクシ（写真）	1	観察スポット、観察の方法等の紹介(パネル6点)
26	ショウドヒメオサムシ（写真）	2	自然関係団体等紹介(パネル7点)
27	コンピラメクラチビゴミムシ(写真)	VR視聴コーナー	
28	サトウメクラチビゴミムシ(写真)	1	360度ブイアール体験映像「古代の海をダイビングしよう！」
29	世界で香川県だけの甲虫		
30	世界で香川県だけの昆虫		
31	香川県で発見された昆虫		
32	樹液に集まる昆虫(写真)		
33	カブトとクワガタを採りに島に行こう！（パネル）		
34	樹液に集まる昆虫(写真)		
35	香川県のカブトムシ		

讃岐びと、時代を動かす—地方豪族が見た古代世界



出品一覧

No	指定	名称	員数	時代	法量 (cm)	所蔵
1		安田鞞彦 守屋大連	1幅	明治41年(1908)	150.3×57.0	愛媛県美術館
2		日本書紀 卷第二十七	1冊	江戸時代前期	28.4×19.0	香川県図書館神原文庫
3		屋嶋城屋島寺境内出土 須恵器杯身	1点	7世紀中頃	3.5×11.0×11.0	高松市教育委員会
4		屋嶋城屋島寺境内出土 須恵器蓋	1点	8世紀中頃	1.0×6.0×6.0	高松市教育委員会
5		屋嶋城浦生地区出土 須恵器平瓶	1点	8世紀前半	16.×18.0×17.0	高松市教育委員会
6		屋嶋城城門地区出土 須恵器短頸壺	1点	7世紀後半	15.×22.5×17.0	高松市教育委員会
7		城山城採集 須恵器杯	8点	7世紀末～8世紀初		香川県埋蔵文化財センター
8		城山城採集 須恵器平瓶	1点	7世紀末～8世紀初	8.5×17.5×17.5	香川県埋蔵文化財センター
9		城山城採集 土師器杯	4点	7世紀末～8世紀初		香川県埋蔵文化財センター
10		城山城採集 土鈴	1点	7世紀末～8世紀初	3.5×2.8	香川県埋蔵文化財センター
11		讃岐国印(復元模造)	1点	平成11年復元模造	6.0×6.0×5.0	香川県立ミュージアム
12		和名類聚抄	2冊	元和3年(1617)	26.9×19.4	香川県立ミュージアム
13		下川津遺跡出土 刻書板	1点	7世紀中頃～8世紀初	21.0×3.9×2.5	香川県埋蔵文化財センター
14	○	観音寺遺跡出土 69号木簡	1点	7世紀後半	(16.1)×4.5×0.7	徳島県
15	○	観音寺遺跡出土 8号木簡	1点	7世紀末～8世紀前半	(8.0)×(3.1)×0.5	徳島県
16	○	観音寺遺跡出土 33号木簡	1点	7世紀末～8世紀前半	(24.3)×3.3×0.5	徳島県
17		観音寺遺跡出土 4号木簡(複製)	1点	(7世紀)	20.9×20.0×0.5	徳島県
18		観音寺遺跡出土 60号木簡(複製)	1点	(7世紀後半)	(50.9×(3.3)×0.7	徳島県
19		平城京木簡(複製)	1点	(8世紀)	(14.5)×3.1×0.4	香川県立ミュージアム (原資料:奈良文化財研究所)
20		平城京木簡	1点	8世紀	15.3×2.1×0.4	奈良文化財研究所
21		平城京木簡	1点	8世紀	17.0×1.5×0.4	奈良文化財研究所
22		平城京木簡(複製)	1点	8世紀	17.1×2.1×0.5	香川県立ミュージアム (原資料:奈良文化財研究所)
23		平城京木簡	1点	8世紀	(15.3)×2.3×0.4	奈良文化財研究所
24	○	観音寺遺跡出土 149号木簡	1点	8世紀中頃～ 9世紀前半	(12.2)×1.5×0.3	徳島県
25	○	観音寺遺跡出土 201号木簡	1点	8世紀中頃	57.9×(5.0)×0.5	徳島県
26-1		下川津遺跡出土 円面硯	1点	8世紀	径14.9×6.9	香川県埋蔵文化財センター
26-2		復元文房具	1式	平成11年復元		香川県立ミュージアム
27		讃岐国調白縄(正倉院宝物模造品)	1点	平成6年復元模造	56.4×1780.0	宮内庁正倉院事務所
28		伊予国調白縄(正倉院宝物模造品)	1点	平成7年復元模造	56.4×200.0	宮内庁正倉院事務所
29		土佐国調白縄(正倉院宝物模造品)	1点	平成7年復元模造	56.4×200.0	宮内庁正倉院事務所
30		阿波国調黄縄(正倉院宝物模造品)	1点	平成8年復元模造	56.4×300.0	宮内庁正倉院事務所
31		讃岐国調白縄(復元模造)	1点	平成11年復元模造	56.4×1780.0	香川県立ミュージアム(原資料:宮内庁正倉院事務所)
32	□	妙音寺出土 軒丸瓦	1点	7世紀中頃	径17.6	妙音寺
33		妙音寺出土 軒丸瓦	1点	7世紀末	瓦当径19.2	香川県立ミュージアム
34	□	妙音寺出土 軒平瓦	1点	7世紀末	長14.3 厚4.3	妙音寺
35	□	妙音寺出土 榑木軒瓦	1点	7世紀末	14.8×14.8×2.0	妙音寺
36		宗吉瓦窯跡出土 軒丸瓦	1点	7世紀末	20.0×19.2×12.2	三豊市教育委員会
37		宗吉瓦窯跡出土 軒平瓦	1点	7世紀末	4.7×16.0×12.8	三豊市教育委員会

38		藤原宮跡出土 軒丸瓦	1点	7世紀末	径 19.5×4.5	奈良文化財研究所
39		藤原宮跡出土 軒平瓦	1点	7世紀末	11.5×31.7×17.5	奈良文化財研究所
40		宗吉瓦窯跡出土 軒丸瓦	1点	7世紀末	18.2×18.2×3.3	三豊市教育委員会
41		猫坂古墓出土遺物		8世紀初		東京国立博物館
41-1		骨蔵器	1合		蓋径 20.2×高 4.1 身径 19.5×高 16.1	
41-2		外容器	1合		蓋径 29.6×高 18.0 身径 29.6×高 19.0	
41-3		銅板	1点			
42		瑜伽師地論 卷第六十一	1帖	天平16年(744)	23.6×1003.3	香川県立ミュージアム
43	○	瑜伽師地論 卷第八十四	1帖	天平16年(744)	(表紙 24.4×8.5)	石山寺
44		瑜伽師地論 卷第八十九	1帖	天平16年(744)	23.8×1055.1	奈良国立博物館
45		善通寺出土 軒丸瓦	1点	7世紀末～8世紀初	瓦当径 18.3	善通寺
46		善通寺出土 軒平瓦	1点	7世紀末～8世紀初	瓦当高 10.4×幅 26.7	香川県埋蔵文化財センター
47	□	誕生釈迦仏立像	1軀	8世紀	像高 13.3	香川県立ミュージアム
48		観音菩薩立像	1軀	8世紀	総高 39.0	奈良国立博物館
49		如来像頭部	1面	8世紀	総高 46.4	善通寺
50	◎	紫紙金字金光明最勝王経 卷第三	1卷	8世紀	26.4×758.8	奈良国立博物館
51		讃岐国分寺出土瓦	1点	8世紀	15.5×(28.6)	高松市教育委員会
52	○	日本霊異記 卷下	1冊	嘉禎2年(1236)	26.5×15.4	前田育徳会尊経閣文庫
53		日本霊異記	1冊	江戸時代後期	27.1×19.3	多和文庫
54		下川津遺跡出土 唐翠	1点	7世紀中頃～後半	24.6×78.0×22.2	香川県埋蔵文化財センター
55		始覚寺出土 軒丸瓦	1点	7世紀末～8世紀初	17.5×16.0×15.5	鎌田共済会郷土博物館
56	△	始覚寺出土 軒丸瓦	1点	8世紀初	瓦当径 17.4	洲崎寺
57		始覚寺出土 軒平瓦	1点	8世紀初	12.0×27.5×40.0	鎌田共済会郷土博物館
58		始覚寺出土 軒丸瓦	1点	8～9世紀	径 18.0×15.0	香川県埋蔵文化財センター
59		前田東・中村遺跡出土 軒丸瓦	1点	7世紀末～8世紀初	13.5×15.5×4.5	香川県埋蔵文化財センター
60		前田東・中村遺跡出土 軒丸瓦	1点	8世紀初	径 17.5×9.0	香川県埋蔵文化財センター
61		讃岐国分尼寺跡出土 軒丸瓦	1点	8～9世紀	径 18.0×36.0	高松市教育委員会
62	○	弘福寺領讃岐国山田郡田図	1斤	平安時代後期	28.2×124.3	多和文庫
63	○	讃岐国山田郡川原寺田内校出田注文	1通	天平宝字7年(763)	28.5×48.4	東寺
64	◎	讃岐国山田郡司牒案(東寺百合文書)	1通	天平宝字年間	30.0×38.5	京都府立京都学・歴史館
65		川原寺裏山遺跡出土 方形三尊埴仏	1点	7世紀	23.1×18.5	明日香村教育委員会 (飛鳥資料館保管)
66		下司廃寺出土 埴仏片	1点	7世紀後半	5.0×7.0×2.5	香川県埋蔵文化財センター
67		川原寺出土 軒丸瓦	1点	7世紀後半	径 18.5×13.5	奈良文化財研究所
68		川原寺出土 軒平瓦	1点	7世紀後半	11.5×30.0×44.5	奈良文化財研究所
69		下司廃寺出土 軒丸瓦	1点	7世紀後半	14.0×16.5×6.0	香川県埋蔵文化財センター
70		法隆寺伽藍縁起并流記資財帳	1冊	江戸時代	29.9×21.3	国立公文書館
71		法隆寺伽藍縁起并流記資財帳	1冊	明治時代	26.8×18.8	国立公文書館
72		長屋王家木簡	1点	8世紀	(10.9)×2.0×0.5	奈良文化財研究所
73		長屋王家木簡	1点	8世紀	13.6×1.7×0.4	奈良文化財研究所
74		長屋王家木簡(複製)	1点	(8世紀)	13.6×1.7×0.4	奈良文化財研究所
75		二条大路木簡	1点	8世紀	16.6×2.5	奈良文化財研究所

76		二条大路木簡	1点	8世紀	18.8×1.8×0.4	奈良文化財研究所
77		二条大路木簡(複製)	1点	(8世紀)	9.9×2.0×0.3	香川県立ミュージアム (原資料:奈良文化財研究所)
78		二条大路木簡(複製)	1点	(8世紀)	17.5×1.7×0.4	香川県立ミュージアム (原資料:奈良文化財研究所)
79		前田東・中村遺跡出土 人形	2点	8~9世紀	39.1×6.3×0.6 29.4×4.8×0.8	香川県埋蔵文化財センター
80		前田東・中村遺跡出土 斎串	7点	8~9世紀		香川県埋蔵文化財センター
81	△	宝寿寺出土 軒丸瓦	1点	7世紀後半	瓦当径 17.8	洲崎寺
82		前田東・中村遺跡出土 軒丸瓦	1点	7世紀後半	12.5×17.0	香川県埋蔵文化財センター
83		前田東・中村遺跡出土 軒丸瓦	1点	7世紀後半	径 17.0×2.8	香川県埋蔵文化財センター
84		前田東・中村遺跡出土 帯金具	1点	9世紀	3.4×3.7×0.9	香川県埋蔵文化財センター
85		前田東・中村遺跡出土 帯金具	1点	9世紀	2.1×2.6×0.2	香川県埋蔵文化財センター
86		菅家文草 卷第四	1冊	元禄13年(1700)	25.6×18.0	香川県立ミュージアム
87		菅家文草 卷第四	1冊	江戸時代	26.3×17.4	多和文庫
88		弘法大師像(善通寺御影)	1幅	室町時代	115.3×76.8	香川県立ミュージアム
89		弘法大師像	1幅	鎌倉~室町時代	69.0×55.5	香川県立ミュージアム
90		智証大師像	1幅	江戸時代	138.2×89.6	金倉寺
91	○	智証大師像	1幅	鎌倉時代	138.0×86.0	金倉寺
92		道興大師像(複製)	1幅	(鎌倉時代)	172.0×67.0	香川県立ミュージアム (原資料:醍醐寺)
93		法光大師像(複製)	1幅	(南北朝時代)	86.5×31.5	香川県立ミュージアム (原資料:仁和寺)
94		理源大師像(複製)	1幅	(室町時代)	157.0×61.0	香川県立ミュージアム (原資料:醍醐寺)
95		屋島千間堂跡出土 多口瓶	1点	10世紀	径 33.0×36.0	高松市教育委員会
96		中寺廃寺跡出土 多口瓶	1点	10世紀	口径 11.8 底径 11.6	まんのう町教育委員会
97		中寺廃寺跡出土 錫杖頭片	2点	8~9世紀	現存長 2.62×1.5、 1.5×0.5	まんのう町教育委員会
98		中寺廃寺跡出土 三鈷杵片	1点	8~9世紀	残存長 5.9 最大幅 2.1	まんのう町教育委員会
99	○	十一面観音立像	1軀	平安時代中期	像高 176.3	綾川町堂床区
100		前賢故実 卷第四上	1冊	江戸時代後期	25.9×18.1	国立公文書館
101		考証前賢故実 第四冊	1冊	明治時代	17.0×12.0	国立歴史民俗博物館
102		日本三代実録 卷第六	1冊	寛文13年(1673)	27.3×19.6	高松松平家歴史資料 (香川県立ミュージアム保管)
103	○	令義解 卷第一	1巻	鎌倉時代前期	29.9×1313.7	国立歴史民俗博物館
104		令義解	10冊	慶安3年(1650)	27.1×17.7	香川県立ミュージアム
105		令集解 卷第九	1冊	江戸時代前期	28.3×20.6	国立歴史民俗博物館
106		令集解 卷第十三	1冊	江戸時代前期	28.3×20.6	国立歴史民俗博物館
107	◎	円珍俗姓系図	1巻	平安時代前期	29.4×323.3	園城寺
108		文徳三代実録鈔	1冊	江戸時代後期	23.0×15.7	高松松平家歴史資料 (香川県立ミュージアム保管)
109		続日本紀 卷第四十	1冊	明暦3年(1657)	26.0×18.6	国立公文書館
110		続日本紀 卷第四十	1冊	慶長19年(1614)	31.3×23.0	国立公文書館

111		続日本後紀	1冊	江戸時代	29.9×21.3	多和文庫
112		前賢故実 巻第五上	1冊	江戸時代後期	25.8×18.0	国立公文書館
113		考証前賢故実 第五冊	1冊	明治時代	17.0×12.0	国立歴史民俗博物館
114		日本三代実録 巻第十三	1冊	寛文13年(1673)	27.3×19.6	高松松平家歴史資料 (香川県立ミュージアム保管)
115		東帯天神像	1幅	室町時代	80.4×37.5	香川県立ミュージアム
116		菅家文草 巻第三(寒早十首)	1冊	江戸時代	26.3×17.3	多和文庫
117		菅家文草 上(寒早十首)	1冊	江戸時代中期	35.4×25.5	前田育徳会尊経閣文庫
118	○	松崎天神縁起絵巻 巻第五	1巻	応長元年(1311)	34.2×1331.8	防府天満宮
119		讃岐国府跡出土 灰釉陶器	3点	9～10世紀		香川県埋蔵文化財センター
120		讃岐国府跡出土 緑釉陶器	11点	9～10世紀		香川県埋蔵文化財センター
121		讃岐国府跡出土 瓦	14点	8～10世紀		香川県埋蔵文化財センター
122		讃岐国府跡出土 硯	7点	8～9世紀		香川県埋蔵文化財センター
123		讃岐国府跡出土 銅鋳	1点	9世紀	1.8×1.4	香川県埋蔵文化財センター
124		讃岐国府跡出土 奈良三彩	3点	8世紀		香川県埋蔵文化財センター
125		開法寺跡出土 石造仏頭片	1点	7～8世紀	9.5×6.5×5.5	坂出市教育委員会
126		讃岐国府跡(開法寺東方地区) 大形土坑出土遺物	17点	10世紀前半		香川県埋蔵文化財センター
127		純友追討記(『扶桑略記』巻第二十五)	1冊	江戸時代中期	30.0×22.2	多和文庫
128		純友追討記(『扶桑略記』巻第二十五)	1冊	江戸時代	28.6×21.6	国立公文書館
129		南海通記 巻第二 信州綾姓記	1冊	江戸時代中期	25.8×18.8	白峯寺
130		金毘羅参詣名所図会	1冊	弘化4年(1847)	25.6×18.0	香川県立ミュージアム
131		下川津遺跡出土 鋳造炉	1点	9世紀	32.0×72.0×48.0	香川県埋蔵文化財センター
132		下川津遺跡出土 墨書土器	1点	9～10世紀	4.0×12.0×12.0	香川県埋蔵文化財センター
133		多肥松林遺跡出土 墨書土器	5点	9～10世紀		香川県埋蔵文化財センター
134		川津東山田遺跡出土 墨書土器	1点	9世紀中頃	13.9×13.7×2.5	香川県埋蔵文化財センター
135		郡家一里屋遺跡出土 墨書土器	1点	9世紀後半	4.5×9.5×2.3	香川県埋蔵文化財センター
136		川津川西遺跡出土 墨書土器	1点	9世紀	7.2×6.0×1.5	香川県埋蔵文化財センター
137		郡家原遺跡出土 墨書土器	5点	10世紀前半		香川県埋蔵文化財センター
138		前田東・中村遺跡出土 墨書土器	3点	8～10世紀		香川県埋蔵文化財センター
139	◎	寛弘元年讃岐国大内郡入野郷戸籍 (九条家本延喜式裏文書)	1巻	寛弘元年(1004)	28.1×756.0	東京国立博物館
140		延喜式	1冊	享保8年(1723)	27.4×19.3	香川県立ミュージアム
141	◎	留守所下文案(東寺百合文書)	1巻	平安時代後期	28.0×462.4	京都府立京都学・歴史館
142	◎	留守所下文案(東寺百合文書)	1通	平安時代後期	29.0×39.5	京都府立京都学・歴史館
143		讃岐国司庁宣	1通	嘉禄元年(1225)	34.0×51.8	善通寺
144		讃岐国府跡出土 中国産磁器	1式	11～13世紀		香川県埋蔵文化財センター
145		讃岐国府跡出土 灯明具	8点	12～13世紀		香川県埋蔵文化財センター
146		綾氏系図	1冊	江戸時代後期	26.3×18.7	国立公文書館
147		阿彌陀如来立像	1軀	延慶3年(1310)	像高59.2	善通寺
特別出品		岸の上遺跡出土 木簡	2点	8世紀	15.0×3.2×0.2 7.5×4.3×0.2	香川県埋蔵文化財センター
特別出品		イワサトミキ 顔出し看板《釈迦誕生仏》	1点	平成29年(2017)	164.4×62.4	作家蔵

◎は国宝、○は国重要文化財、□は県指定文化財、△は市指定文化財

第64回日本伝統工芸展



第64回伝統展展示作品数一覧

種別	展示作品数	種別	展示作品数
陶芸	82	木竹工	40
染織	15	人形	13
漆芸	85	諸工芸	37
金工	28	合計	300

④ロビー展示

エントランスのにぎわい作りや作品鑑賞の機会拡大のため、ロビーでの展示を実施。これらの中には当館の活動によるものだけではなく、関係機関とのタイアップなどを目的としたものである。(写真はイサム・ノグチコーナー)

	期 間	展示内容・テーマ・協力者・連携相手など	場 所
1	通年	イサム・ノグチコーナー (アーケイックは 11.7 より貸出のため撤収)	1階図書コーナー
2	6.6(火)～ H30.3.31(土)	ミュージアム・コレクション(剣持勇のデザイン)	1階多目的室・図書コーナー
3	8.5(土)～ 9.13(水)	かがわ生命のミュージアム展関連(恐竜のダンボールオブジェ)	1階エントランス・2階西ロビー

4	8.6(日)～ 8.31(木)	博物館実習生によるパネル展示	3階東ロビー
5	10.28(土)～ 11.12(日)	「かがわ文化芸術祭 2017 ポスター原画展」	1階エントランス
6	H30.1.2(火) ～1.21(日)	第64回 日本伝統工芸展 関連(天野神社の大獅子展示)	1階エントランス
7	1.31(水)～ 2.28(水)	「ミュージアム・ボランティア活動紹介」展示	2階西ロビー



イサム・ノグチコーナー

⑤貸館事業

特別展示を行っていない期間について、5 団体が特別展示室を利用して展覧会を開催した。総入場者数は、4,836 人であった。

展覧会名	主催	会期	観覧者数
香川県美術家協会 創立 50 周年 記念展	香川県美術家協会	12. 12 (火) ～ 12. 17 (日)	1,747 名
第 44 回 毎日書道学会展	毎日新聞高松支局・ 公益社団法人毎日書道学会	H30. 1. 26 (金) ～1. 28 (日)	625 名
第 25 回 莞歌社 四国支部・書 朋会書道展	莞歌社 四国支部・書 朋会	2. 8(木) ～2. 11(日)	543 名
第 49 回 青龍書展	青龍書道会	2. 22(木) ～2. 25 (日)	1,548 名
第 60 回 新協美術展 香川巡回展	新協美術会 香川支部	2. 28 (水) ～3. 6 (火)	373 名
合計			4,836 名

(2) 館外展示

①市町等共同企画展示

県立ミュージアムの美術品をより多くの県民に鑑賞していただくため、県内の各地域と連携し、図書館・資料館等のコミュニティ展示スペースを活用して紹介している。

29 年度は 10 月 7 日 (土) から 11 月 6 日 (月) までの 26 日間、東かがわ市歴史民俗資料館において「香川県立ミュージアム所蔵作品による ハレの日の情景」と題して展覧会を開催した。展示作品については、香川県出身である秋山泰計、江戸健、谷本重義など 7 名の作家による作品 9 点を展示し、90 名の観覧者があった。また、10 月 28 日には展示解説を行い、8 名が参加した。

(3) 展示システム

①展示案内 (委託業務)

展示室での来館者の誘導、展示資料の保守管理、展示見学

補助や体験学習室 (1 階) での時代衣装の着付け、各種器具の保守管理、図書コーナー・ビデオライブラリーでの利用受付などを業務委託して実施している。なお、展示見学補助の主な内容は、各コーナーでの来館者の質問への対応であるが、業務マニュアルにはない専門的な質問については学芸員に連絡をとり対応する態勢をとっている。業務日報は毎開館日の業務終了時に学芸課へ提出され、内容に応じて各担当へ報告される。

②音声ガイドシステム

歴史展示に関する 33 項目について、日本語、英語、中国語、韓国語の解説を聞くことができるポータブル ROM プレーヤー 10 台を、歴史展示室入口で貸し出している (無料)。

(4) 企画・広報

①広報活動

香川県立ミュージアムの認知度向上を目標とし、広報活動を「館の活動全般への理解を、広く県内外の方々から得るための活動」と位置づけて展開した。

i) 報道機関等への情報提供

展示事業、地域連携事業だけではなく、調査研究事業の成果や、ボランティア活動など、当館の活動全般について報道機関へ積極的に情報を提供し、新聞・テレビ・ラジオ・雑誌などの取材や問い合わせに対応した。主な情報提供については以下の通り。

○広聴広報課 (県政 PRBOX) を通しての情報発信

広報誌「The かがわ」内「みんなの便利帳」

ラジオ (RNC 西日本放送「こんにちは香川県です」)

テレビ (OHK 岡山放送「サン讀かがわ+」)

コンビニへのポスター・チラシ配布

○報道機関への情報提供

四国新聞「木曜倶楽部」(毎週木曜日掲載)、「古からのメッセージ」(特別展「讃岐びと、時代を動かす」関連)

テレビ (NHK 松山放送局「四国お昼のクローバー」、RSK 山陽放送「イブニング 5 時」) 出演

○インターネットでの発信

「香川県 HP」、「楽天ブログ」、「うどん県旅ネット」、「かがわアートナビ」

○新聞・出版物への原稿執筆

百十四経済研究所「調査月報」に收藏品紹介
産経新聞「ミュージアムカフェ」

○地元ミニコミ誌、観光案内誌などへの情報提供

ii) 広報資料の発送

特別展開催前等の時期に、県内の関連機関、学校、公民館、観光施設や、県外の博物館・美術館などを中心に、展覧会をはじめとする館の活動を紹介する宣材を発送した (平成 29 年度は、年 8 回)。

発送する内容によっては、特定の広報先を設定（「第82回香川県美術展覧会」での県内美術関係者や、「讃岐びと、時代を動かす」展での県内を中心とした文化財関係者、「第64回日本伝統工芸展」での漆芸関係者など）し、効果的な広報を目指した。主な送付資料は以下のとおり。

- ・展覧会スケジュール
- ・ミュージアムNEWS
- ・特別展などのポスター・チラシ

iii) 特別送付

- 高松近郊のデイサービス等の福祉施設へ、利用誘致を目的に、春・秋を中心に、展覧会スケジュール・特別展チラシなどを送付。
- 県内学校へ、校外学習利用誘致を目的に、3月に展覧会の紹介や団体利用方法についてまとめたパンフレットを送付。また、「クロスポイント」展と「讃岐びと、時代を動かす」展の関連ワークショップではチラシを近隣の幼稚園・保育所の全児童へ、また「第63回日本伝統工芸展」関連のワークショップ「うるしにチャレンジ」では県下小学校の4・5・6年生へ配布し、行事への応募や来館を促した。

iv) 有料広報の展開

特別展について、以下の有料広報をおこない、情報発信につとめた。

○新聞広告

- ・特別展「クロスポイント／交差する視線 20の表現（四国新聞共催 半5段2回）」
- ・特別展「讃岐びと、時代を動かす—地方豪族が見た古代世界—」（四国新聞共催 半5段2回）」
- ・特別展「第64回日本伝統工芸展」（朝日新聞 全7段白黒、四国新聞 全3段カラー）」
- ・特別展「20世紀の総合芸術家 イサム・ノグチ—彫刻から身体・庭へ—」（読売新聞共催 全5段1回）」

○ラジオ広告

- ・夕方の情報番組で「第64回日本伝統工芸展」の内容をラジオCMで紹介。

○交通広告

- ・JR駅・車内吊掲示（入場引換券販売とタイアップ、マリンライナー車内吊単独）」
- ・ことでん有人駅ポスター掲示

○パンフレットラックを設置し、館発行の印刷物を掲示（JR高松駅、ことでん片原町駅・高松築港駅）」

○デジタルサイネージで「讃岐びと、時代を動かす」展の見どころや展示資料を紹介。（JR高松駅、ことでん瓦町駅）」

v) Webによる発信

館独自のホームページでは、県政記者室への情報提供などとタイミングを合わせて情報発信した。「クロスポイント」展では、展覧会情報を発信する特設サイトや facebook を立

ち上げ、一層の発信に努めた。また、「クロスポイント」展と「讃岐びと、時代を動かす」展ではTwitterを使って、学芸員が作品や資料のみどころを楽しく紹介するリレー解説を実施した。なお、「讃岐びと、時代を動かす」展では展覧会で取り上げた5人の讃岐の豪族・国司を展覧会ナビゲーターとするPR動画を館内で作成し、You Tubeで放映した。

vi) その他

学校団体との連携を深めるため、各団体の会議などで内容説明や来館案内をおこなった。（高等学校教育研究会地歴・公民科部会、美術工芸部会など）

② パスポート事業

平成22年度より、パスポート事業を開始している。現在の会員に対し更新の案内をするとともに、新規会員獲得のための広報を積極的に行った。

平成29年度から法人特別展観覧券を新設し、県内の法人に広く周知して販売を促進した。ともに、個人会員の従来の特典の見直しを行い、ミュージアムの「サポーター」として定着していただけるよう努力した。

平成29年度からは、特別展の観覧料について、2回目以降半額、同伴者1名も半額にするなど、パスポート購入者への特典を充実させ、さらに販売を促進するとともに、館の利用促進を図った。

i) 個人パスポート（会員数は平成30年3月31日現在）

金額	対象	会員数
3,080円	一般	48名
1,020円	高校生以下、65歳以上、身体障がい者手帳等所有者	39名
有効期間	購入代金の入金認定日から1年間	

サービス内容

- ・歴史展示室と常設展示室（一般観覧料410円）を無料で観覧できる。
- ・当館主催の特別展（一般観覧料610円～1,200円）を1回目は無料で、2回目以降は半額で観覧できる。（高校生以下の方、65歳以上の方、身体障害者手帳等をお持ちの方は、いずれも無料）
- ・同伴者1人は半額
- ・講演会、学芸講座、ワークショップ参加でポイント進呈。（10ポイントで記念品贈呈）
- ・会員限定のナイト・ミュージアム・トークに案内
- ・当館広報誌、特別展・イベントの案内などを送付する（29年度は、広報誌、特別展・常設展やイベントの紹介など、計6回送付）。

ii)法人メンバーズ(会員数は平成30年3月31日現在)

金額	対象	会員数
20,000円 (法人特別展観覧券1冊30枚綴り)	従業員を雇用している法人・団体、個人事業主、法人等の従業員、その家族	5法人
有効期間	購入代金の入金認定日から1年間	

サービス内容

- ・従業員とその家族が特別展を無料で観覧できる。特別展観覧日に限り、歴史展示室と常設展示室(一般観覧料410円)を無料で観覧することができる。
- ・特別展開会式に案内
- ・特別展覧会図録を進呈
(観覧券綴りの購入冊数に関わらず1法人1冊)
- ・学芸員による特別展展示解説
- ・学芸員が企業研修等で無料講義
- ・会員限定のナイト・ミュージアム・トークに案内
- ・当館広報誌、特別展・イベントの案内などを送付する(29年度は、広報誌、特別展・常設展やイベントの紹介など計6回送付)

第5回	12.6(水)	・文化財レスキューについて指導助言	布谷知夫
第6回	H30.1.10(水)	・展覧会視察 ・平成30年度以降の展覧会計画について指導助言	水沢勉
第7回	2.27(火)	・中期活動計画について意見聴取 ・香川県美術展覧会の改善、資料収集方針について意見聴取	水沢勉
第8回	3.2(金)	・中期活動計画について意見聴取	布谷知夫

(5)展覧会企画力向上事業

美術や歴史に関する展覧会の企画に関し、豊富な経験を持つ学識経験者をアドバイザーに委託し、展覧会の企画や施設の活用等について助言を得て、施設の魅力を高め利用者の増加につながるよう企画力の向上に努めている。

アドバイザー2名

布谷知夫(三重県総合博物館特別顧問)

水沢 勉(神奈川県立近代美術館長)

回	月日	内容等	アドバイザー
第1回	5.10(金)	・館内視察 ・施設の改修計画、平成29年度事業について指導助言	布谷知夫
第2回	5.30(火)	・展覧会視察 ・香川県美術展覧会の改善、作品収集について指導助言	水沢勉
第3回	8.18(金)	・三重県立博物館視察 ・施設の利用について指導助言	布谷知夫
第4回	8.29(火)	・香川県美術展覧会の改善、資料収集方針について意見聴取	水沢勉

2 地域連携事業

博物館と学校教育との連携や生涯学習等、ミュージアムの学習支援事業に加え、平成29年度からは地域との関係や協働にも積極的に取り組んでいくこととし、事業全体を「地域連携事業」として位置付けた。

事業内容は、講演会・講座、ボランティア活動などの生涯学習や、学校団体の案内、館蔵資料を用いた教材開発とその貸出しといった学校教育への支援、文化財レスキュー計画への参画とそれに伴う地域資料保全に関わる活動等、多彩な活動をおこなっている。

(1) 学校教育支援事業

①ミュージアム活用研究会

学校教育支援事業について当館職員と学校教員8名が意見を交換した。当館と学校との実質的な連携を促進し、当館の展示や美術作品、歴史・民俗資料を活用した学習プログラムを充実させることで、児童・生徒の学習に寄与することを目的に活動した。

グループ	研究テーマ
歴史グループ	<ul style="list-style-type: none"> 丸亀藩京極家の参勤交代船揃絵馬（山北八幡神社）を用いた学習プログラムの検討 織田信長・豊臣秀吉・徳川家康朱印状（塩飽勤番所顕彰保存会）を用いた学習プログラムの検討
美術グループ	<ul style="list-style-type: none"> 学校との連携による作品鑑賞学習方法の工夫 「さぬきる」展示の成果と課題

ミュージアム活用研究会 歴史



ミュージアム活用研究会 美術



②教員向け講座（ティーチャーズプログラム）

館蔵資料・作品を教材として活用することを目的に、教員を対象とした専門研修（歴史資料活用講座・美術作品鑑賞講座）を3回実施した。

	月日	テーマ	受講者
1	8.2 (水)	歴史資料活用講座 ・歴史展示室解説 ・「城下町」学習教材体験	11人
		美術作品鑑賞講座 ・「イサム・ノグチ」について ・常設展鑑賞 ・鑑賞教材「アートカード」体験	9人
2	11.23 (木・祝)	歴史資料活用講座 ・「讃岐びと時代を動かす」展示解説 ・木簡作り体験	6人
3	12.9 (土)	美術作品鑑賞講座 ・将来につながる美術鑑賞 ・鑑賞教材「アートカード」体験 ・「香川の風景」対話型鑑賞・参加型プロジェクト体験	7人

③館蔵資料・作品の複製教材制作・貸出

歴史資料の複製教材と、美術・工芸作品鑑賞学習教材（アートカード、漆工芸見本）を希望する学校に貸出した。また、常設展「古い道具と昔の暮らし」を観覧に来た学校の中で、希望があれば石臼体験を行った。なお、昨年度開発した「坂出壘田図（高松松平家歴史資料）学習教材」を完成させた。来年度より貸出する予定である。

教材リスト

教材名	原資料
○「城下町」学習教材 ・8分割シート ・14分割パズル	●「高松城下図屏風」 * 県指定有形文化財 (高松松平家歴史資料)
○アートカード	●館蔵美術工芸作品
○漆工芸見本	●館蔵品
○石臼	●館蔵備品

貸出状況

○「城下町」学習教材

期間	学校	学年	利用者数
5.21(日)～ 5.27(土)	県立高松西高等学校	3年	52人
9.5(火)～ 9.8(金)	高松市立多肥小学校	6年	168人
9.11(日)～ 9.17(土)	丸亀市立郡家小学校	6年	126人

10.3(火)～ 10.15(日)	高松市立一宮中学校	2年	30人
----------------------	-----------	----	-----

○アートカード

期間	学校	学年	利用者数
4.19(水)～ 5.18(木)	高松市立太田南小学校	5年	168人
6.2(金)～ 7.1(土)	坂出市立松山小学校	2・6年	2人
9.16(土)～ 12.1(金)	香川県立高松養護学校	中1～ 3年	5人
9.17(日)～ 10.1(日)	高松市立玉藻中学校	(教 員)	15人
10.1(日)～ 11.5(日)	高松市立玉藻中学校	3年	228人
11.28(火)～ 30.2.16(土)	香川県立香川東部養護 学校	1・3年	14人

○漆工芸見本

期間	学校	学年	利用者数
11.11(土)～ 30.1.25(土)	高松市立香南中学校	3年	90人
12.3(日)～ 12.17(日)	高松市立玉藻中学校	2年	200人
30.1.27(土) ～2.10(土)	観音寺市立豊浜中学校	2年	70人

○石臼体験

この他に、学校側からの要請により、まんのう町立満濃南小学校への出前講座を実施した。

月日	学校	学年	利用者数
10.12(木)	坂出市立金山小学校	3年	31人
10.20(金)	高松市立塩江小学校	3年	16人
10.31(火)	高松市立牟礼南小学校	3年	51人
11.9(木)	さぬき市立長尾小学校	3年	88人
30.1.17(水)	高松市立太田小学校	3年	133人
1.31(水)	高松市立高松第一小学校	3年	117人
2.2(金)	高松市立新番丁小学校	3年	111人
2.7(水)	高松市立東植田小学校	3年	4人
2.2(金)	高松市立新番丁小学校	3年	111人

戦時下の生活に関する授業において、当時の雑誌等の実物資料を含む教材を学校に持ち込み、学習の進行にあわせ、適宜当館職員が説明を実施した。



まんのう町立満濃南小学校での出張授業

④学校への広報

玉藻公園、香川県漆芸研究所と連携して、校外学習誘致を目的としたパンフレットを3月末までに作成し、県内の各学校に送付した。

⑤校外学習への協力

各学校の校外学習を積極的に受け入れ、児童・生徒の歴史・美術学習を支援する。

学校団体利用一覧

校種		学校団体名	総人数 (引率者 含)	月 日
幼稚園・保 育所 の べ4園136 人	1	若葉保育園	29	5.26(金)
	2	カナン保育園	23	5.30(火)
	3	城東保育園	26	8.25(金)
	4	城東保育園	58	8.29(火)
小学校 のべ 43校 3,168 人	1	高松市立亀阜小学校(5・6年)	214	4.26(水)
	2	高松市立一宮小学校(6年)	154	4.26(水)
	3	綾川町立昭和小学校(6年)	46	4.28(金)
	4	高松市立新番丁小学校(6年)	126	4.28(金)
	5	さぬき市立志度小学校(6年)	97	5.1(月)
	6	高松市立国分寺北部小学校(6年)	140	5.2(火)
	7	高松市立三溪小学校(5年)	70	5.2(火)
	8	高松市立仏生山小学校(6年)	79	5.2(火)
	9	坂出市立坂出小学校(5年)	103	5.2(火)
	10	坂出市立林田小学校(6年)	67	5.2(火)
	11	高松市立花園小学校(6年)	51	5.2(火)
	12	高松市立円座小学校(6年)	119	5.10(水)
	13	高松市立第一小学校(6年)	114	5.10(水)
	14	綾川町立滝宮小学校(6年)	54	5.12(金)
	15	高松市立木太小学校(6年)	80	5.26(金)
	16	高松市立中央小学校(6年)	141	5.30(火)
	17	高松市立新番丁小学校(5年)	144	6.2(金)
	18	直島町立直島小学校(5年)	20	7.26(水)
	19	丸亀市立栗熊小学校(5年)	18	9.15(金)
	20	小豆島町立苗羽小学校(5年)	24	9.22(金)
	21	坂出市立金山小学校(3年)	31	10.12(木)

	22	香川大附属坂出小学校 (5年)	81	10.18 (水)
	23	さぬき市立志度小学校 (3年)	95	10.19 (木)
	24	さぬき市立さぬき北小学校 (3年)	52	10.20 (金)
	25	高松市立塩江小学校 (3年)	16	10.20 (金)
	26	三豊市立比地大小学校 (5・6年)	30	10.25 (水)
	27	普通寺市立中央小学校 (6年)	30	10.25 (水)
	28	東かがわ市立白鳥小学校 (3・5年)	41	10.31 (火)
	29	高松市立高松第一小学校 (3年)	87	10.31 (火)
	30	高松市立牟礼南小学校 (3年)	51	10.31 (火)
	31	三豊市立笠田小学校 (5・6年)	41	11.1 (水)
	32	普通寺市立南部小学校 (5年)	31	11.2 (木)
	33	さぬき市立長尾小学校 (3年)	88	11.9 (木)
	34	坂出市立府中小学校 (5年)	20	11.10 (金)
	35	小豆島町立星城小学校 (3年)	14	11.16 (木)
	36	高松市立太田小学校 (3年)	133	H30.1.17(水)
	37	高松市立高松第一小学校 (3年)	117	1.31(水)
	38	高松市立新番丁小学校 (3年)	111	2.2(金)
	39	高松市立東植田小学校 (3年)	4	2.7(水)
	40	普通寺市立与北小学校 (6年)	11	2.16(金)
	41	高松市立多肥小学校 (6年)	170	2.21(水)
	42	さぬき市立神前小学校 (6年)	16	3・6(火)
	43	東かがわ市立白鳥小学校 (6年)	37	3・8(木)
中学校 のべ 10校 188人	1	土庄町立豊島中学校 (1年)	8	4.22(土)
	2	普通寺市立東中学校美術部	13	5.14(日)
	3	岡山後楽館中学校	6	5.16(火)
	4	普通寺市立西中学校 (2年)	94	5.26(金)
	5	高松市立下笠居中学校美術部	14	6.3(土)
	6	香川大学教育学部附属高松中学校美術部	11	6.3(土)
	7	坂出市立瀬居中学校 (1年)	9	6.9(金)
	8	直島町立直島中学校美術部	6	8.30(水)
	9	高松市立勝賀中学校美術部	15	10.28 (土)
	10	丸亀市立飯山中学校美術部	12	10.28 (土)
高校 のべ 8校 525人	1	徳島県立城ノ内中・高等学校美術部	17	5.21 (日)
	2	県立高松工芸高等学校デザイン科	61	5.25(木)
	3	高松中央高等学校	11	5.30(火)
	4	県立高松工芸高校	75	7.4(火)
	5	本郷高等学校 (第2グループ)	164	10.19 (木)
	6	本郷高等学校 (第1グループ)	159	10.19 (木)
	7	県立高松工芸高等学校	26	H30.1.12(金)
	8	明徳義塾高校美術部	12	1.14(日)
特別支 援学校 のべ 6校 93人	1	香川県立高松養護学校	5	5.9(火)
	2	県立普通寺養護学校	6	9.22(金)
	3	県立香川中部養護学校中学部	49	9.28(木)
	4	香川県立聾学校	2	11.24 (金)
	5	香川県立香川東部養護学校中等部	15	H30.12.8 (金)

	6	香川県立香川丸亀養護学校小学部	16	2.9(金)
大学・ 短期大 学・高 等専門 学校・ 専門学 校のべ 15校 279人	1	徳島文理大学香川校	15	5.27(土)
	2	香川大学・エックカード大学	18	6.14(水)
	3	高松短期大学	12	7.1(土)
	4	高松短期大学	25	7.1(土)
	5	高松大学	16	10.7(土)
	6	四国学院大学	12	10.14(土)
	7	香川大学	6	10.25 (水)
	8	徳島文理大学	9	10.26(木)
	9	徳島文理大学	15	11.11(土)
	10	香川大学	13	11.11(土)
	11	高松短期大学	47	11.25(土)
	12	香川大学	19	12.17 (日)
	13	四国学院大学	34	H30.1.27(土)
	14	香川大学	7	2.21(水)
	15	國學院大學博物館研究室	31	2.27(火)
学童保育 他2団体 47人	1	学童クラブゆうか	30	8.8(火)
	2	西条市大町会館	17	12.16 (土)

⑥教員研修会への協力

○香川県高高等学校教育研社会科部会

月日：5月12日(木) 参加者：55人

場所：当館 担当：御厨義道(当館職員)

○香川県中学校教育研究会社会科部会

月日：7月31日(月) 参加者：183人

場 所：パールガーデン高松

担当：御厨義道(当館職員)

○県教育センター義務教育教職10年経験者研修

課題別体験研修(「郷土学習」)

月日：8月22日(火)・23日(水) 参加者：36人

場所：香川県立ミュージアム、香川県漆芸研究所、

瀬戸内海歴史民俗資料館

担当：御厨義道(当館職員)、橋本武生(当館職員)

竹内幸司(漆芸研究所)、田井静明(分館職員)

木内英博(分館職員)、芳澤直起(分館職員)

⑦職場体験学習・インターンシップへの協力

平成29年度は、県内の中学校・高等学校計15校43人が当館で、職場体験学習・インターンシップを実施した。

日程	学校名・学年	参加者
7.5(水)～ 7.10(月)	香川県立高松工芸高等学校・ 2年	6人
7.25(火)～ 7.26(水)	香川県立三木高等学校	3人
8.31(木)～ 9.1(金)	さぬき市立志度中学校	3人
9.13(水)～ 9.14(木)	高松市立勝賀中学校	3人
9.13(火)	高松市立龍雲中学校	3人
9.13(火)～ 9.14(木)	高松市立紫雲中学校	3人
9.13(火)～ 9.14(木)	高松市立国分寺中学校	3人
10.3(火)～ 10.5(木)	高松市立山田中学校	3人
10.5(木)～ 10.6(金)	高松市立下笠居中学校	2人
10.5(木)～ 10.6(金)	高松市立玉藻中学校	3人
10.18(水)～ 10.19(木)	高松市立一宮中学校	2人
12.5(火)～ 12.7(木)	高松市立桜町中学校	3人
12.6(水)～ 12.8(金)	高松市立太田中学校	2人
H30.1.16(火) ～1.18(木)	高松市立高松第一中学校	2人
1.17(水)～ 1.19(金)	香川県立津田高等学校	2人

⑧大学との連携

○インターンシップの受入

高松短期大学秘書科1年生 2名(12～2月中の8日間)を受け入れた。館内でのイベントの準備や設営等にあたった。

月日	大学	種別	人数	備考
4.30(土)	四国学院大学	学芸員資格	13人	
12.6(火) 12.13(火)	香川大学	教職課程	20人	前掲
H30.1月	香川大学	社会教育コース	1人	取材

○館内見学等受入

○講師派遣

月日	大学	テーマ	派遣職員	備考

7.13(木)	県立保健医療大学	讃岐の近代医学萌芽 歴史資料からのアプローチ	渋谷啓一	博物館学
H30.1.15(土)	香川大学	現美術学芸の現場 イサム・ノグチ展企画を例に	田口慶太	博物館学
1.27(金)	四国学院大学	香川県立ミュージアムにおける教育活動の概要解説及びワークショップ	御厨義道	教職課程

⑨博物館実習

当館では、博物館学芸員資格の取得課程の一環として、大学からの依頼により実習生を受け入れている。平成29年度は、8月1日(火)～6日(日)の6日間に、4名の実習生の受け入れをおこなった。実習成果については、3階東ロビーにて「藤川栄子～20世紀を駆け抜けた女流画家～」と題して展示した。



博物館実習の様子

<実習生の大学別内訳>

神戸女子大学1名、京都造形芸術大学1名、宮崎大学1名、愛媛大学1名、

月日	実習内容
8.1(火)	開講式、オリエンテーション、館内見学、調査管理について、課題発表
8.2(水)	作品取扱(実習)、展示企画について、作品を見る(実習)、展示テーマを話し合う(実習)
8.3(木)	地域連携について、資料調査(実習)、資料選択(実習)
8.4(金)	展示構成について(実習)、原稿作成(実習)、特別展開展式準備・見学
8.5(土)	原稿作成(実習)、パネル作成(実習)
8.6(日)	パネル作成(実習)、展示作業(実習)、発表、閉講式

⑩体験学習室

体験学習室では、近年見かけなくなった伝統的な玩具が用意され、昔の遊びを体験できる。また、十二単や甲冑の試着ができるコーナーもあり、外国人観光客などにも人気である。遠足で訪れる学校団体に好評で、クラスで数名が試着し、皆で囲んで記念撮影を行っている。

<体験学習室備品一覧>

衣装	十二単・甲冑・貫頭衣・桧扇・弓 古墳時代甲冑(厚紙製)
遊具	盤双六・絵双六・けん玉・ヨーヨー・お手玉 投扇興・将棋・囲碁・こま・力士ごま かわりごま・駒まわし台・ベーゴマ ベーゴマ台・めんこ・ビー玉・おはじき だるま落とし・かるた・百人一首 土器パズル・絵パズル・組み木パズル 貝合わせ・トントンずもう・紙芝居用舞台 むかしばなし
楽器	篠笛・龍笛・能管・尺八・ひちりき カンカン石・神楽鈴・小鼓・拍子木
帽子	折烏帽子・張貫立烏帽子・御冠
その他	姿見・源内のぞきめがね・千両箱・箱枕 高松張子・箱膳・張子の虎・奉公さん 十二支パズル・みとり(綿繰り機) 昔遊びの本・香川県のパズル・獅子頭 竹製水鉄砲・香川県を探せパズル

⑪図書コーナー

図書コーナーは体験学習室に隣接して、設置している。約4,000冊の蔵書(歴史、民俗、美術に関係するもの)を常備し、利用者が自由に閲覧できるようにしている。

⑫ビデオライブラリー

ビデオライブラリーでは2種類の映像公開を行っており、ビデオテープ閲覧コーナーでは314本のビデオテープを常備し、来館者は希望すれば映像を閲覧できる。

また、3階の歴史展示室内の詳細映像や香川県の民俗表示の映像(下記一覧表参照)を自由に選べるタッチパネル操作のモニター画面を設置している。

<ビデオライブラリー制作番組一覧>

ジャンル	考古	発掘調査に挑戦 銅鐸絵画の世界 瀬戸内海の2万年 讃岐の古代遺跡
------	----	-------------------------------------

歴史	讃岐の古代仏教 若き日の弘法大師空海 菅原道真と讃岐 悲劇の上皇崇徳院 志度の玉取り伝説 水主神社の経函 中世の埋納銭 ヤジさんキタさん金毘羅へいく 江戸の科学 寛延の百姓一揆 讃岐三白 香川の近代塩業 戦後の公営住宅 汽車が電車が香川を走る 坂出・宇多津variゆく郷土 香川の近代建築1・2
	美術
民俗	肥土山農村歌舞伎 安田おどり 坂本念仏踊 滝宮の念仏踊り～雨乞奉納～・～常例奉納～ 櫃石ももて祭 北条念仏踊 綾南の親子獅子舞 庵治締太鼓 祇園座 勅使本村の獅子舞 直島女文楽 虎頭の舞 尺経獅子舞 南川太鼓 家浦二等獅子舞 生里ももて祭 賀茂神社長床神事 さいさい踊 田野々雨乞踊 吉津夫婦獅子舞 和田雨乞踊 綾子踊 神野神社湯立神事(神楽) 蹴鞠 木熊野神社 特殊神事 シカシカ踊り 垂水神社湯立神事(神楽) 南鴨念仏踊 弘法大師信仰 讃岐雨乞物語
	香川県全域

(2) 地域連携活動

①職員の講師派遣

月日(曜)	講師氏名	テーマ・内容	場所	参加数
4.27(木)	御厨義道	高松平家に関する内容	本館(高松市文化財保護協会)	55人
5.12(木)	御厨義道	常設展「松平左近」について	本館(高松市文化財保護協会)	55人
5.18(木)	西岡達哉	城跡が語る普通寺の戦国史	普通寺市民会館	60人
6.18(日)	野村美紀	伊賀小四郎の軌跡	綾川町立生涯学習センター	23人
7.13(木)	渋谷啓一	再掲 讃岐の近代医学萌芽 歴史資料からのアプローチ	県立保健医療大学	88人
7.22(土)	渋谷啓一	普通寺と丸亀藩	総本山普通寺 遍照閣	70人
7.31(月)	御厨義道	高松城下図屏風について	パールガーデン高松	183人
9.2(土)	高木敬子	書画のよそおい(掛け軸の表装に)	高松市香南歴史民俗郷土館	27人

		ついて)		
9. 9 (土)	西岡達哉	勝賀城跡	高松市歴史資料館	120人
10. 21 (土)	渋谷啓一	古代の讃岐	観音寺市中央公民館	7人
10. 21 (土)	渋谷啓一	古代の讃岐	さぬき市大川公民館	68人
11. 22 (水)	野村美紀	近代仁尾の文化遺産	仁尾町総合文化会館	28人
12. 3 (日)	御厨義道	高松藩校に関する内容	大洲市民会館	300人
12. 19 (火)	渋谷啓一	古代の讃岐	丸亀市生涯学習センター	38人
H30. 1. 7 (月)	鹿間里奈	日本伝統工芸展	本館(かわわ長寿大学)	90人
1. 10 (木)	御厨義道	讃岐の大名	本館(かわわ長寿大学)	192人
1. 11 (金)	御厨義道	讃岐の大名	本館(かわわ長寿大学)	190人
	鹿間里奈	日本伝統工芸展	本館(かわわ長寿大学)	190人
1. 15 (土) 再掲	田口慶太	美術学芸の現場イサムノグチ展企画を例に	香川大学経済学部	150人
1. 17 (水)	佐藤竜馬	坂出人工土地について	坂出グランドホテル	40人
1. 25 (木)	渋谷啓一	ふるさと研究講座「讃岐の五街道について」	屋島コミュニティーセンター	22人
1. 27 (土) 再掲	御厨義道	香川県立ミュージアムにおける教育活動の概要解説及びワークショップ	本館(四国学院大学)	30人
3. 13 (火)	上野 進	公民館講座「躍動する中世の仁尾」	仁尾町文化会館	32人
3. 19 (月)	渋谷啓一	讃岐の五街道の原像を求めて	前田コミュニティーセンターふれあい館	12人
3. 22 (木)	御厨義道	高松藩の幕末維新	本館(高松市観光ボランティア協会)	65人
3. 24 (土)	上野 進	徳島歴史講座「江戸時代の四国遍路」	徳島市立徳島城博物館	85人

②文化財レスキュー

県文化芸術振興計画中の「文化財レスキュー計画」の策定に当館も参画し、災害時における県内文化財をはじめ、地域に所在するさまざまな資料・作品を救済する体制や方法などの検討を実施した。

平成29年度は、月1回程度の頻度で、県立ミュージアム、瀬戸内海歴史民俗資料館、生涯学習文化財課が集まり、救済対象となる資料の範囲や救済体制等について検討を重ねた。また、月2回程度ずつ、地域資料の所在把握調査のモデル地区とした多度津町において、有志によって行われている旧合田邸における所在資料の汚れ除去と整理作業に当館職員も協力した。

本年度は、文化振興計画の最終年度であり、恒常的に取り組んできた事業の他、とりまとめも行った。当館が発行する広報誌「香川県立ミュージアムニュース39号」を「地域に残る歴史的な資料等の保全に向けて」の特集号とし、平成25年度から平成29年度までに取り組んできた文化財レスキューを含む地域の歴史的資料等の保全に関わる活動について総括し、さらに資料保全の取り組みを多くの人々と共有できるよう、被災した資料の初期における取扱いを図式で示した「災害時の初期対応—被災資料を救うために—」、地域に残る資料を守るための日々の注意点を簡略に述べた「日常管理のポイント—資料を永く伝えるために—」を掲載した。本誌は県内の関連施設に送付した他、生涯学習文化財課と協力し、指定文化財の所有者等の関係者に配布する。

また、岡山県で開催された第4回全国史料ネット研究交流集会(平成30年1月20日・21日、ノートルダム清心女学院)のポスターセッションに参加、本県での取り組みを紹介するとともに、各地における状況に関する情報を得た。

平成29年度で文化芸術振興計画は区切りがつくが、次期文化芸術振興計画においても文化財レスキューへの取り組みは提示される予定であり、次年度以降は、災害時の文化財の救済を含め、地域とのゆかり、地域のあゆみを示す作品や資料を地域の人びととともにどのように保全、活用していくかについて取り組んでいく。

③ボランティア

平成29年度のボランティア登録人数は、5名の新規応募を含め92名となった。当館ボランティアは、解説、ギャラリートーク、普及、資料整理、分館の5つのグループに分かれて活動している。他のグループへの異動や複数グループへの登録も可能で、グループ別の活動のほか、全グループが参加できる活動も行っている。

平成29年度のボランティア全体に係る活動は次のとおり

○特別展関連ワークショップ補助

- ・「自分だけの顔出し看板をつくっちゃおう」
(5月4日(木・祝))
- ・「デコタマでジャック!!」

(5月5日(金・祝))

・「着付体験—天平衣装」

(10月22日(日)、11月19日(日)・26日(日))

・「古代のラゲッジタグ(荷物札)—付札木簡づくり」

(11月5日(日))

○全体会

前年度の活動報告、本年度の活動予定の調整、意見交換
(4月16日(日))

○ロビー展(平成30年1月30日(火)～2月28日(水))

各グループの活動を当館2階西ロビーにてパネルで紹介。

○グループ代表者会(3月18日(日))

年度事業のとりまとめと次年度計画について協議。

《各グループの活動》

各グループの所属人数については、複数グループの登録者がいるため、合計数が登録実人数=92名より多くなっている。

<解説グループ> 22名

3階歴史展示室にて、毎週土曜日の13時30分～16時、および特別展会期中の土・日曜日の13時30分～16時に、希望者を対象に展示解説をおこなった。総回数76回活動し、来館者272組671人に解説をおこなった。あわせて、夏休み期間中の土・日曜日には、子ども対象に、ワークシート「れきしはかせにチャレンジ!」への取り組みをサポートした。

また、キッズワークショップ「子どもれきしきょうしつ—かたなとよろいを学ぼう—」では展示室で実施したクイズの解答と解説を担当した。

このほか、毎月1回、第4土曜日を中心に定例会を開き、活動状況などに関する情報交換をおこなうとともに、グループ員が持ち回りで興味関心をもったテーマについて研究報告する勉強会を実施し、県内の歴史や民俗等に関する知識を深めた。

<ギャラリートークグループ> 16名

2階常設展示室にて、毎週日曜日の11時00分～12時に、美術に関する展覧会の展示内容紹介(ギャラリートーク)を行った。また、特別展「第64回日本伝統工芸展」会期中の内、1月6日～21日の土日祝日の10時30分～12時にも展示品解説を行った。活動日数40日間、活動のべ人数56名で、414名の来館者に対して解説を実施した。

毎月1回、第2土曜日に定例会を開催し、活動計画や活動状況報告、勉強会等を行うほか、館外研修として川島猛アートファクトリー(高松市亀水町)を訪ね知識を深めた(平成29年8月5日実施、9名参加)。

トークを行った展覧会名

- ・特別展「第64回日本伝統工芸展」
- ・常設展 アート・コレクション 交錯する都市NY
- ・常設展 アート・コレクション 銀壽社とその時代

・常設展 アート・コレクション 20世紀の美術Ⅱ

・常設展 アート・コレクション 香川の風景

・常設展 アート・コレクション 描かれた人々—福岡青嵐の写生画から

<普及グループ> 18名

館の各種行事で準備・補助を行うとともに、いくつかの行事を主体となって企画・運営した。主体事業として、ミュージアムワークショップ「高松張子づくり」、キッズワークショップ「屋島の模型をつくろう」、「戦争中は何を食べていたの?」を実施した。それぞれの事業で歴史的背景や作成手順を資料にまとめ、試作会を行うなど、当日の運営までを行った。

また、平成17年からミュージアムが実施する調査の一環として、あらかじめ定めた地点から継続的に写真撮影を行い、景観の変化等を記録し、資料化する定点観測を実施している。定点観測調査は、ミュージアム職員と普及グループ員が実施することとしており、本年度は11月19日に実施した。

毎月1回、第3日曜日には定例会を開催し、行事に向けての準備、打ち合わせを行った。

<資料整理グループ> 20名

毎月2回の定例活動日に資料等の整理を行った。第1日曜日には、ミュージアムが協力している旧合田邸における資料整理活動に参加し、第3土曜日には全国から発送されてくる博物館・美術館の展覧会チラシや寄贈図書の整理、刊行物の封入作業補助、歴史資料整理(写真撮影等)を行った。整理された展覧会チラシは都道府県別にファイリングし、来館者が閲覧できるように整理して2階ロビーに設置した。

<分館グループ> 27名

活動内容の詳細は分館事業ページに掲載。

④香川県資料館協議会

香川県資料館協議会は、当館が県内市町等の資料館・博物館の中核館として、各館職員の資質向上をめざした研修や、情報提供をはじめ、展示企画・教育普及・調査研究・資料管理にかかる加盟館相互の交流をはかるため、2回の会議・研修等を実施している。平成29年度には3館の新規加盟があり、加盟館は44館。平成29年度事業は以下のとおり。

○第1回会議

月日:5月26日(水) 場所:県立ミュージアム

参加館:20館

議事:28年度事業報告、29年度事業計画、各館情報・意見交換、その他(資料館協議会相互の資料活用について、文化財レスキュー計画に伴う資料調査カードについて)

研修:高木敬子氏(香川県立ミュージアム)

「研修報告 日博協 博物館とコレクション

—収蔵庫を考える—

野村美紀氏(香川県立ミュージアム)

「研修報告 博物館の危機管理

一大規模災害と博物館一

視察：県立ミュージアム特別展・常設展

○第2回会議

月日：11月16日（水） 場所：善通寺宝物館

参加館：16館

情報・意見交換会：新規加盟館紹介、各館情報・意見交換
(資料館協議会加盟館相互の資料活用
について)、その他

研修・視察：松原潔学芸員「善通寺宝物館について」、善通
寺宝物館見学

「香川県資料館協議会会則」

(名称)

第1条 本会は、香川県資料館協議会という。

(組織)

第2条 本会は、香川県内の資料館及びこれに類する施設
をもって組織する。

(事務局)

第3条 本会の事務局は、香川県立ミュージアムに置く。

(目的)

第4条 本会は、香川県の資料館事業の普及発達を図り、
もって地域文化の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第5条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を
行う。

- ①資料館相互の連絡及び情報交換
- ②資料の調査、収集、保存、展示などに関する協力
- ③資料館事業に関する研究会、講演会及び講習会などの
開催
- ④その他本会の目的達成に必要な事業

(役員)

第6条 本会に、会長1名及び副会長1名を置く。

- 2 会長は、香川県立ミュージアム館長の職にある者
をもって充てる。
- 3 会長は、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長があらかじめ指名する。任期は2年と
し、再任を妨げない。ただし、任期満了後、新役員が
選任されるまでは、なお、その職務を行う。役員の内
任期途中において、人事異動その他のやむを得ない事由
により退任した場合は、当該役員が所属する施設の後
任者をもってその任にあてるものとする。この場合の
任期は当該役員が所属する施設の任期とする。
- 5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはそ
の職務を代行する。

(会議)

第7条 会議は、会長が招集し、その議長となる。

- 2 会議は、年2回開催し、別に臨時会を開くことができ

る。

3 議決を要する事項は、出席会員の過半数で決する。

4 会議を招集するいとまがなく緊急に処理を要する
事項は、会長が決する。

(経費)

第8条 事業にともない経費が必要となった場合は、臨時
に徴収することがある。

(委任)

第9条 この会則に定めるものの他、本会の運営について
必要な事項は、会長が別に定める。

附則

- 1 本会則は、昭和59年5月22日から実施する。
- 2 本会則は、平成10年7月30日に一部改正する。
- 3 本会則は、平成13年4月1日に一部改正する。
- 4 本会則は、平成14年7月18日に一部改正する。
- 5 本会則は、平成20年4月1日から施行する。
- 5 本会則は、平成21年4月1日から施行する。

附則（平成21年4月1日）

上記の規定にかかわらず、平成21年3月31日に監事の職
にあるものは、平成21年度決算が承認されるまでその
職務を行うこととする。

(3) 普及活動

① ワークショップ

香川県伝統工芸士やボランティアを講師とする一般向け
の体験講座を2回実施した。

	月日	テーマ	講師	参加者 (申込者)	受講料
1	12.10 (日)	組手障子の技を学 ぼうーコースタ ー・ミニついたて 作りー	生島直樹 (県伝統工 芸士)	18人 (18人)	2,000円
2	H30. 2.17 (土) 2.18 (日)	高松張子づくり	当館ボラン ティア職員	18人 (20人)	500円

② キッズワークショップ

子どもたちに体験活動を通し、歴史や美術に親しむ機会を
提供することを目的として実施した。内容は調理、工作な
ど。講師は、当館職員やボランティアが務めた。

	月日	テーマ	講師	参加者 (申込者)	受講料
1	7.23 (日)	屋島の模型をつ くろうーミニチ ュア模型でつく る香川の文化財 ー	当館ボラン ティア、職 員	24人 (70人)	400円

2	7.29 (土)	子ども びじゅつ かんしょう 教室	当館職員	午前の部 11人 (16人) 午後の部 13人 (14人)	50円
3	7.30 (日)	子どもれきし教室 ーかたなと よろいを学ぼう ー	当館職員、 ボランティア	10人 (14人)	50円
4	8.6 (日)	戦争中は何を食べていたの?ー いもがゆ作りー	当館ボラン ティア、職 員	26人 (50人)	200円

③特別展開連イベント

特別展に関連して、展示解説やワークショップ等の行事を企画し実施した。本年度は特別展「クロスポイント」では出品作家によるトークや複数の作家による意見交換、出品作家による閉幕行事等新しい取り組みを行った。

	日程	テーマ	講師	参加者数	受講料
「クロスポイント」関連					
1	4.16 (日) 4.23 (日) 4.30 (日) 5.6 (土) 5.21 (日) 5.27 (土)	アーティスト・トーク	筆塚稔尚氏、野口哲哉氏、カミイクタクヤ氏、依田順子氏、依田洋一朗氏、大島よしふみ氏、岡田昌宏氏、イワサトミキ氏、長野由美氏、山本糾氏、山端篤史氏、亀井洋一郎氏、西村記人氏、辻野榮一氏	235人	—
2	4.28 (金) 5.19 (金)	ナイト・トーク	当館職員	65人	—
3	5.3 (水・祝) 5.28 (日)	クロス・トーク「作品を作りつづけるといふこと」「手から生み出されるもの」	藏本秀彦氏、さとうゆうじ氏、辻野榮一氏、稲崎栄利子氏、田淵太郎氏、得丸成人氏、当館職員	108人	—

4	5.4 (木・祝)	ワークショップ 「自分だけの顔出し看板を作っちゃおう！」	イワサトミキ氏、当館職員、ボランティア	50人	600円
5	5.5 (金・祝)	ワークショップ 「デコタマでジャツ!!」	長野由美氏、当館職員、ボランティア	36人	300円
	5.12 (土) 5.26 (土)	パスポート・トーク	当館職員	7人	—
7	6.2(金)	クロージング・ナイト・イベント	得丸成人氏、北村大樹氏、森山剛氏	70人	—
「讃岐びと 時代を動かす」関連					
1	10.7 (土)～ 11.26 (日) 休館日 を除く 計86回	エブリデー・トーク	当館職員、埋蔵文化財センター職員		—
2	10.15 (日) 10.28 (日)	ミュージアム学園	日詰裕雄氏	17人 18人	1,000円
3	10.22 (日) 11.19 (日) 11.26 (日)	天平衣装 着付体験	当館職員、 ボランティア	54人	—
4	11.3 (金) 11.4 (土)	中学生によるワークショップ『さぬきる!!』	高松市立紫雲中学校美術部、さぬき市立さぬき南中学校美術部、善通寺市立東中学校美術部、観音寺市立豊浜中学校美術部	26人	50円

5	11.5 (日)	古代のラ ゲッジタ グ 付札 木簡づく り	当館職員	13人	200円
6	11.19 (日)	現地説明 会「讃岐国 府ってど んなところ ?」	松本和彦氏、 当館職員、 埋蔵文化財セ ンターボラン ティア	39人	—
「第64回伝統工芸展」関連					
1	H30.1.6 (土)	うるしに チャレン ジ!	北岡省三氏(漆 芸家)他	68人	2,000円

この他、8月5日(土)～9月3日(日)の「かがわ生命のミュージアム～感じて! 進化の歴史とふしぎ～」の関連行事として、みどり保全課が「むしむしクイズ」を企画・実施した。
(会期中の土・日曜日各日10:00～、14:00～ 2階西ロビー)

④講演会

特別展に関連したテーマや話題性の高い魅力的なテーマを設定し講演会やシンポジウムを計3回実施した。

	月日	テーマ	講師	受講者
1	4.15 (日)	ラウンド・トーク「現代のアートを読み解く」 *クロスポイント展関連	作家:大島よしふみ氏、 ミケタクヤ氏、 筆塚稔尚氏、依田洋一 朗氏、モデレーター: 毛利義嗣氏(京都造形 芸術大学准教授)	152人
2	10.29 (日)	シンポジウム 「地域から見る 古代史の可能性」*讃岐びと 関連	三上喜孝氏(国立歴史 民俗博物館准教授)、 守田逸人氏(香川大学 教育学部准教授)、松 本和彦(香川県埋蔵文 化財センター主任文化 財専門員)、渋谷啓一 (当館)	133人
3	H30.1.14 (日)	「伝統を未来に つなぐために」 *日本伝統工芸 展関連	生駒芳子氏(伝統工芸 プロジェクト「WAO 「HIRUME」プロデュー ー)	160人

⑤学芸講座

当館学芸員が香川の歴史や古美術、日本美術や西洋美術について、特別展や常設展示のテーマ、調査研究等に関連して講座を7回実施した。

	月日	テーマ	講師	受講者
1	5.13 (日)	「松平左近一高松藩を救った英才」	御厨義道 (当館)	100人
2	7.9 (日)	シリーズ講座①「時代を動かした讃岐びとたち～古代讃岐のポテンシャル～」	渋谷啓一 (当館)	103人
3	8.20 (日)	シリーズ講座②「讃岐国府の実像に迫る～成立から展開まで～」	松本和彦 (香川県埋蔵文化財センター)	118人
4	9.24 (日)	「マルセル・デュシャンって誰だ?」	瀧上華(当館)	52人
5	11.12 (日)	シリーズ講座③「讃岐びとたちの行く末 次の時代への展開」	渋谷啓一 (当館)	124人
6	H30.2.4 (日)	「描かれた人々 一福岡青嵐の写生画を中心に」	鹿間里奈 (当館)	29人
7	3.25 (日)	ミュージアム・スーパー・プレゼンテーション2018	木内英博 橋本武生 織野智子 (当館)	43人

⑥ミュージアム・コンサート

本年度は、特別展「讃岐びと 時代を動かす」関連行事として1回開催した。幅広くなじみのある童謡などの歌唱・演奏に加え、展示内容に関連した書き下ろし曲による人形劇の上演があった。

	月日	テーマ	演奏者	演奏曲	場所	参加者
1	10.11 (土)	音で楽しむ昔のおはなし	みゅーじっくすペーすコモド	村まつり、 あながた どこさ、昔 話だいだ らぼっち、 もみじ、ま っかな秋 等全10曲	1階 図書コ ーナー	152人

3 調査研究事業

調査研究事業は、香川県立ミュージアム規則第2条第3項「資料に関する専門的又は技術的な調査研究を行うこと」とあるとおり、種々のミュージアム事業を展開していく上でも、その原動力となるものである。

当館では、前身の歴史博物館時代より県内寺社調査や歴史資料の所在確認調査を行い、『調査研究報告』でその成果を公表してきた。また文化会館の美術部門では、県ゆかりの作家・作品の調査を行い、展示に反映させてきた。歴史博物館と美術館の機能が一体となったミュージアムにおいては、更に多角的に調査・研究活動を行い、失われつつある歴史や民俗、先人の残した優れた作品を掘り起こし、本県文化の新たな創造に寄与することを目指している。

(1) 調査研究活動

① 寺社総合調査

平成29年度は、善通寺（善通寺市）、本山寺（三豊市）の資料調査を実施した。

○善通寺古文書・古記録調査

善通寺総合調査は平成12年度より5カ年計画で開始し、宝物館を中心に諸堂に所在する彫刻、書画、工芸品、古記録類ほか什物の調査を行った。すでにその成果は「特集 善通寺総合調査報告(1)(2)(3)」(『調査研究報告』第2、3、4号/香川県歴史博物館発行)はじめ、平成18年度特別展『創建1200年 空海誕生の地 善通寺』等で公表してきた。

平成1818年度より、土蔵内の数万件にのぼる古文書・古記録類の調査を開始し、その成果は『ミュージアム調査研究報告』で継続的に公表してきた。平成29年度は、古文書・古記録類の資料調査を愛媛大学・香川大学ほかの協力を得て、実施し、約440件のデータを採取。研究用データとして102件のデジタルカメラによる撮影を行った。なお、平成26年度の調査データを『ミュージアム調査研究報告 第9号』に掲載した。

○本山寺古文書等追加調査

平成25年度より開始された「本山寺五重塔の平成大修理」事業(本山寺・本山寺五重塔整備委員会)により、五重塔建立に関連する古文書、古写真、古記録等の資料が新たに確認された。これらは、平成6～10年度に国庫補助事業として香川県教育委員会(旧歴史博物館)が実施した「本山寺古文書等調査事業」において未調査であった。県立ミュージアムと香川県教育委員会事務局生涯学習・文化財課、三豊市教育委員会との間で分担し、追加調査を実施した。成果の一部を『ミュージアム調査研究報告 第9号』に掲載した。

② 収蔵資料の調査研究

収蔵資料について、学術的な意義や歴史的な位置づけ、

作家・作品の特徴などを明確にするため、より詳しい調査研究に取り組んだ。

○高松松平家博物図譜の総合調査

高松松平家に伝来する4種13帖の「博物図譜」について、自然系人文系に偏らない視点をもちつつ、各専門分野による研究を総合的にすすめ、本図譜の歴史的文化的な価値を明らかにしようとするものである。平成29年度は昨年度に引き続き、九州国立博物館の協力を得て彩色材料の科学分析調査を実施した。「衆芳画譜 花卉」「写生画帖 菜蔬」を調査対象とし、分光スペクトル分析や蛍光X線分析を実施した。

○常設展示開催にかかる調査

常設展示「松平左近一高松藩を救った英才ー」「地域の文化をまもる力」「超絶!! 江戸の生き物図鑑」「古い道具と昔のくらし」「伊勢御師が見た讃岐」「四国を繋ぐー大久保謙之丞と四国新道ー」の開催にあたり、収蔵資料等の調査に取り組み、いずれも展示解説シートにその成果を反映させた。とくに「伊勢御師が見た讃岐」展では、御祓大麻など伊勢御師関係資料について調査を実施し、その成果を『NEWS』調査研究ノートに掲載した。「四国を繋ぐ」展では大久保謙之丞関係資料のうち、謙之丞を支えた家族の写真資料について調査を進め、その成果を『NEWS』調査研究ノートに掲載した。また「アート・コレクション 20世紀の美術」においては、川島猛やジョージ・ナカシマ、ルオー、ブラックなどの作品や履歴について調査し、簡易印刷リーフレットにその成果を公表した。

○『高松松平家歴史資料目録』の刊行にかかる調査

甲冑・銃砲・馬具・指物・陣中具等の資料調査を実施し、個々の資料の基礎情報や附属品について精査、高精度の写真撮影を実施した。調査で得られた成果の一部は論稿として目録に掲載した。

③ 資料所在等の確認調査

○文化財レスキュー計画に係る資料情報の収集・確認調査

○県内外にある香川県の歴史・美術に関する資料調査
栃木県 東京都 高松市 三豊市 善通寺市
さぬき市 小豆島町 土庄町ほか

○『瀬戸内全誌』刊行事業(瀬戸内国際芸術祭事業関連事業)に係る関連調査

④ 展示に係る調査

常設展示及び特別展示の開催などに係る調査を行った。これらの調査成果によって展示を企画し、館外から資料借用をしたほか、展示図録・解説シート・パネルラベルの解説などに反映させた。

展示名	主な調査先
特別展「讃岐びと、時代を動かす」	白峯寺（坂出市）、妙音寺（三豊市）、前田育徳会尊経閣文庫、東京国立博物館、国立公文書館（東京都）、京都府立京都学・歴史館（京都府）、奈良文化財研究所（奈良県）ほか
常設展「地域の文化をまもる力」	塩江町歴史資料館、六条水車（高松市）、合田邸（多度津町）、まんのう町教育委員会
常設展「伊勢御師が見た讃岐」	香川県埋蔵文化財センター、高松市埋蔵文化財センター、さぬき市教育委員会、栗島（三豊市）、三重県立総合博物館、皇學館大学（三重県）、三重県環境生活部県史編さん室、
30年度特別展「イサム・ノグチ」	個人宅（徳島県徳島市）
30年度パネル展「明治150年 与島と大川村」	高知県大川村
次々年度以降特別展	静嘉堂文庫、東京国立博物館（東京都）、東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所（神奈川県）、明治大学、森美術館（東京都）、塩尻考古館（長野県）、京都工芸繊維大学（京都府）、厳島神社（広島県）ほか

⑤レファレンス等による調査

一般的には図書館業務として知られるレファレンスサービスであるが、歴史・民俗・美術と取り扱う幅広く当館の専門性を利用者へ提供する機能としても重要である。当館利用者の多くは展示観覧者であり、展示資料や作品に関する質問が日々寄せられ、展示案内員や学芸課職員が対応したその内容は日報に記録される。また、収蔵資料などの特別利用に関する質問も多くあり、「香川県立ミュージアムの歴史、美術及び民俗に関する資料利用要綱」の規定に基づいて対応している（4 資料の収集・整理・保管事業（4）資料の特別利用）。

開催中の展示内容や展示品及び特別利用にかかわる質問のほかを、本項における「レファレンス」として取扱っている。各レファレンスの内容はメモに記録し課内での引継ぎを確実にし、迅速に回答するように努めている。レファレンスには、質問のほか、寄贈・寄託の希望、調査依頼などがあるが、レファレンスを通じて価値ある資料や資料情報の把握に至る例も少なくない。

i) レファレンス対応

レファレンスは資料の特別利用にかかわるものをのぞき、内容に応じて「質問」「寄贈・寄託希望」「調査依頼」「資料情報」「その他」の5項目に分けて記録している。平成29年度のレファレンス対応記録は88件であった。例年同様「質問」が最も多い。内容は一般的なものから専門的なものまで幅広くあるが、専門性を要する質問については各専門分野の担当者の協力を得て回答には精度を

保つようにしている。民俗にかかわる質問については分館・瀬戸内海歴史民俗資料館への照会も行うなどしている。

〈平成29年度レファレンスの内容別件数〉

項目	件数
質問	68
寄贈・希望	4
調査依頼	7
資料情報	3
その他	6

合計88件

※このうち、ホームページ「質問コーナー」を利用したレファレンス8件。

ii) 資料の寄贈・寄託の申し出に伴う調査

平成29年度には、レファレンスとして寄贈・寄託の申し出が寄せられたのは4件であった。資料（作品）の寄贈・寄託の申し入れについては「香川県立ミュージアムの歴史、芸術及び民俗に関する資料収集要綱」「同要領」に基づき、資料の概要や性格などの基本情報を踏まえて、原則は現物資料のコンディションを現地調査によって把握し、収蔵後の活用価値などを見極めて対応している。

iii) 自治体・他機関などからの依頼

このほか、以下の機関から依頼を受けて、調査または調査指導・助言などを行った。

- ・香川県教育委員会生涯学習・文化財課
- ・小豆島町教育部社会教育課
- ・土庄町教育委員会生涯学習課
- ・坂出市史編さん所
- ・綾川町教育委員会生涯学習課

⑥他機関との共同研究

i) 共同研究・分担など

○上野進・御厨義道・渋谷啓一
基盤研究(B) (一般) 研究課題名「四国遍路の学際的総合研究—地域資料によるその実態解明と国際比較—」(研究代表者 愛媛大学 寺内浩)

ii) 自治体や他機関からの委嘱など

- 西岡達哉
 - ・坂出市史編さん調査委員
- 野村美紀
 - ・坂出市史編さん調査委員
 - ・小豆島町古文書等調査委員会調査協力員
 - ・三豊市公文書等管理委員会委員
- 渋谷啓一
 - ・坂出市史編さん調査委員
- 御厨義道
 - ・坂出市史編さん調査委員

・小豆島町古文書等調査委員会調査協力員

○上野進

・坂出市史編さん調査委員

○芳地智子

・坂出市史編さん調査委員

⑦各種研修の受講

博物館事業の充実と質の向上に努めるため、以下の研修等に職員を派遣した。

5. 18 平成 29 年度香川県高等学校教育研究会美術工芸部会春季総会及び研究会(香川県立高松工芸高等学校)

矢野由貴子

7. 12~14 第 6 回全国歴史民俗系博物館協議会研究集会(九州国立博物館)

佐藤竜馬・御厨義道

7. 25~26 公開承認施設担当者会議(都道府県会館<主催:文化庁>)

御厨義道

8. 9 平成 29 年度美術・工芸部生徒実技講習会(香川県立立ミュージアム)

矢野由貴子

9. 5~6 平成 29 年度四国地区博物館協議会総会(徳島県立博物館)

西岡達哉・樋口真美・御厨義道

9. 6~8、H30. 2. 1~2 平成 29 年度ミュージアム・エデュケーター研修(東京都美術館、葛飾区郷土と天文の博物館<主催:文化庁>)

矢野由貴子

10. 26~27 美術館連絡協議会総会(よみうり大手町ホール)

瀧上華

11. 17 大名道具収蔵館研究会(仙台市博物館)

上野進・御厨義道

11. 29 平成 29 年度香川県高等学校教育研究会美術工芸部会秋季研究会(香川県立高松工芸高等学校)

矢野由貴子

11. 30 全国美術館会議第 7 回地域美術部会(徳島県立近代美術館)

一柳友子・瀧上華

12. 13~15 博物館学芸員専門講座(国立教育政策研究所<主催:文部科学省>)

上野進

30. 1. 20~21 第 4 回全国史料ネット研究交流集会(ノートルダム清心女子大学<主催:第 4 回全国史料ネット研究交流集会実行委員会(岡山史料ネット、歴史資料ネットワーク)、独立行政法人国立文化財機構>)

御厨義道

30. 2. 8~9 平成 29 年度日本博物館協会研究協議「博物館と防災」(静岡県立美術館)

藤田順也

30. 2. 23 平成 29 年度四国美術館会議(徳島県立近代美術館)

西岡達哉・矢野由貴子・一柳友子

(2) 成果物公表

①研究成果の公表

i) 『ミュージアム調査研究報告 第 9 号』の刊行
(*館外研究者)

目次

・伊勢御師にみる「家」制度と結合の力学

—白米家を事例として—

関連史料写真 (CD-ROM)

織野智子

・善通寺調査 (10)

善通寺文書調査について (9)

善通寺文書目録 (CD-ROM)

・讃岐国大内郡入野郷寛弘元年戸籍について

渋谷啓一

・本山寺五重塔の平成大修理に伴う文化財調査報告書
(第 1 報)

片桐孝浩(*)

西岡達哉

九州文化財研究所(*)

パレオ・ラボ(*)

四航コンサルタント(*)

・シンポジウム記録 地域から見る古代史の可能性

シンポジウム配布資料 (CD-ROM)

三上喜孝(*)

守田逸人(*)

松本和彦(*)

渋谷啓一

・讃岐国三野郡成立期の政治状況をめぐる試論

佐藤竜馬

・香川の作家と近・現代美術概観

田口慶太

ii) 『高松松平家歴史資料目録VI 武器・武具(甲冑・銃砲・馬具等)』の刊行

iii) 特別展記録集『CROSSPOINT』の刊行

iv) 特別展図録『讃岐びと、時代を動かす—地方豪族が見た古代世界—』の刊行

v) 論文・報告・紹介など

※以下の公表業績にかかる掲載事項は、すべて各人の申告による。

(*館外研究者)

〈学術的著述〉

○佐藤竜馬

・「<最後の戸籍>と発掘成果から見える地域社会」ほか
章解説・作品解説(特別展図録『讃岐びと、時代を動かす—地方豪族が見た古代世界—』29. 10. 14)

○織野智子

・「山城国守護代香西又六」(『高松市歴史民俗協会紀要』
29. 10. 31)

・「伊勢御師の御祓箱—粟島旧廻船」(『民具集積』19 号
29. 10. 19)

・「十五世紀細川同族連合体制の基礎的考察—奉行人飯尾氏との関連から—」(『香川史学』44 号 29. 6. 30)

○渋谷啓一

・「讃岐びと、時代を動かす」ほか章解説・作品解説(特別展図録『讃岐びと、時代を動かす—地方豪族が見た古代世界—』29. 10. 14)

○御厨義道

- ・「2016年の歴史学界—回顧と展望— 日本近世 三藩政史 (2)幕藩社会」(『史学雑誌』第126編第5号、公益財団法人史学会 29.5.20)
- ・「大名庭園の具体相—栗林荘を事例として—」(『平成29年度庭園の歴史に関する研究会「回遊式庭園と庭園文化」報告書』、奈良文化財研究所 30.3.31)
- ・「色々威腹巻具足」と「腹巻絵図」について」(『高松松平家歴史資料目録VI 武器・武具(甲冑・銃砲・馬具等)』 30.3.31)

○上野進

- ・「長尾寺の歴史」(『四国八十八ヶ所霊場第八十七番札所長尾寺調査報告書』香川県・香川県教育委員会 29.3.31)

○鹿間里奈

- ・「田中真人広虫女の素顔」ほか章解説・作品解説(特別展図録『讃岐びと、時代を動かす—地方豪族が見た古代世界—』 29.10.14)

○瀧上華

- ・「イサム・ノグチの彫刻と身体について—マーサ・グラハム『ヘロディアド』の鏡を巡る—考察」ほか第1章解説、作品解説7点(特別展図録『20世紀の総合芸術家 イサム・ノグチ—彫刻から身体・庭へ—』 29.11.17)

○松村祥志

- ・「史料紹介「阿讃境目末世鑑」「乍恐奉願上口上」—寛永十七年の阿讃国境争論と箭田氏—」(『香川史学』44号 29.6.30)

〈普及的著述(館内)〉

○野村美紀

- ・「調査研究ノート vol.25 明治10年 家族の肖像—大久保謙之丞関係資料から—」NEWS 第40号
- ・「四国を繋ぐ—大久保謙之丞と四国新道—」常設展示解説シート94

○織野智子

- ・「調査研究ノート vol.24 「御祓い箱」と「お払い箱」」NEWS 第38号
- ・「伊勢御師が見た讃岐」常設展示解説シート91

○御厨義道

- ・「ミュージアムガイドダンス 34 収蔵品調査から見えること —「古い道具と昔の暮らし」展の調査から—」NEWS 第38号
- ・「古い道具と昔の暮らし」常設展示解説シート89
- ・「ミュージアムガイドダンス 35 写真撮影—ミュージアム所蔵資料写真の撮影と活用—」NEWS 第40号

○上野進

- ・「ミュージアムガイドダンス 33 博物図譜の解明に向け

て—博物図譜総合調査—」NEWS 第37号

- ・「超絶!!江戸の生き物図鑑」常設展示解説シート87
- ・「屏風絵の世界を読み解く」常設展示解説シート95
- 高木敬子
- ・「地域の文化をまもる力—文化遺産継承活動—」常設展示解説シート86
- 矢野由貴子
- ・「香川の風景—自由な見方で旅しよう—」常設展示解説シート90

○一柳友子

- ・「銀壽社とその時代」常設展示解説シート88

○鹿間里奈

- ・「描かれた人々—福岡青嵐の写生画から—」常設展示解説シート93

○瀧上華

- ・「—On the Table—静物画の世界」常設展示解説シート92

〈普及的著述(館外)〉

以下、香川経済研究所『調査月報』は『調査月報』、『産経新聞』ミュージアムカフェは『産経MC』、『四国新聞』掲載の特別展作品紹介は『四国』作品紹介、『朝日新聞』掲載第64回日本伝統工芸展作品解説は『伝統解説』と略す。

○田口慶太

- ・「得丸成人「HANDS」」(『四国』作品紹介 29.5.25付)
- ・「菟鷲県章と吉祥文大紋」(『伝統解説』(1) 30.1.4付)

○野村美紀

- ・「高松松平家の雛飾り」(『調査月報』372号 30.3.1)
- ・「瀬戸大橋を最初に提唱した男」(『産経MC』30.3.9付)

○織野智子

- ・「御影参図」(『調査月報』369号 29.12.1)
- ・「伊勢御師と「おはらい箱」」(『産経MC』29.12.8付)

○橋本武生

- ・「変化しながら82回続く県展」(『産経MC』29.6.16付)
- ・「県ミュです。」(『美術教室』香川県中学校教育研究会・香川県中学校美術教育研究会 30.1.31)
- ・「さぬき青瓷緋色鉢」(『伝統解説』(6) 30.1.15付)

○谷川洋朗

- ・「有線七宝合子「日映り」」(『伝統解説』(7) 30.1.18付)

○渋谷啓一

- ・「「古代の香川 つぶさに」(『四国新聞』「古からのメッセージ」「讃岐びと、時代を動かす」展(1) 29.8.10付)
- ・「猫坂古墓」(『四国新聞』「古からのメッセージ」「讃岐びと、時代を動かす」展(5) 29.9.7付)
- ・「瑜伽師地論」(『四国』作品紹介 29.10.12付)
- ・「和名類聚抄」(『調査月報』367号 29.10.1)
- ・「時代を動かした「讃岐びと」」(『産経MC』29.11.17)

○御厨義道

- 「腹巻絵図」(『調査月報』362号 29.5.1)
- 長井博志
- ・「香川県立ミュージアム秋の特別展「讃岐びと、時代を動かす—地方豪族が見た古代世界」」(『香川県文化財協会報』第196号 29.8.1)
 - ・「妙音寺出土軒丸瓦」(『調査月報』368号 29.11.1)
- 上野進
- ・「衆禽画譜」(『調査月報』365号 29.8.1)
 - ・「超絶技法の博物図譜」(『産経MC』29.8.18付)
- 高木敬子
- 「地域の文化をまもる力」(『産経MC』29.6.9付)
- 矢野由貴子
- ・「カミイケタクヤ「震海」」(『四国』作品紹介 29.4.27付)
 - ・「一夜限りの映像と音のイベント」(『産経MC』29.6.2付)
 - ・「香川の風景を旅する」(『産経MC』29.12.1付)
 - ・「伊予絁着物「菖蒲」」(『伝統解説』(9) 30.1.20付)
- 一柳友子
- ・「川島猛 <N.Y. Be 15 Red><N.Y. Be 15 Black>」(『調査月報』363号 29.6.1)
 - ・「香川でつながる東京の「銀壽社」」(『産経MC』29.9.1付)
 - ・「追求する画家ルオー」(『産経MC』29.9.8付)
 - ・「入道雲蒔色紙箱」(『伝統解説』(3) 30.1.9付)
 - ・「籃胎蒔色箱「川霧」」(『伝統解説』(5) 30.1.11付)
- 鹿間里奈
- ・「田中真人広虫女」(『四国新聞』「古からのメッセージ」「讃岐びと、時代を動かす」展(6) 29.9.14付)
 - ・「讃岐永直」(『四国』作品紹介 29.10.26付)
 - ・「櫛造鉢」(『伝統解説』(4) 30.1.10付)
 - ・「周漆箱「耀」」(『伝統解説』(8) 30.1.19付)
 - ・「描かれた人々—福岡青嵐の写生画」(『調査月報』371号 30.2.1)
 - ・「青嵐の写生画に“描かれた人々”」(『産経MC』30.2.23付)
- 瀧上華
- ・依田洋一朗「Living Too Long With A Single Dream (The Great Gatsby)」(『四国』作品紹介 29.5.11付)
 - ・「「クロスポイント」の刺激」(『産経MC』29.5.26付)
 - ・「アートコレクション 20世紀の美術Ⅲ」(『産経MC』29.11.24付)
 - ・「籃胎蒔色存清色紙箱「銀葉アカシヤ」」(『伝統解説』(2) 30.1.6付)
 - ・「机上の静物画の世界」(『産経MC』30.3.2付)
 - ・「香川に息づくイサム・ノグチ」(『産経MC』30.3.16付)

〈口頭発表〉

- 織野智子
- ・「伊勢御師と御祓大麻」(香川民俗学会平成29年度総会 30.3.17)
- 御厨義道
- ・「高松藩士刃傷事件について」(香川歴史学会大会・総会 29.7.29)
 - ・「大名庭園の具体相—栗林荘を事例として—」平成29年度庭園の歴史に関する研究会 回遊式庭園と庭園文化、(奈良文化財研究所 29.7.29)
 - ・「高松藩の藩校—講堂と講道館—」大洲藩主加藤家・中江藤樹大洲入り400年顕彰シンポジウム 29.12.3)
- 上野進
- ・「高野山正智院聖教にみえる中世寺院をめぐって—讃岐国の談議所を中心に—」(四国中世史研究会 29.8.19 西条市立西條図書館)
- 矢野由貴子
- ・「クロスポイント展について」(平成29年度四国美術館会議 30.2.23 徳島県立近代美術館)

〈ポスターセッション〉

- 御厨義道
- ・「香川県における地域に残る歴史的な資料等の保全活動」(第4回全国史料ネット研究交流会 ノートルダム清心女子大学 30.1.20~21)

②刊行物

- 香川県立ミュージアム展覧会スケジュール
平成29年度に開催する展示情報を掲載。館内で配布するほか、県内の博物館・資料館、文化・教育施設や、全国の関係機関に配布した。
・2017.4~2018.3(平成29年4月~30年3月)
A2変形判屏風折 カラー刷 50,000部
- 常設展示解説シート 各3,000部
平成29年度に開催の常設展示に関する内容を紹介した解説シートを展示ごとに印刷、発行した。
規格はA3判・2ツ折、カラー刷・モノクロ刷(展示タイトル、内容についてはⅡ-1(2)常設展示の項参照)
- 特別展解説シート・パンフレット等
 - ・「第82回香川県美術展覧会」目録
A4判カラー 20ページ 13,000部
 - ・「第64回日本伝統工芸展」パンフレット
A4判カラー 8ページ 7,000部
- 図録等(展覧会・その他)
 - ・特別展「クロスポイント/交差する視線 20の表現」[記録集]
変形判・カラー・モノクロ 48ページ 800冊
平成29年7月21日発行

- ・特別展「讃岐びと、時代を動かす—地方豪族が見た古代世界—」

A4判カラー・モノクロ 128 ページ 1200 冊
平成 29 年 10 月 14 日発行

- ・「高松松平家歴史資料目録VI」

A4 変形判カラー・モノクロ 72 ページ 800 冊
平成 30 年 3 月 31 日発行（再掲）

- v) 香川県立ミュージアム NEWS

A4判カラー 8 ページ

- ・第 37 号(夏号)平成 29 年 6 月 15 日発行 5,000 部
- ・第 38 号(秋号)平成 29 年 8 月 24 日発行 6,000 部
- ・第 39 号(冬号)平成 29 年 11 月 18 日発行 6,000 部
- ・第 40 号(春号)平成 30 年 3 月 14 日発行 6,000 部

- vi) ミュージアム調査研究報告 第 9 号

A4判 150 ページ・CD-ROM 付 650 冊
平成 30 年 3 月 31 日発行（再掲）

- vii) 収蔵資料目録 10

A4判 50 ページ・CD-ROM 付 550 冊
平成 30 年 3 月 30 日発行

- viii) 香川県立ミュージアム年報 第 9 号

A4判 66 ページ 650 冊
平成 29 年 7 月 15 日発行

4 資料の収集・整理・保管事業

香川県の歴史および文化、芸術を理解するうえで必要な資料を収集し、体系的に整理し、保存のために必要な処置を行い、最適な条件で保管することは博物館の最も基本的な機能である。

当館では「香川県立ミュージアムの歴史、美術及び民俗に関する資料収集要綱」に基づき、歴史、芸術及び民俗に関する実物のほか、標本・模写・文献・図表・写真・フィルム・レコード等多岐にわたり、購入・寄贈・寄託等の方法で資料を収集している。寄贈や寄託の申し入れがあった資料については、調査に向いて、資料を預かり、調査・整理作業の結果、収蔵すべきであると判断されたものについて手続きを行う。受け入れ後は殺虫処理をし、引き続き詳しい調査研究・整理を行って資料目録を作成し、順次、館蔵品データ検索システムに登録、また『収蔵資料目録』に掲載し、県内外の関係機関に配布し、展示をはじめ、館外からの特別利用に応じる等、収蔵資料の公開活用を行っている。

資料収集状況（平成 30 年 3 月末現在）

	平成 28 年度 末まで	平成 29 年度 手続分	合計
購入	22,221	2	22,223
寄贈	201,997	330	202,327
寄託	41,108	△263	40,845
移管・ その他	40,659	0	40,659
合計	305,985	69	306,054

(1) 資料収集

① 購入資料

計 2 件 2 点

高松松平家譜

1 件 1 点

高松藩関係写本（牧野謙二郎旧蔵資料）

1 件 1 点

② 寄贈資料

計 293 件 330 点

瀬川酒店資料(2)

2 件 3 点

綾歌郡南部の記録

130 件 155 点

竹林栄一資料

1 件 1 点

敵討女浪人』

1 件 1 点

奈良一美資料

103 件 105 点

平尾英雄資料

4 件 4 点

神谷宏治資料

1 件 1 点

志賀敏男コレクション資料

15 件 17 点

武田久作品

9 件 16 点

西村記人作品

17 件 17 点

丸尾寛資料

6 件 6 点

池田典代資料

2 件 2 点

鈴木清一資料	1件1点
片木末夫資料	1件1点
※掲載の順序は、手続き順による	

③寄託資料	計 △236件 263点
綾歌郡南部の記録	△130件 155点
奈良一美資料	△103件 105点
平尾英雄資料	△4件 4点
高松松平家歴史資料	1件1点
※掲載の順序は、手続き順による	

△は減少を表している

④文献資料の収集

文献資料は、調査研究をはじめ展示や学習支援事業をより豊かなものにするために必要不可欠なものである。事典、辞書、香川県に関する地方史誌、史料集、芸術・美術に関する書籍などを中心に収集している。また、最新の研究動向の情報を収集するため、学術雑誌を逐次購入している。全国の博物館や美術館、研究機関が刊行する図録、紀要、事業報告、広報誌も交換、恵により収集を続けている。

- ・逐次刊行物など受付冊数 1,915冊
- ・購入雑誌

月刊文化財、季刊考古学、日本歴史、日本史研究、古文書研究、歴史評論、歴史学研究、史学雑誌、國華、ミューゼ、芸術新潮、美術手帖、MUSEUM、文化財発掘出土情報、木簡研究、美術大鑑

(2) 資料整理保管活動

① 収蔵資料管理システム

平成26年度に早稲田システム開発(株)の「I.B. MUSEUM SaaS」を導入し運用することで、収蔵品についての情報の一元管理をしている。これにより、職員各自に配備されたPCによる操作が可能となり、データの入力・整備や収蔵品の検索などに利用されている。

【データベースの内容】

- ・収蔵資料の管理
収蔵資料について、名称・年代・法量・資料内容・画像から、収蔵場所・所蔵、時系列で記録される展示・貸出・修理などの履歴など、その資料・作品に係るほとんど一切の情報を一元的に登録している。資料・作品の管理のみならず展示準備等でも利用される。
- ・図書、視聴覚資料、アルバムの管理
資料・作品だけでなく、館蔵の図書データ入力も進めている。他にもビデオ、フィルムなどの視聴覚資料、写真アルバムの管理も可能であり、順次進めていく予定である。

- ・一般公開のデータについて
収蔵資料のデータベースは、インターネット公開機能を利用し、館のHPにリンクを貼ることで公開している。検索はキーワードのほか、歴史資料では資料群、美術作品では作家ごとの一覧から選択することもでき、資料の基本情報(名称、数量、時代、寸法、概説、画像等)を閲覧することができる。データの公開は画像・解説文等公開のための条件を満たした資料・作品について、漸次進めている。

② 虫菌害対策

i) 資料等の殺虫・殺菌処理

収集した資料や借用した資料は、必要がある場合、一時保管庫に搬入、仮収蔵し、適期に殺虫・殺菌した後、収蔵庫へ搬入、また展示等に活用している。

本年度は、二酸化炭素による殺虫処理を1回(平成30年1月5日(金)~1月20日(土))、業者委託により実施した。なお、小規模な二酸化炭素殺虫処理は、職員により実施した。

また、室内の虫害対策として、ピレスロイド系殺虫剤ブングアノンによる殺虫処理を、特別展示室において平成29年9月20日(水)に実施した。

ii) モニタリング

展示室、収蔵庫等、館内数ヶ所に粘着トラップ等を設置し、定期的に観察して館内における生物発生状況を調査している。

また、収蔵庫・展示室を中心とした館内各所について、年間3回(7月、10月、平成30年1月)虫・カビの調査、年間7回(5月、6月、8月、9月、11月、12月、平成30年2月)虫の調査を、専門業者に委託して行い、その結果をもとに、環境改善のため清掃、搬入口シャッター閉塞工事等を実施した。

(3) 館外特別利用状況

①貸出利用一覧

番号	資料名	点数	利用者	目的	貸出期間
1	秋野不矩「ココナツを持つ女」	1	香川県立東山魁夷せとうち美術館	特別展「秋野不矩と東山魁夷—情熱と静寂、二人の路—」	4.12(水)～5.28(日)
2	新版大字 四国へんろ道しるべ	1	「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会	ガリシア州立巡礼史博物館(スペイン)「四国遍路展 ～世界遺産登録を目指して～」	7.10(月)～9.29(金)
	奉納四国八拾八箇所納経帳	1			
3	伝讃岐国出土銅鐸レプリカ	1	香川県埋蔵文化財センター	夏休み子どもミュージアム展示「むかしのひとの米づくり」	7.11(火)～10.4(水)
4	今村俊夫「石膏像のある静物」	1	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	特別展「猪熊弦一郎展 戦時下の画業」	9.2(土)～12.17(日)
	今西中通「高松市空襲跡」	1			
5	国宝 藤原佐理筆詩巻紙	1	京都国立博物館	京都国立博物館開館120周年記念特別展覧会「国宝」	9.14(木)～12.15(金)
6	廣島晃甫「花朝頌意」	1	徳島県立近代美術館	特別展「廣島晃甫回顧展—近代日本画のもう一つの可能性—」	9.25(月)～12.26(火)
7	ジョエラ・レヴィの肖像 Portrait of Joella Levy	1	大分県立美術館	特別展「20世紀の総合芸術家 イサム・ノグチ—彫刻から身体・庭へ—」	11.1(水)～H30.1.31(水)
	ジョン・オールデン・カーペンターの肖像 Portrait of John Alden Carpenter	1			
	こいびと Couple in love	1			
	ミラー Mirror	1			
	無窓国師の教え Lessons of Muso Kokushi	1			
	アーケイック A r c h a i c	1			
	クメール Khmer	1			
	道化師のような高麗人参 Korean Carrot as Clown	1			
	リス S q u i r r e l	1			
	リトルスレート Little Slate	1			
	形だけで作る遊園地のための鋳型 contoured playground	1			
	この責め苦しめられた地球 This tortured earth	1			
	国連本部のためのプレイグラウンド United Nations Playground	1			
	AKARI 10A	1			
	AKARI 14A	1			
	AKARI 1AG	1			
	AKARI 7OFF	1			
	AKARI 2N	1			
	AKARI 23N	1			
AKARI 25N	1				
AKARI 27N	1				
AKARI 31N	1				
AKARI 35N	1				
AKARI 2P	1				

	AKARI 3X	1			
	AKARI L2	1			
	AKARI S1	1			
	AKARI YA1	1			
	ラジオ・ナース Radio Nurse	1			
8	菅家文草 卷第三	1	香川県埋蔵文化財センター	テーマ展「讃岐国府跡を探る 9」	12.20 (水) ~ H30.2.2 (金)
9	香川県指定有形文化財 衆禽画譜 (高松松平家歴史資料)	2	高松市歴史資料館	第74回企画展「花鳥画の系譜 東溪と南蘋派」	1.23 (火) ~3.30 (金)
	沈南蘋「松鹿図」 (高松松平家歴史資料)	1			
	亀井東溪「鶴図 (松鶴図)」	1			
	亀井東溪「梅喜鶴図」	1			
	東溪画譜	3			
	森狙仙画・柴野栗山賛「猿図」	1			
10	猪熊弦一郎「月と猫たち」	1	株式会社 東急文化村	Bunkamura ザ・ミュージアム「猪熊弦一郎展 猫たち」	3.15 (水) ~4.23 (日)
	猪熊弦一郎「人と猫I」	1			
11	香川県庁舎マガジンラック付きベンチ	1	森美術館	六本木ヒルズ・森美術館15周年記念展「建築の日本展:その遺伝子のもたらすもの」	3.29 (木) ~10.31 (水)
	香川県庁舎間仕切り棚	1			
	香川県庁舎クローク荷物置き	2			
	香川県庁舎陶製椅子	5			
	香川県立体育館木製丸椅子	1			
	香川県文化会館椅子	3			
	五色台少年自然センター 椅子	12			
	ホンマタカシによる香川県庁撮影写真 (パネル)	4			
香川県庁 全体模型 1:100	1				

②閲覧利用一覧

番号	資料名	利用者	目的
1	太刀 銘 真守造 (高松松平家歴史資料) 1件1点	公益財団法人日本美術刀剣保存協会	月刊誌『刀剣美術』へ掲載する押形採取のため
2	御用日記 天保3年 (讃岐国阿野郡北青海村渡邊家文書) 等6件6点	坂出市史編さん所	坂出市史通史編さんに関する調査
3	赤壁賦、八幡山詩歌巻 (高松松平家歴史資料) 2件2点	八幡市立松花堂美術館	松花堂昭乗の書についての作品調査
4	富士山図 (個人蔵) 1件1点	高松市歴史資料館	亀井東溪展のための作品調査
5	彫漆溪の秋手箱 (旧文化会館蔵美術作品・資料) 等34件34点	高松市美術館	音丸耕堂展出品作品調査のため
6	諸願同届留 (大川郡引田町山口鶴齢堂文書) 等10件10点	個人	『引田の食文化—近世後期から近代における仏事儀礼と供応食の構造』 (仮題) 執筆のための史料調査
7	玦状耳飾 (金毘羅山遺跡出土) 1件1点	愛媛県歴史文化博物館	四国地方における玦状耳飾の調査研究のため

8	紅花緑葉 御鞍 (高松松平家歴史資料) 等 3 件 3 点	(株) 淡交社 東京支社	月刊誌『なごみ』2017 年 10 月号特集「香川漆芸の彩 (仮題) 内」 「香川漆芸の歩み、玉楮象谷の歩み (仮題) 」での取材のため
9	香川県指定有形文化財 高松城下図屏風 (高松松平家歴史資料) 1 件 1 点	高松市	高松城下図屏風の複製陶板製作に係る色調確認のため
10	西谷藤兵衛像・西谷藤兵衛夫人像 (多聞院資料) 2 件 2 点	香川県教育委員会 事務局生涯学習・文化財課	香川県指定有形文化財の指定に係る諮問のため
11	御用日記 天保 6 年 (讃岐国阿野郡北青海村渡邊家文書) 1 件 1 点	個人	坂出地域における農政等に関する調査のため
12	消暑漫筆 (高松松平家歴史資料) 6 件 6 点	個人	小神野与兵衛「盛衰記」と中村十竹「消暑漫筆」の記述内容の比較
13	丸亀御領分絵図 (平成 9 年度購入資料) 等 3 件 3 点	個人	讃岐国における正保期前後の領主別村高の研究、具体的には高松藩領 (寛永 19 年) と丸亀領 (万治 3 年) の郡別の村高の調査・研究
14	松鹿図 (高松松平家歴史資料) 等 3 件 3 点	高松市歴史資料館	亀井東溪展のための作品調査
15	丸亀郷校規則写 (佐伯家文書) 1 件 1 点	個人	博士論文 (明治初期の小学校英語教育) 執筆のため
16	菓子型 (藤井洋一資料) 等 76 件 78 点	個人	香川地域の歴史に関する研究のため
17	観光高松大博覧会 ポスター (漆原家文書) 1 件 1 点	個人	修士研究のため (テーマ『地方博覧会が戦後の都市復興に与えた影響』)
18	鴨大明神宝前長日御祈禱定文 (覚城院資料) 等 25 件 25 点	四国中世史研究会	中世讃岐の歴史研究のため
19	吉田博「牛」 (高松松平家歴史資料) 等 2 件 2 点	香川県立東山魁夷 せとうち美術館	特別展に係る事前調査のため
20	「合田求吾」のうち『孝子新蔵物語』 (高橋厚資料) 等 5 件 7 点	個人	江戸時代における医学調査のため
21	讃岐琴平 名所絵葉書 (平成 7 年度購入資料) 等 3 件 3 点	まんのう町教育委員会	満濃池名勝地調査のため (満濃池の近世から近代の名勝地としての変遷を把握するため)
22	火縄銃附属資料 (高松松平家歴史資料) 等 6 件 61 点	個人	17 世紀初頭の火器、とくに火縄銃の付属品の調査研究 (科研費による研究)
23	増咩書状 (覚城院資料) 等 2 件 2 点	個人	寺内所蔵の増咩書状との比較検討のため
24	紅花緑葉饌盒 (高松松平家歴史資料) 等 4 件 4 点	個人	学会発表・論文執筆のため
25	消暑漫筆 (高松松平家歴史資料) 6 件 6 点	個人	高松藩主松平頼重 (英公) ・同頼常 (節公) の逸事の調査のため

③画像利用一覧

番号	資料名	利用者	目的	
1	弘法大師像 (善通寺御影)	個人	『西行学』8 号 (笠間書院) 掲載論文	出版
2	眞子實也「モニュメント「あえぐ」、窪田恒「歴史の中の証人」	個人	『Hard Bodies: Contemporary Japanese Lacquer Sculpture』	出版
3	香川県指定有形文化財 高松城下図屏風	株式会社 洋泉社	『歴史 REAL 厳選 城下町の秘密』(仮)	出版
4	披雲閣落成記念写真、松平頼寿、小品盆栽道具類「掛軸、卷子、盆石」、双龍図、摂政宮殿下御来県記念帖、国宝 藤原佐理筆詩懐紙、香川県指定有形文化財 衆鱗図 第一帖 (表 1 鯛社)、同第三帖 (表 39 春毎月)、香川県指定有形文化財 衆禽画譜 野鳥 (表 2 ウヅラ、表 10 フンテウ)、香川県指定有形文化財 衆芳画譜 花卉	高松市	高松市ナイト観光イベント事業「披雲閣築 100 周年 たかまつ浪漫ナイト」 スライド資料	掲出

	第四 (表 17 ヤマトナテシコ)			
5	大東亜共栄圏めぐり双六	株式会社 山川出版社	『もういちど読む山川世界史』改訂版	出版
6	還家至宝 (上原和範資料)	個人	『文芸もず』	出版
7	郡号改正之書付、讃岐国高松領拾貳万石郷帳、讃岐国高松領小物成帳、領地目録 寛文四年	個人	『郡号改正之書付]-阿野郡の名をめぐって-』 (『坂出市史研究 第4号』)	出版
8	太刀 銘 真守造 (押形採取成果物)	公益財団法人 日本美術刀剣保存協会	月刊誌『刀剣美術』「名刀鑑賞」	出版
9	弘法大師像 (善通寺御影)	株式会社 テレビ朝日	テレビ朝日「くりいむクイズ ミラクル9」	放映
10	底樋伏替櫓堅通組立之図 (満濃池関係文書)、満濃池御普請所絵図 (平尾英雄資料)	満濃池土地改良区	満濃池土地改良区 区報	出版
11	山下義人 蒔醬色紙箱「遙か」	株式会社エムオー エー商事 出版部	季刊『楽園』68 (2017 夏) 号	出版
12	大崎山狼煙場之図、鶴足郡御供所浦萬代之岬 (讃岐国阿野郡北青海村渡邊家文書)	坂出市史編さん所	『坂出市史 資料補遺考古篇』	出版
13	重要文化財 太刀 銘 真守造、香川県指定有形民俗文化財 高松藩飛龍丸船明細切絵図 惣図、香川県指定有形民俗文化財 高松藩飛龍丸船明細切絵図 艫真向・御屋形之図 (部分)	株式会社 天夢人	『週刊 ビジュアル 江戸三百藩 89号』	出版
14	横山清暉「海旭群鶴図」	高松市文化協会	『文化たかまつ69号』	出版
15	香川県指定有形文化財 衆鱗図 第3帖 (表20 鎧蟹)	個人	『地域創造学研究』第33号 (『奈良県立大学研究季報』第27巻第3号) に掲載した論文をホームページにて公開	WEB
16	玉楮象谷「堆朱鼓箱」	香川県教育委員会	小学校道徳 香川県地域教材『新ふるさとの心 小学校高学年』	出版
17	江戸大絵図 (高松松平家歴史資料)	東京都板橋区教育委員会事務局生涯学習課	東京都板橋区教育委員会発行 調査報告書『板橋宿の歴史と史料』	出版
18	満濃杵搗之図、満濃人足改之図 (平尾英雄資料)	香川県土地改良事業団体連合会	香川県土地改良事業団体連合会発行機関誌『香川の土地改良』	出版
19	香川県指定有形文化財 高松城下図屏風、高松城下屋敷割図	高松市教育委員会	『ふるさと探訪 水任流の史跡めぐりと泳法見学』	出版
20	四国古図 ((公財) 鎌田共済会郷土博物館所蔵)	愛媛県歴史文化博物館	特別展「高虎と嘉明」における写真画像展示、及び広報物 (ポスター、チラシ、ホームページ等) や図録	掲出・出版
21	平賀源内肖像 (『平賀源内全集』より、高松松平家歴史資料)	公益財団法人山陽放送学術文化財団	シンポジウム「岡山蘭学の群像IX 江戸のエレキテル・マン 平賀源内」チラシ	出版
22	水戸御祭礼図 (高松松平家歴史資料)	鳥取県教育委員会事務局	『因幡の麒麟獅子舞』調査報告書および添付DVD (本文のPDF形式)	出版

23	弘法大師像（善通寺御影）	公益社団法人香川県観光協会	「農泊 食文化海外発信地域」の応募に関する資料	掲出
24	象頭山金毘羅大権現全図	株式会社クオーレ	『地図でめぐる神社とお寺』改訂版	出版
25	屋島合戦画帖	NHK 制作局 企画・開発推進部	NHK「人名探究バラエティー 日本人のおなまえっ！」	放映
26	紙芝居の舞台（秦隆昌資料）	一般社団法人香川県進路指導研究部	平成29年度3年3回学習の診断 社会問題	出版
27	東帯天神像	日本放送協会高松放送局	ブラタモリ「#59 さぬきうどん」（再放送）	放映
28	象頭山全図	三豊市高瀬町公民館	三豊市高瀬町公民館講座「高瀬発！再見、歴史教室」の配布資料	掲出
29	丸亀ヨリ金毘羅善通寺弥谷寺道法案内記	株式会社トスプランニング	NHKS プレミアム「霊場伝説」	放映
30	重要美術品 玉楮象谷「一角印籠」、香川県指定有形文化財 高松城下図屏風（部分）	株式会社淡交社 東京支社	月刊誌『なごみ』2017年10月号特集「香川漆芸の彩」	出版
31	「山口〇〇本宅平面図」（大川郡引田町山口鶴齢堂文書）	個人	『近世末期から近代における町の仏事儀礼と供応食の展開－東讃岐引田村の仏事史料の検証から－』	出版
32	香川県指定有形文化財 衆鱗図 第一帖 鯛（牡）	株式会社日経サイエンス	『日経サイエンス』2017年10月号	出版
33	廣島晃甫「花朝頌意」	徳島県立近代美術館	特別展「廣島晃甫回顧展－近代日本画のもう一つの可能性」の展覧会図録	出版
34	江戸大絵図（高松松平家歴史資料）	豊島区立郷土資料館	常設展示パネル「江戸周縁の村」	掲出
35	弘法大師像（善通寺御影）、四国遍路道指南増補大成	「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会	「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会啓発用パンフレット（日本語・英語版）	出版
36	四国偏礼図	個人	「聖なる島・四国と人々の邂逅」（西村幸夫他編『四国遍路を世界遺産に』ブックエンド）	出版
37	屋島合戦画帖	NHK 制作局 企画・開発推進部	NHK「人名探究バラエティー 日本人のおなまえっ！」	放映
38	赤染茶碗銘木守（高松松平家歴史資料）	香川県広聴広報課	県外向け情報誌『新・さぬき野』（No. 58）秋号	出版
39	奉納経四国記 安政三年五月（讃岐国山田郡三谷村漆原家文書）、納経帳 森満津 慶応四年三月（讃岐国三野郡箱浦勝間屋森家文書）	個人	『善通寺教学振興会紀要 第23号』	出版
40	玉楮象谷「堆朱鼓箱」	香川県教育委員会	小学校道徳 香川県地域教材『新ふるさとの心 小学校高学年』	出版
41	玉楮象谷「彩色蒔鬘御料紙硯匣」、同「紅花緑葉御鞍」、同「堆黒松ヶ浦香合」	株式会社淡交社 東京支社	月刊誌『なごみ』2017年10月号特集「香川漆芸の彩」	出版
42	玉楮象谷「一角印籠」、同「堆黒松ヶ浦香合」、同「堆朱鼓箱」	香川県文化振興課	「セルジオ・ロッシ×香川漆芸のタイアップ特集記事」『家庭画報』11月号	出版
43	弘法大師像（善通寺御影）	株式会社 ランプル・ビー	テレビ東京「やりすぎ都市伝説」	放映
44	乾漆聖観音坐像 レプリカ	個人	正倉院フォーラムの講演（スクリーン投影）	掲出
45	弘法大師像（善通寺御影）	株式会社 テレビ東京	テレビ東京「やりすぎ都市伝説」	放映
46	国宝 藤原佐理筆詩懐紙	公益財団法人日本習字教育財団	書道通信教育テキスト『教育書道日本習字漢字部2月号』	出版

47	源平合戦図屏風 (守峰筆 屋島壇ノ浦図)	株式会社エヌ・アンド・エス企画	「見て読んでよくわかる！ 日本語の歴史」第2巻『鎌倉時代から江戸時代 武士の言葉から庶民の言葉へ』	出版
48	御軍船鳳凰丸図 (石川泰旦氏蔵)	株式会社吉川弘文館	『幕末の将軍と海軍の誕生』	出版
49	紙本墨書清拙正澄墨蹟平心字号	愛知県総務部法務文書課県史編さん室	『愛知県史 通史編3 中世2・織豊』	出版
50	源平合戦図屏風 (藤戸図)	日本経済新聞社東京本社	日本経済新聞朝刊および電子版文化面「能の女性 十選」(筆者小林健二氏)	出版
51	弘法大師像 (善通寺御影)	株式会社ファミリーマガジン	『日本史 パノラマ大地図帳』	出版
52	ナウマンゾウ牙、ナウマン象臼歯化石	一般社団法人香川県進路指導研究部	平成29年度 1年学習の診断 社会問題	出版
53	景観復元図 (野原、15～16世紀)	高松市歴史資料館	高松市歴史資料館 平成29年度収蔵品展「戦国時代の高松—西の香西と東の十河—」におけるパネル展示	掲出
54	香川県指定有形文化財 衆鱗図 第一帖 (表1 鯛 (牡))、衆鱗図 第二帖 (裏10 とびうを)、衆鱗図 第三帖 (表11 鯉)、衆鱗図 第四帖 (表20 ハリセンボン)	株式会社 SCR コミュニケーションズ	常石造船株式会社 100周年記念書籍『海庭浪漫』	出版
55	長州征伐行列図 (部分)	高梁市歴史美術館	大政奉還 150年記念特別展「幕末の備中松山藩とそれを支えた人々」参考写真 展示	掲出
56	香川県指定有形文化財 衆芳画譜 花卉 第四 (キアサミ、アサミ、大アオ井)	株式会社誠文堂新光社	高階秀爾「絵画における博物画の位置」『BIOSTORY』28号 特集「人はなぜ生き物の絵を描いてきたのか」	出版
57	弘法大師像 (善通寺御影)	徳島県教育委員会教育文化課	「四国遍路展～遍路の見た風景 in 徳島～」におけるパネル	掲出
58	朱舜水像	個人	「朱舜水の肖像画をめぐる」『黄檗文華』137号	出版
59	松鹿図 (高松松平家歴史資料)、衆禽画譜 水禽 (ヲシトリ・ヲシトリ)、衆禽画譜 野鳥 (ウヅラ・ホアカ・クロジ・イワツグミ、ハハテウ・キウクハン)、猿図 (覆盆子ニ猿図)、東溪画譜、亀井東溪筆鶴図、梅喜鶴図	高松市歴史資料館	高松市歴史資料館 第74回企画展「亀井東溪と南蕨派～華麗なる動植物の世界～」図録・チラシ	出版
60	水門つくり人足表 (讃岐国阿野郡北青海村渡邊家文書)	坂出市史編さん所	文化史さかいでシリーズIV『さかいでの村と島』	出版
61	香川県指定有形文化財 高松城下図屏風 (部分)	株式会社童夢	『日本の城事典』第2巻	出版
62	弘法大師像 (善通寺御影)	徳島県政策創造部総合政策課広域連携室	「四国遍路文化発信のための多言語パンフレット」	出版
63	四国偏礼絵図 全	個人	「ユネスコ精神と世界遺産」(平泉・鎌倉・四国遍路)	出版
64	赤間関ヨリ大坂マデ海上荒増之図	NHK制作局 第1制作センター (文化・福祉)	NHK「ザ・プレミアム よみがえる江戸城」	放映

65	根香寺不動明王像（全体：正、斜、左右側、背面、像底、頭部正側斜面）、根香寺四明王像（各全体正面）	個人	『日本彫刻史基礎資料集成 鎌倉時代 造像銘記篇 14』	出版
66	猪熊弦一郎「自由」	小学館出版局文化事業室	『猪熊弦一郎のおもちゃ箱』	出版
67	弘法大師像（善通寺御影）	個人	「ワンダーキッズペディア 27号」電子版（小学館発行）	WEB
68	田中岑「しずかなるもの」	四国新聞四国会	2018 四国新聞オリジナルカレンダー	出版
69	玉椿象谷「一角印籠」、同「堆黒松ケ浦香合」、同「彩色蒔醬御料紙硯匣」	一般社団法人農山漁村文化協会	『生活工芸双書 漆1』（仮題）	出版
70	源平合戦図屏風（守峰筆）	株式会社ディ・コンプレックス	フジテレビ特番『ゲキタイレンジャー』（仮）	放映
71	屋島合戦画帖（高松松平家歴史資料）	株式会社集英社インターナショナル	『日本人のおなまえっ！』2	出版
72	香川県指定有形文化財 高松城下図屏風	高松市上下水道事業管理者	高松市水道資料館 歴史館内展示パネル	掲出
73	弘法大師像（善通寺御影）、大野原古図（部分）	観音寺市教育委員会	観音寺郷土資料館 ふるさと学芸館の年表	掲出
74	極密銃（芥砲、久米栄左衛門作拳銃、高松松平家歴史資料）	株式会社ネクサス	テレビ番組「開運！なんでも鑑定団」	放映
75	火縄銃 日本清堯作（高松松平家歴史資料）	株式会社宮帯出版社	『徳川家康・秀忠の甲冑と刀剣』	出版
76	香川県指定有形文化財 高松城下図屏風、陶製松平頼重像	高松市歴史資料館	平成30年度「サンクリスタルノート」	掲出
77	金毘羅霊験記 全、金毘羅信仰図、金毘羅参詣海路図	個人	卒業論文『現代に残る金毘羅信仰について—習俗・街道・末社のあり方を中心に—』	掲出
78	高木貞雄資料 菓子型（木型 佛手柑、尉と姥、松竹、竹乃子、ピワ、蓮花、亀鶴、朝櫻、輪鯛、伊勢海老）、藤井洋一資料 菓子型（木型 蒸気船）	個人	『和三盆から見る香川県の菓子文化』	掲出
79	屋島合戦画帖（景清の鍔引、高松松平家歴史資料）	ジエグレイブ株式会社	『日本の名字と家紋 別冊』	出版
80	火縄銃 日本清堯作（高松松平家歴史資料）	株式会社ライトワークス	『千銃士 高貴なる古銃の世界』	出版
81	松平氏家族写真、栗林図	株式会社思文閣出版	『大名庭園の近代』	出版
82	平賀源内肖像（『平賀源内全集』より 高松松平家歴史資料）	公益財団法人山陽放送学術文化財団	シンポジウム「岡山蘭学の群像X 近代日本を拓いた蘭学者たち」の開催告知チラシ	出版
83	重要文化財 太刀 銘真守造	香川県文化財保護協会	『文化財協会報 第197号』	出版
84	高松城下屋敷割図	増田技術士事務所	「和のランドスケープ・プランニング—美しい街づくりのための景観読本—」	出版
85	摂津名所図会（坐摩神社車楽図、仁徳天皇社太鼓図）	公益財団法人 愛媛県文化振興財団	『文化愛媛』第80号	出版
86	極密銃（芥砲、久米栄左衛門作拳銃）、扇風器（扇風機）、坂出懇田図	株式会社ネクサス	テレビ番組「開運！なんでも鑑定団」	放映
87	鉄道旅行案内 第22版、旅のガイドマップ、善通寺金刀比羅宮御案内、琴平急行沿線名勝鳥瞰図	三豊市文書館	三豊市文書館 春期企画展 写真パネル	掲出

88	屋島合戦図（屋島寺所蔵）	株式会社吉川弘文館	『景観史と歴史地理学』	出版
89	香川県指定有形文化財 高松城下図屏風	高松市教育委員会	高松市埋蔵文化財調査報告書第192集『高松城跡（丸の内地区）』	出版
90	吉田博「牛」、満谷国四郎「島」（高松松平家歴史資料）	香川県立東山魁夷せとうち美術館	瀬戸大橋開通30周年記念「せとうち気分ー多島海を描く」のチラシ、目録	出版
91	岩倉壽「小豆島の窓」、岩倉壽「讃岐瀬戸」、平山郁夫「瀬戸内海大橋」	香川県立東山魁夷せとうち美術館	瀬戸大橋開通30周年記念「せとうち気分ー多島海を描く」チラシ、目録	出版
92	香川県指定有形文化財 衆芳画譜 菓草 第二（甘草）	学校法人名城大学	ホームページ連載企画「漢方随想録」第10回	WEB
93	善通寺伽藍并寺領絵図（善通寺蔵）	香川県文化振興課	『四国八十八カ所霊場第72番札所 曼荼羅寺調査報告書』（香川県・香川県教育委員会発行）	出版
94	四国徧礼絵図 全	香川県文化振興課	『讃岐遍路道 霊山寺道Ⅰ 調査報告書』（香川県・香川県教育委員会発行）	出版
95	香川県指定有形文化財 衆鱗図 第一帖（鯛牡）	津山洋学資料館	洋学資料館第73回文化講演会チラシ	掲出
96	栗林古図	個人	『平成29年度 庭園の歴史に関する研究会「回遊式庭園と庭園文化」報告書』	出版
97	重要文化財 聖通寺 木造千手観音立像	宇多津町	宇多津町勢要覧	出版
98	石清尾八幡宮祭礼図巻	株式会社 瀬戸内人	『せとうちスタイル』5号 石清尾八幡神社記事	出版
99	平賀源内肖像（『平賀源内全集』より 高松松平家歴史資料）、高松松平家博物図譜、香川県指定有形文化財 衆鱗図 第一帖（鯛牡・鯰）、衆鱗図 第二帖（しまはぎ）、衆鱗図 第三帖（ウドンクラゲ）、衆禽画譜 水禽（表22）、写生画帖 菜蔬、衆芳画譜 菓草 第二（裏2）、衆芳画譜 菓木 第三（表31）、衆芳画譜 花卉 第四（表27）、衆芳画譜 花果 第五（裏8）、高松松平家博物図譜の付札、三木文柳「鯛魚図」（個人蔵）	公益財団法人 山陽放送学術文化財団	シンポジウム記録集『岡山蘭学の群像3』	出版
100	色絵金葵唐草文水指（高松松平家歴史資料）	市民のつどい編集局	『市民のつどい2019』	出版
101	ジョルジュ・ブラック「楽譜のある静物」	株式会社 ホワイトインターナショナル	ジョルジュ・ブラック メタモルフォーシス展図録	出版

分館 瀬戸内海歴史民俗資料館 29 年度の活動概要

29 年度の活動概要

○県文化芸術振興計画、館中期計画と当館の活動

瀬戸内海歴史民俗資料館(以下、歴民と表記)の活動は、香川県文化芸術振興計画(平成 25～29 年度 以下、県計画と表記)、香川県立ミュージアム中期活動計画(平成 27～31 年度 以下、館中期計画と表記)に基づいて施した。

○展示活動

県計画において、歴民は「文化芸術活動の場の充実及び活用」の項で「…多くの所蔵資料を活かせるよう展示内容を見直し、県民が優れた文化遺産に親しむ機会を充実する。」ことが明記されており、29 年度、当館ではテーマ展「昭和のお葬式とお墓」や「さぬき育樹ものがたり」を通じて、収蔵資料の活用をはかった。前者は現代社会における葬送墓制の変容を取り扱った珍しい展覧会として、後者は全国育樹祭に関連した展覧会として、マスコミや一般県民からの関心も高く、SNSでも話題となり、当館活動の認知度を引き上げることができた。

○地域振興・地域連携活動

地域振興への寄与に関しては、前記県計画において、「文化資源を活用した地域等の振興」の項に「現代建築を活用した地域の振興」が記されており、当館の建築もまた、日本建築学会作品賞や公共建築 100 選、DOCOMOMO Japan「日本におけるモダンムーブメントの建築」に選定され、活用対象の建築となっている。特に平成 25 年に県立ミュージアムで開催された特別展「丹下健三展」以降、県内の現代建築が県内外に注目され、当館においても建築を目的にしたツアーや若者層の見学が増加してきている。そこで、当館では 28 年度に引き続き、29 年度も歴民建築の魅力や普段公開していない収蔵庫の見学も含めた「歴民見学ツアー」を開催し、好評を得た。

地域連携活動については、県計画「文化遺産の保存・継承・防災対策」において「文化財レスキュー計画への参画」がうたわれ、大規模災害時の文化財の保全への取組みが求められた。当館では平成 28 年度以降、本格的に県内民俗資料収蔵施設の現況調査やハザードマップへの反映などの基礎調査を県内 60 余カ所の市町収蔵庫や民間展示施設等を対象に行ってきたが、平成 29 年度は、その追加調査を実施し、情報の更新を行った。また、災害時の民俗資料の保全には、地域住民にとって身近な収蔵施設に地域にとって重要な民俗資料が多数保管されていることを知っていただくことが必要と考え、テーマ展「香川のお宝民俗資料蔵出し展」を開催し、マスコミ等からも注目された。また、館中期計画においては「地域での活動への協力」がうたわれており、当館では平成 23 年度より歴民ボランティアが、県内に遺る唯一の水車場「高原水車」の保存に向けた資料整理などを行い、国登録有形民

俗文化財への登録に寄与したところであるが、平成 29 年度には破損して動かなくなっていた水輪の解体復元が行われたため、動き始めた水車場を見学し、その技術や保存活動を改めて県民に知っていただくためのワークショップを高原水車友の会と共催で実施し、参加者やマスコミから好評を得た。

○調査研究活動

香川県などが、3 年に一度開催している瀬戸内国際芸術祭に関連して、「瀬戸内」に関係する歴史・民俗・風俗・地理・自然科学などの多様な分野を学術的な観点から捉え、次代へのメッセージとして残すための書籍『瀬戸内全誌』(仮題)刊行のための準備会が発足し、編纂に向けて取り組んでいる。それを受けて、当館においても平成 27 年度から、瀬戸内各地の祭礼行事や島嶼・沿岸部の現況把握や記録化など、民俗分野の調査に取り組んできた。平成 29 年度においても、県内外約 30 ヶ所の祭り行事の映像・写真記録を行った。また、県内外約 10 ヶ所の島嶼・沿岸部地域の現況把握調査を実施し、基礎データを蓄積した。

○収集保管活動

館中期計画では「預託(収蔵予定)資料の調査」があげられ、当館ではボランティア活動の中で預託資料の整理を進めており、29 年度は県産業技術センターから預り、移管を目指し整理作業を行っていた JETRO 資料について、ほぼ作業を終了することができた。また、漁業活動にも関わった三豊地域の地主家資料の整理についても順調に進めることができた。

また、寄託中であった 1 件 544 点の歴史資料群について、職員による整理作業を終え、寄贈手続きを行った。

○施設・設備の整備

館中期計画では、「使命を達成するための環境・体制の整備・老朽化対策」がうたわれており、築 45 年を迎える当館においても対策を講じた。29 年度は、漁撈収蔵庫の雨漏り修繕工事や民俗収蔵庫の天井防水工事などを実施した。また、民俗収蔵庫屋上の展望デッキの更新を行い、展望デッキに座って瀬戸内海国立公園を眺望することができるよう整備した。

○29 年度の新入館者動向、建築への注目

平成 29 年度には国内外からの新たな団体ツアー利用の動きがあった。7～11 月には台湾からの団体が 10 団体 250 名を数えた。また、1～3 月には周辺観光施設(カキ焼き食べ放題)の利用と合わせた県外からの観光ツアーが 5 団体 200 余名にのぼり、当館ではこれまでに見られなかった新たな利用があった。また、県内外からの建築ツアー(5 団体)や建築目的の若者層の観覧が増えている。

(瀬戸内海歴史民俗資料館館長 田井静明)

1 展示企画事業

(1) 館内展示

① 常設展示

第1から第8展示室において、瀬戸内海の漁業や島々の暮らし、船大工用具、廻船などの瀬戸内海の水運、香川の自然環境に育まれた讃岐三白、ため池・用水管理などの水利用具、稲作用具、そして祭りや芸能に関わる資料を展示し、瀬戸内の里海文化、香川の里山文化を紹介した。

また、29年度から毎月2回（土・日曜日）、常設展示解説会を始めた。

各展示室のテーマ構成

第1展示室	第2展示室	第3展示室	第4展示室
【瀬戸内の里海文化】			
瀬戸内海の漁撈用具と船、島々の暮らし [国重有民]	瀬戸内海の船大工用具と木造船の製作現場 [国重有民]	瀬戸内海の水運と海の信仰 [国重有民ほか]	宇高連絡船と機帆船 瀬戸内海国立公園
第5展示室	第6展示室	第7展示室	第8展示室
【香川の里山文化】			
讃岐三白と養蚕	ため池・水利炭焼きと里山	香川の農具（稲作用具）	香川の祭りと芸能

収蔵展示

収蔵庫1	収蔵庫2
背負運搬具コレクション [国重有民]	さまざまな日本各地の船（船のルーツを考える）

② テーマ展

第9・10展示室を利用し、館蔵資料の積極的な公開をめざし、「瀬戸内海」「民俗」を中心としたテーマ展を実施し、29年度は3回のテーマ展を行った。

	期 間	展示テーマ	展 示 内 容
1	H29. 3. 18 (土) ~ 6. 18 (日)	昭和のお葬式とお墓	平成の若い世代には全く想像がつかないほど変化してしまった昭和時代のお葬式やお墓の様子を紹介し、日本人の精神文化の一端を紹介した。
2	7. 8 (土) ~ 9. 10 (日)	香川のお宝民俗資料蔵出し展	県内の自治体や地域の学校などで収集された多くの民具について、普段は公開されていない収蔵庫などから当館職員が選択し、お宝民

			俗資料として紹介した。
3	9. 23 (土) ~ 12. 17 (日)	さぬき育樹ものがたり	全国育樹祭の開催にあわせて、古文書や絵図、民具などから、香川における木への信仰、植林や森林の管理、くらしの中の木の利用などについて紹介した。



テーマ展「1 昭和のお葬式とお墓」展示解説風景



テーマ展「香川のお宝民俗資料展」展示風景

(2) 企画広報

ホームページほか広報活動

館独自のホームページを更新し、アクセス数の増加を図った。29年度のホームページトップページへのアクセス数合計は12,761件で、前年度より減少であった。

なお、平成29年度の新たな試みとして、ホームページで館蔵資料からお薦め資料として、興味深い資料を抽出し、調査写真と詳しい解説を付して収蔵品紹介を行った。

第1回	アワビとホネガイ（魔除けの貝）	第2回	ゴゼンバコ（供膳具）
第3回	テドウラ・ユビサシ（素朴な労働着）	第4回	水がめ（テグス行商用具）
第5回	イタダキサン用具（魚行商用具）		

2 地域連携学習支援事業

(1) 学校教育支援活動

学校との連携

29年度の学校団体利用は、大学・専門専修学校3校114人であった。

夏休みに実施された義務教育10年経験者（教員）研修では35名の受け入れをおこなった。

(2) 地域連携活動

① 職員の講師派遣

29年度は12回、各団体主催の講演会・講座等に職員を派遣した。

	月 日	講師名・演題	主催	聴講者数
1	H29. 6. 21 (水)	田井静明 瀬戸内海(日本)の漂着神仏と海ゴミ	韓国国立民俗学博物館	100人
2	7. 27 (木)	田井静明 地域の文化を考える	屋島コミュニティセンター	14人
3	10. 25 (水)	田井静明 香川の祭り・行事	香川県観光協会	50人
4	10. 28 (金)	田井静明 四国八十八ヶ所写し霊場	善通寺	76人
5	11. 6 (月)	田井静明 四国遍路と地域社会	徳島文理大学志度校	217人
6	11. 22 (水)	田井静明 瀬戸内の島々の民俗	香川県観光協会	42人
7	12. 1 (金)	田井静明 海との暮らし	香川県環境管理課「かがわ里海大学」	16人
8	H30. 1. 12 (金)	田井静明 三豊市域の島々の民俗	高瀬町公民館	15人
9	2. 18 (日)	芳澤直起 綾川町のため池アラカルトパートII～大谷池由来記を読み解く～	綾川町立図書館	22人
10	2. 18 (日)	田井静明 香川の葬送儀礼	三豊市文化財保護協会	132人
11	3. 3 (土)	田井静明 伊吹島案内・瀬戸芸の島々の民俗	瀬戸内こえびネットワーク	39人
12	3. 19 (月)	田井静明 東讃八十八ヶ所霊場と四国遍路を歩いた人々	高松市文化財保護協会牟礼分会	39人

② ボランティア

県立ミュージアム文化ボランティアの分館グループとして活動しており、29年度の登録者数は27名。

ー活動内容と実績ー

活動回数は、月平均のべ回数約30回程度（午前活動・午後活動・一日活動のいずれかのべ回数）。

i) 展示案内

- ・来館者に対して、第1展示室の展示案内を土・日・祝日に実施。2名のボランティアが年間で9回35組の来館者に説明を行った。

ii) 資料整理

- ・歴史・民俗資料の整理
近代の漁業関係資料、民俗資料(JETRO 資料再確認、漁網再確認等)の整理作業を行う。16名のボランティアがのべ192回活動。
- ・写真資料のデジタル化
写真データの整理作業を行う。3名のボランティアがのべ19回活動。
- ・図書整理
恵贈図書・雑誌等の刊行物の整理を行う。7名のボランティアがのべ17回活動。

iii) 館外調査

- ・県内における祭礼行事等の撮影を行った。1名のボランティアがのべ29回活動。
- ・ボランティア研修を兼ねて坂出与島を訪ねる企画を実施。5名が参加した。

iv) 館行事(イベント) 補助

- ・ワークショップ「瀬戸芸の島を訪ねる」「れきみん常設展示・収蔵庫ツアー」「高原水車見学会」の補助やれきみん講座の受付などを行った。

v) 環境整備

- ・館敷地内の雑木の伐採や草刈り、手入れなどを行う5名のボランティアが10回活動。また展示室の清掃日を2回設け、6名のボランティアが清掃を補助した。

内容	登録者計	活動者数	活動回数と のべ人数
展示案内	27名	2名	9回・9人
資料整理		16名	228回・260人
館外調査		6名	24回・28人
館行事補助他		17名	10回・56人
環境整備		5名	10回・14人
		合計	281回・367人

(3) 普及活動

①れきみん講座

瀬戸内地域の伝統的な生活・文化、歴史についてわかりやすく学ぶ、れきみん講座を3回実施した。

	日時	テーマ	担当	聴講者数
1	H29. 6.10 (土) 13:30～ 15:00	昭和のお葬式 とお墓	田井静明	37 人
2	10.21 (土) 13:30～ 15:00	江戸時代の木 と山の物語	芳澤直起	16 人
3	H30. 2.10 (土) 13:30～ 15:00	「香川の手工 業の盛衰」 ー花籠(丸亀 市)と貝ボタ ン(さぬき市) を例としてー	木内英博	17 人



「島を訪れる①櫃石島・岩黒島」実施風景



「れきみん常設展示・収蔵庫ツアー」実施風景

②ワークショップ

瀬戸内海の島々の歴史や民俗について、当館職員や島に育った方を講師に島を案内し、島文化の理解を深めた。

また、日本建築学会賞・公共建築百選などを受賞している当館の建築、国重要有形民俗文化財を多数収蔵している常設展示・収蔵庫を案内する常設展示・収蔵庫ツアーを開催した。さらに、平成28年3月に「讃岐六条の水車及び関連用具」として国登録有形民俗文化財に新規登録され、今回、新たに香川の水車大工の技術をもとにした水輪が設置され、実際に動き出しつつある「高原水車」の見学を行い、香川県の産業や水車をめぐるくらしなどについての知識を深めた。

	日時	テーマ	担当	参加人数
1	H29. 6.4 (日)	瀬戸芸の島を訪ねる① ー櫃石島・岩黒島ー	濱本敏広 (櫃石島) 島本壽次 (岩黒島) 当館職員	20 人
2	9.3 (日)	瀬戸芸の島を訪ねる② ー手島ー	高田正明(手島) 当館職員	31 人
3	11.19 (土)	れきみん常設展示・収蔵庫ツアー	当館職員	19 人
4	H30. 3.11 (日)	動き出した「高原水車」見学会	高原水車友の会 当館職員	47 人

3 調査研究事業

(1) 調査研究活動

①歴史民俗総合調査・研究

香川県及び瀬戸内地方の祭礼行事、民俗芸能等について、約30行事について映像等による記録化を進めるとともに、2カ年事業の1年目として関連する史資料などの調査等を行い、31年度特別展開催へ向けて調査研究を行った。

②有形民俗資料の調査・研究

文化財レスキュー計画において、県内自治体等の民俗資料収蔵施設及び50点以上の民俗資料を保管する小学校など、約5カ所の保管状況・点数・ハザードマップ上の位置などを確認し、カード化・一覧表化した。

また、当館既収蔵の民俗資料の再確認調査を実施し、データの整備や常設展示替え等の準備を実施した。

③無形民俗資料の調査・研究

「瀬戸内全誌調査」の一環として、香川県内や瀬戸内地域全域を対象にした祭り・行事の広域調査((1)と重複)や瀬戸内各県の島嶼・港町など10ヶ所について計画的に実施し、写真や映像による記録化を行った。

④展示に関わる調査

テーマ展「昭和のお葬式とお墓」、「香川のお宝 民俗資料蔵出し展」、「さぬき育樹ものがたり」にかかわる調査を行った。これらの調査成果によって展示を企画し、解説シート・パネル・ラベルの解説に反映させた。

⑤レファレンス等による調査

i) レファレンス対応

29年度に対応したレファレンスは以下のとおりである。

項目	件数
質問	106件
寄贈・寄託希望	10件
調査依頼	4件
資料情報	9件
その他	16件
合計	145件

ii) 資料の寄贈・寄託の申し出に伴う調査

29年度は、9件の寄贈申込みを受けて調査した。そのうち、琴平町の大工道具、高松市の生活用具、丸亀市の信仰用具並びに漁撈用具、高松市の獅子油単と太鼓打ち衣裳、坂出市の神社幟一式、東かがわ市の薬関係資料・歌舞伎関係資料、坂出市の近世の文書資料など7件の寄贈手続きを行った。

⑥教育普及に伴う調査

れきみん講座に関連した調査を行い、これらの調査成果を講座内容に反映させた。

⑦ボランティア館外調査

本年度は次年度ワークショップの下見を兼ねて与島（坂出市）のフィールドワークを行った。また、今年度から県内の祭り行事のビデオ・写真による記録撮影をボランティア業務としてお願いすることにした。約30行事記録を行った。

⑧瀬戸内全誌にかかわる調査

瀬戸内全誌にかかわる調査として、兵庫県の沼島、岡山県の神島・真鍋島、広島県大久野島、山口県の周防大島・家島・杵島、愛媛県青島などを訪れ、島のくらしや漁業、戦争遺産などについて調査した。

また、倉敷市の個人の方から、瀬戸内海の水運などに関する古写真情報があり調査し、デジタルカメラによる撮影を行った。

(2) 研究成果の公表

①研究成果の公表

i) 論文・報告・紹介など（館外）

田井静明

- ・「瀬戸内海（日本）の漂着神仏と海ゴミー博物館の漂着物展示と関連してー」『JUNK AND RECYCLE』韓国国立民俗博物館 H29. 6. 16
- ・「瀬戸内海（日本）の漂着神仏と海ゴミ」韓国国立民俗博物館国際学術セミナー「ごみとリサイクル」講演 H29. 6. 21

織野英史

- ・「新発見の在来唐箕、改造唐箕と改良小型唐箕」『坂出市史研究』第4号、H29. 5. 31
- ・「改造唐箕から在来唐箕の情報を探るー風廊（選別部）と再利用板に残る墨書・貼紙及び下棧の旧柄孔ー」平

成 29年度『高松市歴史民俗協会紀要』、高松市歴史民俗協会、H29. 10

- ・「負子と笈ー主に逆U字形枠をめぐる考察ー」『民具集積』19号、四国民具研究会、H29. 10. 28
- ・「六車功氏の死を悼む」『民具集積』19号、四国民具研究会、H29. 10. 28
- ・「負子と笈ー主に逆U字形枠をめぐるー」第42回日本民具学会大会口頭発表、H29. 10. 29
- ・「唐箕の基礎知識ー研究者間の論争あれこれー」香川民俗学会口頭発表、H30. 3. 17 高松市立中央図書館
- ・「職人氣質の研究者と研究する職人ー六車さん、白鷹さんの遺徳を偲ぶー」『れきみん』第28号、H30. 3. 31 高松市歴史民俗協会
- ・「東アジアの木造船推進具と接合用具ー櫓・槳（槳）・櫂及び接合・充填工具を比較するー」『国際常民文化研究叢書』12、H30. 3 神奈川大学国際常民文化研究機構

ii) 自治体や他機関からの委嘱など

田井静明

- ・坂出市史編さん委員
 - ・国立歴史民俗博物館基礎研究プロジェクト「地域における歴史文化研究拠点の構築」共同研究者
- 織野英史
- ・坂出市史編さん調査委員
 - ・神奈川大学国際常民文化研究機構共同研究「東アジアの伝統的木造船建造および操船技術の比較研究」共同研究者

iii) 当館刊行物及び香川県立ミュージアム刊行物内論考等

木内英博

- ・歴史テーマ展解説シート H29-2 「香川のお宝民俗資料蔵出し展」
- ・「地域に残る歴史的な資料等の保全に向けて」（NEWS vol. 39・共著）

芳澤直起

- ・歴史テーマ展解説シート H29-3 「さぬき育樹ものがたり」

iv) 『香川県立ミュージアムNEWS』での調査研究・資料紹介等

田井静明

- ・「瀬戸内海歴史民俗資料館開館45周年を迎えて」（歴史民だより・NEWS vol. 40）

木内英博

- ・「テーマ展香川のお宝民俗資料蔵出し展」（歴史民だより・NEWS vol. 37）

芳澤直起

- ・「テーマ展 さぬき育樹ものがたり」（歴史民だより・NEWS vol. 38）

②刊行物

テーマ展解説シート

平成 29 年度に開催したテーマ展「昭和のお葬式とお墓」・「香川のお宝民俗資料蔵出し展」・「テーマ展 さぬき育樹ものがたり」に関する内容を紹介した解説シートを印刷、刊行した。規格はA3判・2ツ折、モノクロ刷、各2,000部。

4資料の収集・整理・保管事業

(1)資料収集状況(平成30年3月末現在)

平成 29 年度収集数

部門	購入	寄贈	寄託	移管	計
民俗	0	164	0	0	164
歴史	0	544	-217	0	327
資料	0	0	0	0	0
計	0	708	-217	0	491

平成 29 年度末累計

部門	館蔵(購入・寄贈・移管)	寄託	計
民俗	22,468	0	22,468
歴史	84,662	12,573	97,235
考古	253	947	1,200
資料	7	0	7
計	107,390	13,520	120,910

①寄贈資料(掲載の順序は、原則採納手続き順による)

i) 民俗資料

琴平町の大工道具	4点
高松市の生活用具	3点
丸亀市の信仰用具並びに漁撈用具	85点
高松市の獅子油単と太鼓打ち衣裳	3点
坂出市の神社幟一式	3点
東かがわ市の薬関係資料・歌舞伎関係資料	66点
計	164点

ii) 歴史資料

坂出市の近世の文書資料	544点
(寄託解除 217点 + 再整理による追加資料)	327点
計	544点

②寄託解除

坂出市の近世の文書資料	217点
-------------	------

③文献資料の収集

- i) 報告書・図書等の寄贈点数 125点(恵贈市町史数)
- ii) 購入雑誌 『日本民俗学』、『民具研究』 6点
- iii) 購入図書 瀬戸内関係図書(兵庫県・徳島県の市町史誌) 16点

(2)資料整理保管活動

収蔵資料管理システム

県立ミュージアムのデータベースシステムを、当館でも運用している。新規収蔵分を入力した。

(3)資料の特別利用

利用区分一覧 利用申請 計 23 件

利用区分	件数	点数	
貸出	3	11	
閲覧	11	1,769	
画像利用	出版	8	44
	放映(再放送を含む)	1	1
	掲出(パネル展示等)	0	0
	WEB等掲載	0	0
	DVD掲載	0	0
複製製作	0	0	

※一申請で複数の利用区分がある場合があるため、利用総数と区分別の総数は異なる。

①貸出利用一覧

番号	資料名	利用者	目的	利用
1	ナウマン象牙 1点	香川県観光交流局観光振興課	瀬戸大橋記念館常設展示のため	H29. 4. 1～ H30. 3. 31
2	マイラセ1点、イタギ1点、魚行商用具3点など 計8点	高松市歴史資料館	「さぬきのFOOD（風土）一食にみる郷土の風景」展示のため	H29. 6. 28～ 9. 3
3	カタイタ 1点、捕鯨用銚 1点 計2点	大阪市立自然史博物館	特別展「瀬戸内海の自然をたのしむー生き物のにぎわいとその恵み」	H29. 6. 19～ 10. 15

②閲覧利用一覧

番号	資料名	申込者	利用目的	区分
1	松浦正文庫における拓本資料など 計1, 181点	高松市文化財課	幕藩体制における互生産と流通に関する研究のため	閲覧
2	製菓機具資料に関する資料計20点	個人	卒業論文の執筆のため	閲覧
3	阿河家文書における遍路関係文書3点	個人	修士論文作成のため	閲覧
4	重要有形民俗文化財「西日本の背負運搬具コレクション」指定負子252点並びに未指定負子11点 計263	個人	負子の製作・試負実験のための調査	閲覧
5	歌舞伎関係資料 160点	小豆島農村歌舞伎調査委員会事務局	小豆島農村歌舞伎調査事業に係る資料調査のため	閲覧
6	鳴門市堂浦一本釣り及びテグス行商等関連資料など 計59点	徳島県立博物館	徳島県立博物館企画展「阿波漁民ものがたり」（仮）にかかるとの事前資料調査	閲覧
7	松浦正文庫における郷土関係資料計6点	個人	弦打地区の郷土についての研究	閲覧
8	松浦正文庫における高松市前田町関係資料 計2点	個人	卒業論文の調査のため	閲覧
9	日下家文書「浦方御用留」など計61点	個人	近世高松藩の漁村史研究のため	閲覧
10	松浦正文庫における観光パンフレット関係資料 計3点	個人	修士研究のため	閲覧
11	合田栄作資料など郷土関係資料 計11点	高松市歴史博物館	高松市歴史博物館 平成30年4月開催予定収蔵品展「FOLKLORE STUDIES～郷土を愛した人が残したもの～」(案)のための作品調査	閲覧

③画像利用一覧

番号	資料名	申込者	利用目的	区分
1	松浦正文庫「西福寺古代墳墓跡出土銭貨拓影」1点	坂出市史編さん所	坂出市史にかかるとの出版物に掲載のため	出版
2	松浦正文庫「小神野筆帖 義巻」1点	香川県立文書館	香川県立文書館古文書解説講座（応用編）テキストに掲載のため	出版
3	日下家文書「知足院拾三回忌・随教院老周忌諸入費帳（献立関係三頁）」1点	個人	『近世末期から近代における町の仏事儀礼と供応食の展開-東讃岐引田村の仏事史料の検証から-』掲載のため	出版

4	合田栄作資料「写真データ「頭上運搬をする女性」昭和32年、男木島1点	1	テレビマンユニオン	テレビ朝日番組「食彩の王国」、第695回〈タコ〉篇において、「いただきさん」や、男木島を紹介する際、資料として紹介するため	放映
5	徳茂キクノ資料「御成箱」など13点	13	個人	『民具集積19号』報告「伊勢御師の御成箱―粟島旧廻船問屋「網屋」に伝わる伊勢信仰道具―」への掲載のため	出版
6	六車氏写真、板図トレース作業写真 4点	4	個人	『民具集積19号』追悼文「六車功氏の死を悼む」に掲載するため	出版
7	岡崎家文書など塩飽諸島関係文書 5点	5	坂出市史編さん所	文化史さかいでシリーズIV『さかいでの村と島』に掲載するため	出版
8	海岸絵図（木沢・乃生地区） 1点	1	坂出市王越地区社会福祉協議会	地域情報誌（「社協だより共生のまち王越」）に資料画像を掲載するために利用	出版
9	『香川県歴史の道調査報告第六集の（一）』の掲載写真 18点	18	香川県文化振興課	『讃岐遍路道 霊山寺道I 調査報告書』（香川県・香川県教育委員会発行）に掲載するため	出版

分館

香川県文化会館

1 展示事業

該当なし

2 貸館事業

(1) 県民ギャラリー

場所	内容	件数	日数
全展示室	美術展、書道展など	4件	28日
2階展示室	書道展、写真展、絵画展など	7件	37日
3階展示室	書道展など	1件	2日
合 計		12件	67日

(2) 芸能ホール

場所	内容	件数	日数
芸能ホール	邦楽演奏会、日本舞踊、寄席など	14件	19日
合 計		14件	19日

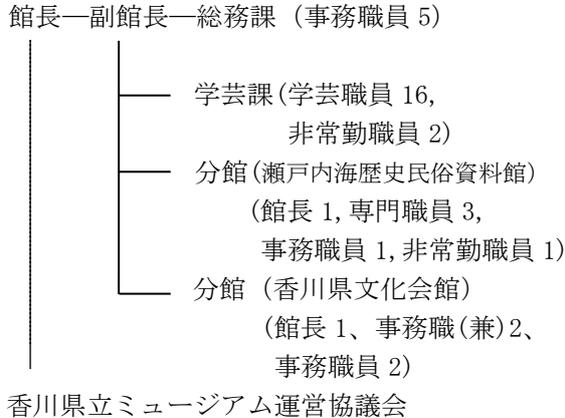
(3) 和室

場 所	内 容	件 数	日 数
和室	茶会など	7件	12日
合 計		7件	12日

Ⅲ 組織と運営

1 組織・職員

(1) 組織図 (平成 30 年 3 月 31 日現在)



(2) 職員名簿

館長	西尾伊知郎
副館長	西岡 達哉
〈総務課〉	
総務課長	田邊 敬子
副主幹	樋口 真美
主任	谷本 忠男
主任	猪塚 敬
主事	鳥山 真維
〈学芸課〉	
学芸課長	佐藤 竜馬
〈美術コーディネーター〉	
専門学芸員	田口 慶太
〈企画展示グループ〉	
主任専門学芸員	野村 美紀
文化財専門員 (兼) 専門学芸員	長井 博志
主任専門職員	織野 智子
主任主事	矢野由貴子
学芸員	瀧上 華
〈地域連携グループ〉	
専門学芸員	御厨 義道
専門学芸員	高木 敬子
主任専門学芸員	橋本 武生
主任専門職員	藤田 順也
〈調査管理グループ〉	
主任専門学芸員	渋谷 啓一
専門学芸員	上野 進
主任専門職員	谷川 洋朗
主任学芸員	一柳 友子
学芸員	鹿間 里奈

嘱託	芳地 智子
嘱託	松村 祥志
〈分館 (瀬戸内海歴史民俗資料館)〉	
館長	田井 静明
主任専門職員	芳澤 直起
専門職員	木内 英博
専門職員	織野 英史
主任主事	三好 繁
臨時職員	細谷 正行
〈分館 (香川県文化会館)〉	
館長 (兼)	渡部 伸一
次長 (兼)	高橋 克寿
副主幹 (兼)	高橋 加織
主任	貞廣 隆雄
主任主事	奥野 重美

2 予算

予算は管理運営費と事業費からなる。

平成 29 年度当初予算 (単位：千円)

管理運営費	事業費	計
639,419 ※1、※2	60,007 ※2	699,426

※1 職員給与費を含む

※2 文化芸術振興基金事業を含む

3 香川県立ミュージアム運営協議会

県立ミュージアムの事業をはじめとする運営全般について意見を求める香川県立ミュージアム運営協議会の会議について下記のとおり開催した。

・第 1 回運営協議会

日 時：平成 29 年 8 月 25 日

会 場：香川県立ミュージアム 会議室

議 事：平成 28 年度事業評価について 他

・第 2 回運営協議会

日 時：平成 30 年 3 月 8 日

会 場：香川県立ミュージアム 会議室

報告事項：平成 29 年度の利用状況について 他

議 事：平成 30 年度の事業計画について 他

**香川県立ミュージアム運営協議会委員
(五十音順)**

氏名	所属等
井口有紀江	香川県PTA連絡協議会 母親代表委員会委員
梅木眞由美	香川県小・中学校文化連盟事務局長
大西由子	香川県立ミュージアムサポート会員
笠井伯昭	四国新聞社編集局生活文化部長
岸 慎治	NHK 高松放送局放送部長
後藤憲子	公益財団法人福武財団事務局部長
中村光幸	香川県美術家協会副会長
丹羽佑一	香川大学名誉教授
濱田 宣	徳島文理大学文学部長・文化財学科教授
三浦耐子	武蔵野美術大学名誉教授
山本珠美	香川大学生涯学習教育研究センター准 教授

- 2 協議会設置当初の委員の任期は第2条第3項本文の規定にかかわらず、平成22年3月31日までとする。
- 3 香川県歴史博物館事業懇談会設置要綱(平成19年4月1日施行)は、廃止する。

**香川県立ミュージアム運営協議会設置要綱
(設置)**

第1条 香川県立ミュージアムの運営について意見を求めるため、香川県立ミュージアム運営協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

(組織)

- 第2条 協議会は、15人以内の委員で組織する。
- 2 委員は、学識経験者、文化芸術団体、学校教育、家庭教育、利用者団体等の関係者から、館長が委嘱する。
 - 3 委員の任期は、2年とし、再任されることを妨げない。ただし、委員に欠員を生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長および副会長)

- 第3条 協議会に会長及び副会長1人を置く。
- 2 会長及び副会長は、それぞれ委員が互選する。
 - 3 会長は、会務を総理する。
 - 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 協議会の会議は、館長が招集し、会長がその議長となる。

(庶務)

第5条 協議会の庶務は、香川県立ミュージアムにおいて行う。

付則

- 1 この要綱は平成20年4月1日から施行する。

4 利用状況

＜香川県立ミュージアム入館者の状況＞

(単位：人)

平成28年度			平成29年度(30年3月31日現在)		
特別展	ピカソ展 ルートヴィヒ・コレクション	24,671	特別展	クロスポイント／交差する 視線 20の表現	7,432
	香川県美術展覧会Ⅰ期	3,397		香川県美術展覧会Ⅰ期	2,920
	香川県美術展覧会Ⅱ期	1,539		香川県美術展覧会Ⅱ期	1,451
	香川県美術展覧会Ⅲ期	3,072		香川県美術展覧会Ⅲ期	4,692
	香川県美術展覧会Ⅳ期	2,299		かがわ生命のミュージアム～感じて！ 進化の歴史とふしぎ～	15,903
	ワンロードー現代アポリ ジニ・アートの世界	5,744		讃岐びと、時代を動かす ー地方豪族が見た古代世界ー	5,215
	イメージの力	7,163		第64回日本伝統工芸展	5,745
	香川県文化功労者展	928			
	第63回日本伝統工芸展	6,688			
	新収蔵品展	606			
	計	56,107		計	43,358
常設展（歴史展示＋企画展示）	62,672	常設展（歴史展示＋企画展示）	49,447		
教育普及等 （市町等共同企画展示 146人 含む）	9,921	教育普及等 （市町等共同企画展示 90人含 む）	8,642		
貸館	10,155	貸館	12,374		
本館合計	138,855	本館合計	113,821		
分館・瀬戸内海歴史民俗資料館	9,914	分館・瀬戸内海歴史民俗資料館	11,277		
分館・文化会館		分館・文化会館			
主催展	香川県美術家協会展	2,508	主催展	該当なし	
	香川県華道選抜秀作展 （共催）	3,643			
	計	6,151		計	0
貸館	22,621	貸館	10,743		
分館・文化会館 合計	28,772	分館・文化会館 合計	10,743		
県立ミュージアム 総計	177,541	県立ミュージアム 総計	135,841		

※「国際博物館の日」（5月18日）の記念行事として5月18日(木)は観覧料を無料として、219人の入館があった。

IV 施設の概要 (平成 29 年 4 月 1 日現在)

本館

1 建築概要

○ 建設の概要

敷地面積	5,016.77 m ²
建築面積	3,419.60 m ²
延床面積	19,656.99 m ²
塔屋1階	86.70 m ²
6階	811.57 m ²
5階	1,273.69 m ²
4階	1,782.11 m ²
3階	3,702.19 m ²
M2階	3,150.68 m ²
2階	980.84 m ²
1階	2,606.37 m ²
B1階	2,600.64 m ²
B2階	2,734.20 m ²
階数	地上7階、地下2階、塔屋1階
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造・鉄筋コンクリート造
高さ	GL+44.19m

○ 設備の概要

空気調和設備

■空調設備 ・一般系統 ・収蔵庫系統 ・展示室系統	室の用途に応じて次のように対応 単一ダクト方式+FCU 単一ダクト方式 直接空調、間接空調併用 単一ダクト方式 展示ケースはケース周囲空調による間接空調
■自動制御設備	デジタル方式による空調設備温湿度制御及び省エネルギー制御。中央監視盤による各動力機器の自動・遠隔発停、状態監視、記録、温湿度の監視、記録、電力設備のデマンド制御、状態監視、記録を行う。
■燻蒸設備	固定設備

電気設備

■照明器具設備	
・展示室 (特別、企画)	一般照明はミニハロゲンランプ、展示ケースは美術館、博物館用AAA蛍光ランプ
・展示室 (歴史)	メタルハライドランプによる間接照明
■音声ガイド	ポータブル ROM プレーヤーによる音声ガイドシステム。1台で4ヶ国語の解説が聞ける 設定。33項目の解説で、所要時間約47分
■監視	
・中央監視室	受電盤及び発電機の操作状況監視 照明副制御盤 自動火災報知機副受信盤 親時計
・警備員室	非常放送 監視カメラ 自動火災報知機副受信盤 防犯監視 照明主制御盤 身障者呼出し
■監視設備 (ITV)	
・展示室系統	展示室にカメラ16台
・駐車場系統	地下1、2階にカメラ16台
	それぞれ警備員室、管理事務室にモニター設置
■防犯設備	
	赤外線センサー、シャッター、ドアセンサー、カードリーダー、テンキー、電気錠
■自動火災設備 (防排煙含む)	中央監視室にGR型複合受信盤
■講堂設備	
・おもな機器	ハイビジョン対応プロジェクター1式、音響機器架3架、映像送出架1架、固定式調整卓1式、移動調整ワゴン1式、マイクコンセント、インカム子機、オーバーヘッドカメラ、ワイヤレスアンテナ、メインスピーカー、ステージスピーカー、ハネカエリスピーカー

■ 研修室設備	
・おもな機器	ハイビジョン対応プロジェクター1式、音響・映像機器架1架、移動式調整卓1式、マイクコンセント、ワイヤレスアンテナ、メインスピーカー

給排水衛生設備

■ 中水設備	引込管、副受水槽を經由し、地中梁内利用受水槽（200㎡ 2槽式） 高架水槽（5㎡ 2槽式）
■ 雨水利用設備	屋上雨水管より雨水槽へ（50㎡）、ろ過装置經由後中水槽へ

消火設備

■ イナーゼンガス設備	展示室、収蔵庫、電気室、中央監視室、ビデオ編集室、薬品庫など20区画、ボンベ125本
■ スプリンクラ	歴史展示室にブリアクションタイプ。地下階各居室ゾーンに設置
■ 屋内消火栓設備	イナーゼンガス設備範囲外のすべての部分

昇降機設備

■ エレベーター	
No.1、2号機	来館者用乗用エレベーター（地下2階～3階） 11人乗り 積載量750kg
No.3号機	乗用エレベーター（地下2階～6階） 17人乗り 積載量1,150kg
No.4号機	荷物用エレベーター（1階～5階） 積載量3000kg 開口4,000mm×奥行3,000mm
No.5号機	乗用エレベーター（地下2階～1階）11人乗り 積載量750kg

設計・施工

設計	建築設計	(株)日建設計
	展示設計	(株)丹青社
施工	建築	清水・フジタ建設共同企業体
	電気	住友電設・久保電気建設企業体
	空調	大気社・新英工業建設共同企業体
	給排水	大気社・新英工業建設共同企業体
	昇降機	(株)東芝
	展示	(株)丹青社

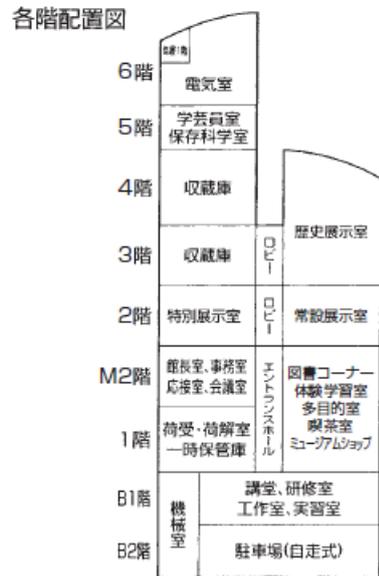
2 面積

部門名	おもな諸室	階数	面積 (㎡)
展示部門	歴史展示室	3	1,188.65
	常設展示室-1	2	332.76
	常設展示室-2	2	78.57
	常設展示室-3	2	139.23
	常設展示室-4	2	150.73
	常設展示室-5	2	130.19
	常設展示室ロビー	2	293.96
	特別展示室	2	726.13
	展示準備室	2	78.06
	パネル庫	2	77.30
	その他		92.11
	小計		3,287.69
学習支援部門	図書コーナー	1	274.58
	体験学習室	1	113.33
	準備室	1	18.53
	準備室	1	58.68
	講堂	B1	285.98
	準備室	B1	84.72
	研修室	B1	114.96
	工作室	B1	64.84
	実習室	B1	68.05
	準備室1	B1	26.46
	準備室2	B1	18.86
	ボランティア室	B1	28.80
	その他		4.33
	小計		1,162.12
調査・研究部門	学芸員室	5	260.04
	整理作業室	5	36.17
	整理分析室1	5	49.45
	整理分析室2	5	122.47
	保存科学室	5	143.73
	薬品庫	5	20.60
	資料鑑定室	5	35.42
	書庫	5	164.36
	資料閲覧室	5	12.77

	情報処理室	5	21.56
	資料保管庫	5	44.75
	写真撮影室	4	81.32
	暗室	4	17.14
	ビデオ編集室	4	28.96
	その他		286.50
	小計		1,325.24
収蔵部門	美術工芸収蔵庫	4	389.82
	民俗生活収蔵庫	4	593.82
	前室	4	88.48
	フィルム庫	4	193.87
	特別収蔵庫	3	200.12
	低湿収蔵庫	3	106.45
	高湿収蔵庫	3	106.39
	歴史収蔵庫	3	586.37
	考古収蔵庫	3	411.62
	前室	3	156.19
	資材庫	1	33.46
	梱包資材庫	1	34.97
	修復室	1	30.11
	燻蒸庫	1	23.36
	一時保管庫	1	62.95
	荷受・荷解室	1	163.82
	トラックヤード	1	121.32
	その他		511.07
	小計		3,814.19
管理部門	展示案内員室	2	30.20
	館長室	M2	56.25
	応接室	M2	37.17
	事務室	M2	110.31
	印刷室	M2	13.44
	書類庫	M2	30.42
	会議室	M2	110.34
	休憩室	M2	34.28
	更衣室	M2	54.09
	器具庫	M2	15.13
	物品庫	M2	17.55

	警備員室	1	22.86
	救護室	1	17.32
	授乳室	1	9.25
	清掃員控室	B1	32.95
	中央監視室	B1	68.69
	その他		384.04
	小計		1,044.29
機械関係	熱源機械室	6	91.62
	電気室	6	102.68
	イナージェンポンベ室	6	83.09
	氷蓄熱槽置場	6	138.79
	機械室	6	215.13
	ポンプ室	B2	44.07
	排気ファン室	B2	27.12
	その他		1,188.24
	小計		1,890.14
共用部分	ロビー (3階)	3	433.73
	ロビー (2階)	2	388.68
	エントランスホール (1階)	1	427.81
	ゴミ庫		40.77
	その他		2,616.55
	小計		3,907.54
喫茶・売店	喫茶室	1	113.84
	ミュージアムショップ	1	42.11
	その他		5.27
	小計		161.22
駐車場	業務用駐車場	B1	413.19
	車路スロープ	B1・2	137.66
	駐車場	B2	1,961.04
	その他		552.67
	小計		3,064.56
総計			19,656.99

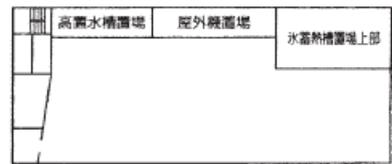
3 各階配置図・平面図



6階平面図



塔屋1階平面図



2階平面図



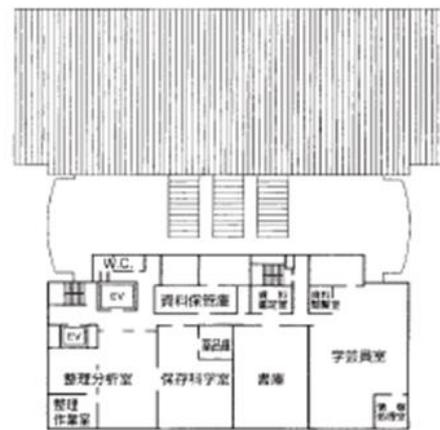
3階平面図



4階平面図



5階平面図



地下1階平面図



地下2階平面図



分館 瀬戸内海歴史民俗資料館

1 建築概要

設計 建築：香川県建築課
 協働：山本坦設計事務所
 構造：木村俊彦構造設計事務所
 設備：香川県建築課

監修 文化庁建造物課
 監理 香川県建築課

施行 建築：(株)高岸工務店
 電気：近畿電気工事(株)高松営業所
 給水・衛生・空調：第一設備工業(株)
 四国出張所

石壁：和泉政敏
 造園：(株)桂組

鉄筋コンクリート造
 平屋建（一部中2階）

外部 コンクリート打放し及び石積み
 内部 床：れんがタイル及びビニタイル張り
 天井：プラスターボード張りボイルキン
 吹付け及びOP ローラ引き

2 面積

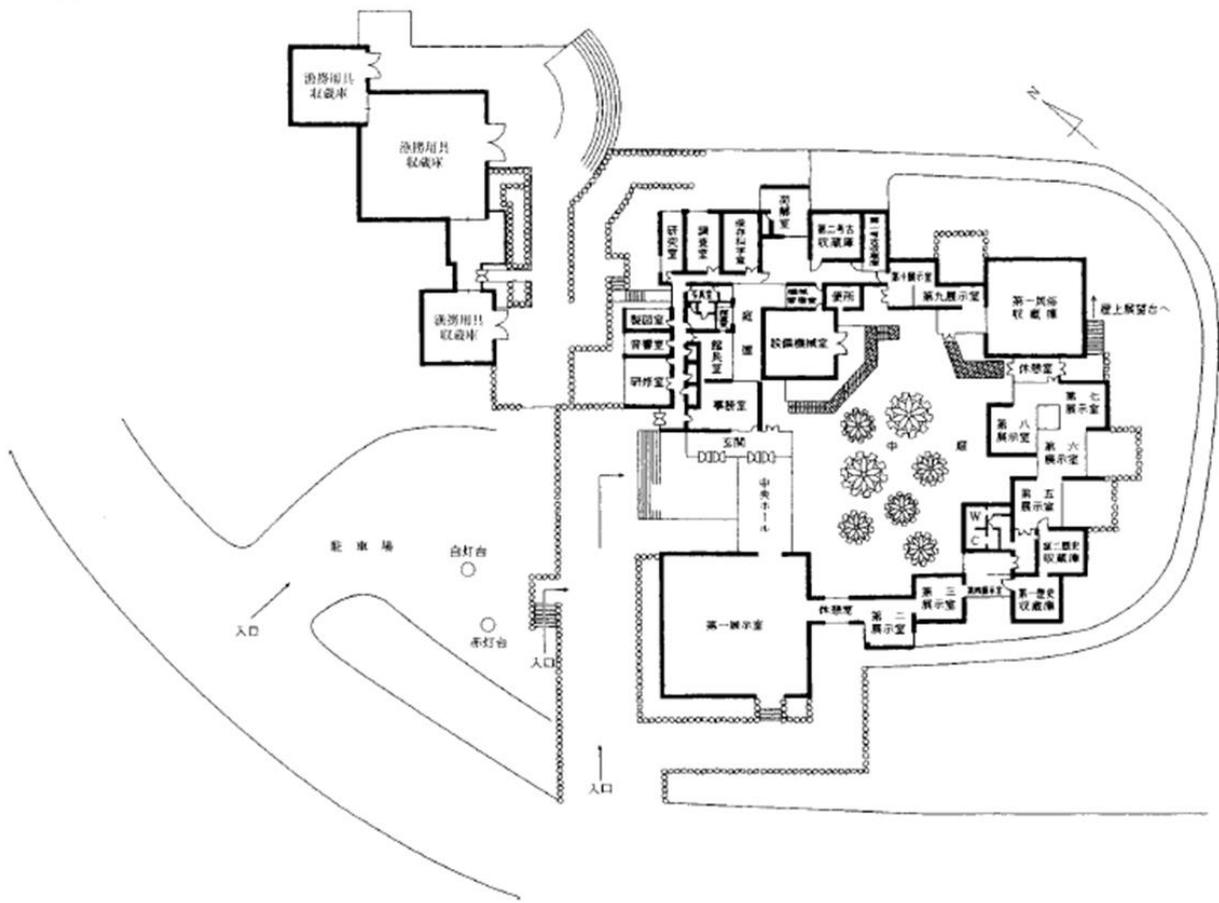
室名	面積 (㎡)
玄関	68.00
事務室	88.00
館長室	48.00
倉庫	15.00
宿直室	40.00
写真室	24.00
研修室	64.00
音響室	32.00
製図室	32.00
研究室	44.00
調査室	60.00
保存科学室	60.00
荷解室	88.00
機械管理室	24.00
設備機械室	132.25
中央ホール	134.12
第一展示室	705.60
機械室	207.36
休憩室	32.00
第二展示室（歴史）	64.00
第三展示室（歴史）	64.00
第四展示室（歴史）	64.00
第一歴史収蔵庫	64.00
第二歴史収蔵庫	118.18
第五展示室（考古）	64.00
第六展示室（考古）	64.00
第七展示室（考古）	64.00
第八展示室（考古）	64.00
休憩室	32.00
第一民俗収蔵庫	256.00
第九展示室（特別展示室）	64.00
第十展示室（特別展示室）	64.00
第一考古収蔵庫	40.00
第二考古収蔵庫	117.60
地下収蔵庫（民俗）	94.00
地下収蔵庫（民俗）	120.00
漁撈用具収蔵庫	952.00
その他	173.00
計	4441.11

延床面積 4,441.11 ㎡

（展示部門 1,281.60 ㎡ 収蔵部門 1,761.78 ㎡

管理部門 1,397.73 ㎡）

3 平面图



分館 香川県文化会館

1 建築概要

構造規模：鉄筋コンクリート造、地下1階、地上7階建て

建築面積：923.91 m²、延べ面積：4628.02 m²

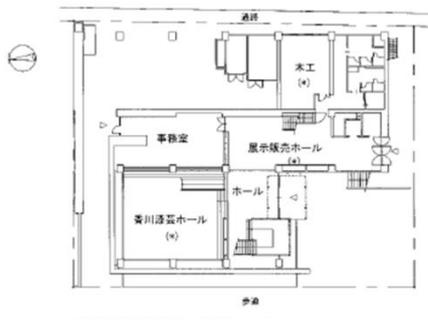
設置年月：昭和41年5月

2 面積

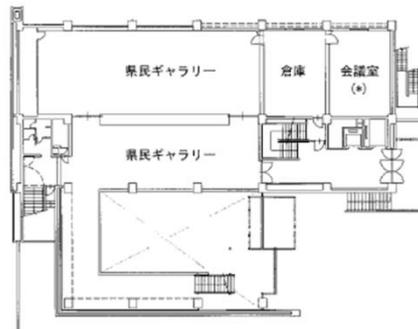
階	室名	床面積	階別面積
地階	機械室ほか	774.56	774.56
1階	香川漆芸ホール	152.10	844.16
	その他	692.06	
2階	県民ギャラリー	387.89	637.20
	その他	249.31	
3階	客席舞台	300.23	972.12
	県民ギャラリー	357.12	
	その他	314.77	
4階	和室	135.37	421.43
	その他	286.06	
5階	存清実習室ほか	301.78	301.78
6階	彫漆実習室ほか	301.78	301.78
7階	蒔髹実習室ほか	301.78	301.78
塔屋	その他	73.21	73.21
延べ面積			4,628.02

3 平面図

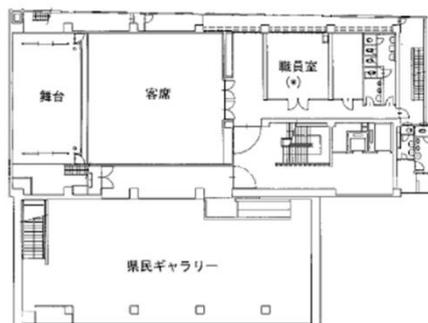
1階平面図



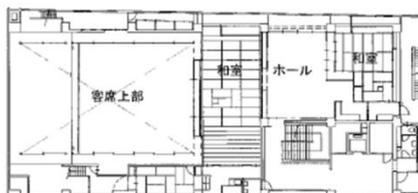
2階平面図



3階平面図



4階平面図



5階平面図(*)



6階平面図(*)



7階平面図(*)



図(*)は漆芸研究所

地階平面図



V 条例・規則等 (平成 30 年 4 月 1 日現在)

香川県立ミュージアム条例

(平成 11 年 3 月 19 日条例第 6 号)

(設置)

第 1 条 歴史、芸術及び民俗に関する県民の理解を深めるとともに、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法(昭和 26 年法律第 285 号)

第 2 条第 1 項に規定する博物館として、香川県立ミュージアム(以下「ミュージアム」という。)を高松市に設置する。

2 ミュージアムの分館として、瀬戸内海歴史民俗資料館及び香川県文化会館を置く。

(職員)

第 2 条 ミュージアムに、館長、学芸員その他の職員を置く。

(使用料の納入)

第 3 条 ミュージアムを利用する者は、香川県使用料、手数料条例(昭和 27 年香川県条例第 2 号)の定めるところにより、使用料を納入しなければならない。

(利用の許可)

第 4 条 ミュージアムを利用しようとする者は、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

(委任)

第 5 条 この条例に定めるもののほか、ミュージアムの管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附則

(施行期日)

1 この条例は、平成 11 年 11 月 16 日から施行する。(香川県使用料、手数料条例の一部改正)

2 香川県使用料、手数料条例の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

附則(平成 16 年 3 月 26 日条例第 28 号)

この条例は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附則(平成 19 年 3 月 20 日条例第 39 号)

(施行期日)

1 この条例は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。(香川県使用料、手数料条例の一部改正)

2 香川県使用料、手数料条例(昭和 27 年香川県条例第 2 号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

附則(平成 19 年 12 月 21 日条例第 72 号)

(施行期日)

1 この条例は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。(香川県使用料、手数料条例の一部改正)

2 香川県使用料、手数料条例(昭和 27 年香川県条例第 2 号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

(附属機関を構成する委員その他の構成員の報酬等に関する条例の一部改正)

3 附属機関を構成する委員その他の構成員の報酬等に関する条例(昭和 32 年香川県条例第 43 号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

(議会の議決に付すべき公の施設の長期かつ独占的な利用の許可に関する条例の一部改正)

4 議会の議決に付すべき公の施設の長期かつ独占的な利用の許可に関する条例(昭和 39 年香川県条例第 28 号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

香川県立ミュージアム規則

(平成 11 年 4 月 23 日教育委員会規則第 16 号)

(趣旨)

第 1 条 この規則は、香川県立ミュージアム条例(平成 11 年香川県条例第 6 号。以下「条例」という。)第 4 条及び第 5 条の規定に基づき、香川県立ミュージアム(以下「ミュージアム」という。)の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(業務)

第 2 条 ミュージアムは、次の業務を行う。

(1) 歴史、芸術及び民俗に関する資料(以下「資料」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。

(2) 資料の利用に関し必要な説明、助言、指導等を行うこと。

(3) 資料に関する専門的又は技術的な調査研究を行うこと。

(4) 歴史、芸術及び民俗についての講演会、講習会等を開催すること。

(5) 前各号に掲げるもののほか、ミュージアムの目的を達成するために必要なこと。

(開館時間)

第 3 条 ミュージアム(瀬戸内海歴史民俗資料館(以下「資料館」という。)及び香川県文化会館(以下「文化会館」という。))を除く。次条第 1 項において同じ。)の開館時間は、次に掲げる施設の区分に応じ、当該各号に定める時間とする。

(1) 駐車場以外の施設 午前 9 時から午後 5 時ま

で

(2) 駐車場 午前9時から午後10時まで

2 資料館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。

3 文化会館の開館時間は、次に掲げる施設の区分に応じ、当該各号に定める時間とする。

(1) 県民ギャラリー 午前9時から午後5時まで

(2) 芸能ホール及び和室 午前9時から午後10時まで

4 教育委員会は、特別展示室又は県民ギャラリーで展覧会を開催する場合その他必要があると認める場合は、前3項の規定にかかわらず、開館時間を変更することができる。

(休館日)

第4条 ミュージアムの休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日)

(2) 12月29日から翌年1月3日までの日

2 資料館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日(その日が休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日)

(2) 12月29日から翌年1月3日までの日

3 文化会館の休館日は、12月29日から翌年1月3日までの日とする。

4 教育委員会は、特別展示室で展覧会を開催する場合その他必要があると認める場合は、前3項の規定にかかわらず、休館日を変更し、又は休館日を設けることができる。

(利用の許可を要する施設)

第5条 ミュージアムのうち条例第4条の許可を受けなければならない施設は、特別展示室(常設展示室、ロビー又はエントランスホールのうち特別展示室と併せて展示の用に供される部分を含む。)講堂及び研修室並びに芸能ホール、県民ギャラリー及び和室(以下「特別展示室等」という。)とする。

(利用の許可)

第6条 特別展示室等に係る条例第4条前段の規定による利用の許可(以下「利用許可」という。)を受けようとする者は、香川県立ミュージアム利用許可申請書(第1号様式)又は香川県立ミュージアム香川県文化会館利用許可申請書(第1号様式の2)(以下「利用許可申請書」という。)を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の利用許可申請書は、利用しようとする日(2日以上継続して利用しようとする場合は、その

初日)の1年前から7日前までに提出しなければならない。ただし、教育委員会が特に必要があると認める場合は、この限りでない。

3 教育委員会は、利用許可を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可をしないことができる。

(1) ミュージアムの秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあると認められるとき。

(2) ミュージアムの施設又は設備を損傷するおそれがあると認められるとき。

(3) ミュージアムの利用により暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団を利するおそれがあると認められるとき。

(4) 前3号に掲げるもののほか、ミュージアムの管理上支障があると認められるとき。

4 利用許可には、ミュージアムの管理上必要な範囲内で条件を付することができる。

(利用の許可の変更)

第7条 利用許可を受けた者(以下「利用者」という。)は、条例第4条後段の規定による変更の許可(以下「変更許可」という。)を受けようとするときは、香川県立ミュージアム利用許可変更申請書(第2号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

2 前条第3項及び第4項の規定は、変更許可について準用する。

(利用の中止の届出)

第8条 利用者は、施設の利用を中止しようとするときは、香川県立ミュージアム利用中止届(第3号様式)により、教育委員会に届け出なければならない。

(資料画像等の利用の許可)

第9条 ミュージアム(文化会館を除く。)の保管に係る資料画像等の利用をしようとする者は、資料画像等利用許可申請書(第4号様式)を教育委員会に提出し、その許可を受けなければならない。

2 第6条第3項及び第4項の規定は、前項の許可について準用する。この場合において、同条第3項第3号

中「ミュージアムの利用」とあるのは、「ミュージアムの利用又は資料画像等の利用」と読み替えるものとする。

第10条から第12条まで 削除

(利用の許可の取消し等)

第13条 教育委員会は、利用者又は第9条第1項の許可を受けた者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可若しくは変更許可若しくは同項の許可を

取り消し、又はミュージアムの利用若しくは資料画像等の利用の停止を命ずることができる。

(1) この規則の規定に違反し、又は教育委員会の指示に従わなかったとき。

(2) 偽りその他不正の手段により利用許可若しくは変更許可又は第9条第1項の許可を受けたとき。

(3) 第6条第3項各号(第9条第2項において準用する場合を含む。)のいずれかに該当することとなったとき。

(4) 第6条第4項(第7条第2項及び第9条第2項において準用する場合を含む。)の規定により付された許可の条件に違反したとき。

(5) 納期限までに使用料を納付しないとき。

(入館の拒否等)

第14条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、ミュージアムへの入館を拒否し、又はミュージアムからの退館を命ずることができる。

(1) 他人に迷惑を及ぼした者

(2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑となるおそれのある物品を携帯する者

(3) 前2号に掲げるもののほか、ミュージアムの管理上支障があると認められる者

(損害賠償の責任)

第15条 利用者又は第9条第1項の許可を受けた者は、その責めに帰すべき理由により利用許可若しくは変更許可若しくは同項の許可を取り消され、又はミュージアムの利用若しくは資料画像等の利用を停止されたために損害を被る場合においても、その損害の賠償を請求することができない。

2 ミュージアムの施設、設備、器具、展示品等を損傷させ、又は滅失させた者は、それによって生じた損害を賠償しなければならない。

3 ミュージアムに保管を委託された資料が、災害その他の不可抗力によって損傷し、又は滅失した場合は、損害賠償の責任を負わない。

(補則)

第16条 この規則に定めるもののほか、ミュージアムの管理に関し必要な事項は、別に定める。

附則

この規則は、平成11年11月16日から施行する。

附則(平成12年3月31日教育委員会規則第23号)

1 この規則は、平成12年4月1日から施行する。

2 改正前の第1号様式による用紙は、当分の間、使用することができる。

附則(平成13年3月27日教育委員会規則第11号)

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附則(平成13年5月8日教育委員会規則第16号)

この規則は、公布の日から施行する。

附則(平成13年7月24日教育委員会規則第18号)

この規則は、公布の日から施行する。

附則(平成14年3月29日教育委員会規則第21号)

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附則(平成15年3月31日教育委員会規則第7号抄)

(施行期日)

1 この規則は、平成15年4月1日から施行する。
(香川県歴史博物館規則の一部改正に伴う経過措置)

3 この規則の施行の際現に交付されている第3条の規定による改正前の香川県歴史博物館規則第11条第1項第1号又は第2号に規定する証票は、それぞれ第3条の規定による改正後の同規則第11条第1項第1号又は第2号に規定する証票とみなす。

4 この規則の施行の際現に香川県歴史博物館の駐車場を第3条の規定による改正前の香川県歴史博物館規則別表第5号の表に規定する5,590円券により利用している者の当該利用に係る使用料については、なお従前の例による。

附則(平成16年3月29日教育委員会規則第4号抄)

1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附則(平成18年3月31日教育委員会規則第4号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附則(平成18年7月28日教育委員会規則第28号)
この規則は、平成18年8月1日から施行する。ただし、別表第5号の表の改正規定中「7,800円券」を「6,000円券」に、「6,500円」を「5,000円」に、「13,000円券」を「1万円券」に、「10,500円」を「8,000円」に改める部分は、同年9月1日から施行する。

附則(平成18年9月29日教育委員会規則第29号)

1 この規則は、平成18年10月1日から施行する。

2 障害者自立支援法(平成17年法律第123号)附則第41条第1項の規定によりなお従前の例により運営されている身体障害者更生援護施設、同法附則第58条第1項の規定によりなお従前の例により運営されている知的障害者援護施設又は同法附則第48条の規定によりなお従前の例により運営されている精神障害者社会復帰施設の在籍者で、当該施設の職員が引率の上入室するものについては、第3条の規定による改正後の香川県立ミュージアム規則第11条第1項の規定にかかわらず、同法附則第1条第3号に掲げる規定の施行の日の前日までの間は、なお従前の例により観覧料を免除する。

附則(平成19年3月30日教育委員会規則第5号)

抄)

(施行期日)

1 この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。
(経過措置)

3 第 3 条の規定による改正前の香川県歴史博物館規則第 1 号様式から第 4 号様式までによる用紙は、当分の間、使用することができる。

附則(平成 19 年 3 月 30 日教育委員会規則第 6 号)
この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附則(平成 20 年 3 月 25 日教育委員会規則第 5 号)
(施行期日)

1 この規則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。
(経過措置)

2 この規則の施行の日の前日までに香川県歴史博物館の利用の申請を行った者の当該利用の許可に係る使用料の額については、なお従前の例による。

3 改正前の第 1 号様式から第 4 号様式までによる用紙は、当分の間、使用することができる。

附則(平成 20 年 3 月 25 日教育委員会規則第 6 号)
この規則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附則(平成 20 年 10 月 31 日教育委員会規則第 19 号)

この規則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 5 条及び第 6 条の改正規定並びに第 1 号様式の次に 1 様式を加える改正規定は、公布の日から施行する。

附則(平成 20 年 11 月 21 日教育委員会規則第 20 号抄)

(施行期日)

1 この規則は、平成 20 年 12 月 1 日から施行する。

附則(平成 21 年 2 月 10 日教育委員会規則第 2 号)
この規則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附則(平成 22 年 3 月 31 日教育委員会規則第 8 号)

1 この規則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

2 この規則の施行の日の前日までに香川県立ミュージアムの利用の申請を行った者の当該利用の許可に係る使用料の額については、なお従前の例による。

附則(平成 23 年 3 月 31 日教育委員会規則第 9 号)
この規則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附則(平成 23 年 3 月 31 日教育委員会規則第 11 号)

この規則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附則(平成 24 年 3 月 30 日教育委員会規則第 8 号)

この規則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附則(平成 25 年 3 月 29 日教育委員会規則第 10 号)

この規則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附則(平成 27 年 3 月 27 日教育委員会規則第 2 号)

1 この規則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

2 改正前の第 1 号様式による用紙は、当分の間、修正して使用することができる。

教育委員会の権限に属する事務の委任

(平成 19 年 4 月 6 日教育委員会告示第 7 号)

地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 180 条の 7 の規定により、平成 19 年 4 月 1 日から次の表の左欄に掲げる者に当該右欄に掲げる香川県教育委員会の権限に属する事務を委任した。

左欄	右欄
政策部 文化芸術局長	1 香川県立ミュージアムの管理運営に関する事務(重要なものに限る。)
香川県立ミュージアム館長	1 香川県立ミュージアム条例(平成 11 年香川県条例第 6 号)第 4 条に規定する利用の許可及び利用の許可の変更に関すること。 2 香川県立ミュージアム規則(平成 11 年香川県教育委員会規則第 16 号。以下「ミュージアム規則」という。)第 3 条第 4 項に規定する開館時間の変更 3 ミュージアム規則第 4 条第 4 項に規定する休館日の変更及び設定 4 ミュージアム規則第 8 条に規定する利用の中止の届出の受理 5 ミュージアム規則第 9 条に規定する資料画像等の利用の許可に関すること。 6 ミュージアム規則第 13 条に規定する利用許可若しくは変更許可若しくは資料画像等の利用の許可の取消し又は香川県立ミュージアムの利用若しくは資料画像等の利用の停止の命令に関すること。 7 ミュージアム規則第 14 条に規定する入館の拒否及び退館の命令に関すること。 8 地方自治法第 238 条の 4 第 7 項に規定する行政財産の使用の許可に関すること。 9 ミュージアム規則に定めるもののほか、香川県立ミュ

ージামの管理運営に必要な事項を定めること（政策部文化芸術局長の項に定めるものを除く。）。

前文（抄）（平成 20 年 3 月 28 日教育委員会告示第 1 号）

平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

前文（抄）（平成 23 年 3 月 31 日教育委員会告示第 4 号）

平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

前文（抄）（平成 25 年 3 月 29 日教育委員会告示第 2 号）

平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

前文（抄）（平成 27 年 3 月 31 日教育委員会告示第 1 号）

平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

香川県立ミュージアムの管理運営のための組織規則

（平成 19 年 3 月 30 日規則第 29 号）

（趣旨）

第 1 条 この規則は、香川県立ミュージアム（以下「ミュージアム」という。）の管理運営を行うための組織について定めるものとする。

（組織）

第 2 条 ミュージアムに、総務課、学芸課、瀬戸内海歴史民俗資料館（以下「資料館」という。）及び香川県文化会館（以下「文化会館」という。）を置く。

（分掌事項）

第 3 条 総務課は、次の事務を処理する。

- (1) 職員の人事、給与及び服務に関すること。
- (2) 予算、決算及び会計に関すること。
- (3) 施設及び設備の利用及び管理に関すること。
- (4) 公印の管理に関すること。
- (5) 文書の收受、発送及び保存に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、学芸課、資料館及び文化会館の所掌に属しない事項に関すること。

2 学芸課は、次の事務を処理する。

- (1) 歴史、芸術及び民俗に関する資料（以下「資料」という。）の収集及び保管に関すること。
- (2) 資料の展示に関すること。
- (3) 資料の利用についての説明、助言、指導等に関すること。
- (4) 資料の専門的又は技術的な調査研究に関すること。

- (5) 歴史、芸術及び民俗についての講演会、講習会等の開催に関すること。

3 資料館は、次の事務を処理する。

- (1) 瀬戸内地方の資料の収集及び保管に関すること。
- (2) 瀬戸内地方の資料の展示に関すること。
- (3) 瀬戸内地方の資料の利用についての説明、助言、指導等に関すること。
- (4) 瀬戸内地方の資料の専門的又は技術的な調査研究に関すること。
- (5) 瀬戸内地方の歴史及び民俗についての講演会、講習会等の開催に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、館長が資料館に処理させることが適当と認めた事務に関すること。

4 文化会館は、次の事務を処理する。

- (1) 文化会館の施設、附属設備、器具等の利用及び管理に関すること。
- (2) 公印の管理に関すること。
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか、館長が文化会館に処理させることが適当と認めた事務に関すること。

（職員）

第 4 条 ミュージアムに、次の職員を置く。

- (1) 館長
- (2) 副館長
- (3) 課長
- (4) 瀬戸内海歴史民俗資料館長
- (5) 香川県文化会館長
- (6) 香川県文化会館次長
- (7) 副主幹
- (8) 主任専門職員
- (9) 主任専門学芸員
- (10) 主任文化財専門員
- (11) 主任
- (12) 専門職員
- (13) 専門学芸員
- (14) 文化財専門員
- (15) 主任学芸員
- (16) 学芸員
- (17) その他の職員

（職務）

第 5 条 館長は、上司の命を受けて、ミュージアムの業務を掌理し、所属の職員を指揮監督する。

2 副館長は、館長を補佐する。

3 課長は、上司の命を受けて、課の事務を処理する。

4 瀬戸内海歴史民俗資料館長は、上司の命を受けて、資料館の事務を処理する。

5 香川県文化会館長は、上司の命を受けて、文化会館の事務を処理する。

6 香川県文化会館次長は、香川県文化会館長を補佐する。

7 副主幹及び主任は、上司の命を受けて、事務を処理する。

8 主任専門職員、主任専門学芸員、主任文化財専門員、専門職員、専門学芸員、文化財専門員、主任学芸員及び学芸員は、上司の命を受けて、ミュージアムの専門的事務を処理する。

9 その他の職員は、上司の命を受けて、事務に従事する。

(補則)

第6条 この規則に定めるもののほか、ミュージアムの組織に関し必要な事項は、別に定める。

附則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附則(平成20年3月28日規則第25号)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附則(平成21年3月27日規則第28号)

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

香川県立ミュージアム使用料規則

(平成25年3月29日規則第16号)

(趣旨)

第1条 この規則は、香川県立ミュージアム条例(平成11年香川県条例第6号)第1条第1項の香川県立ミュージアム(以下「ミュージアム」という。)の使用料に関し必要な事項を定めるものとする。

(使用料)

第2条 香川県使用料、手数料条例(昭和27年香川県条例第2号)別表第1第1表使用料の部2公の施設の使用料香川県立ミュージアムの項に規定する規則で定める額並びに特別展示室を分割して利用する場合の使用料、利用時間を分割して利用する場合の使用料、午後5時後の時間において利用する場合の使用料並びに冷暖房使用料及び電気特別使用料並びに駐車場を回数券により利用する場合の使用料、同表使用料の部2公の施設の使用料香川県立ミュージアム瀬戸内海歴史民俗資料館の項に規定する規則で定める額並びに同表使用料の部2公の施設の使用料香川県立ミュージアム香川県文化会館の項に規定する規則で定める額並びに芸能ホールを準備又は練習のために利用する場合の使用料、県民ギャラリー又は和室を分割し

て利用する場合の使用料、芸能ホール又は和室を利用時間を分割して利用する場合の使用料、午後9時後(県民ギャラリーにあっては、午後5時後)の時間において利用する場合の使用料並びに冷暖房使用料及び電気特別使用料は、別表第1のとおりとする。

2 香川県使用料、手数料条例別表第1第1表使用料の部2公の施設の使用料香川県立ミュージアムの項に規定する歴史展示室、常設展示室及び特別展示室を香川県立ミュージアム年間観覧券により観覧する場合の観覧料並びに同表使用料の部2公の施設の使用料香川県立ミュージアム香川県文化会館の項に規定する県民ギャラリーを香川県立ミュージアム年間観覧券により観覧する場合の観覧料は、別表第2のとおりとする。

(使用料の還付)

第3条 次の各号のいずれかに該当するときは、当該各号に定める額の使用料を還付する。

(1) 天災地変その他香川県立ミュージアム規則(平成11年香川県教育委員会規則第16号。以下「ミュージアム規則」という。)第7条第1項に規定する利用者(以下「利用者」という。)の責めに帰することができない理由により利用できなくなったとき。 全額

(2) ミュージアム規則第7条第1項に規定する変更許可により過納額が生じたとき。 当該過納額

(3) ミュージアム規則第5条に規定する特別展示室等を利用する日(2日以上継続して利用する場合は、その初日)の1月前までにミュージアム規則第8条の規定による届出があったとき。 半額

(観覧料の免除)

第4条 第1号から第7号までのいずれかに該当する者については歴史展示室、常設展示室及び特別展示室並びに県民ギャラリーの観覧料を、第8号に該当する者については特別展示室又は県民ギャラリーを観覧する日に限り歴史展示室及び常設展示室の観覧料を、第9号に該当する者については知事が定める観覧料を免除する。

(1) 65歳以上の者

(2) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第4項の規定により交付を受けた身体障害者手帳に身体上の障害がある者として記載されている者

(3) 都道府県知事又は地方自治法(昭和22年法律第67号)第252条の19第1項に規定する指定都市の市長が交付した療育手帳に本人として記載されている者

(4) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律

(昭和 25 年法律第 123 号) 第 45 条第 2 項の規定により交付を受けた精神障害者保健福祉手帳に精神障害の状態にある者として記載されている者

(5) 保護施設、児童福祉施設及び老人福祉施設の在籍者で、当該施設の職員が引率の上入室する者

(6) 学校等における教育活動として、学齢に達しない者、児童、中学校生徒、高等学校生徒及びこれらに準ずる者を引率の上入室する者

(7) 国際博物館の日(5月18日(その日がミュージアム規則第4条に規定するミュージアムの休館日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休館日でない日))に入室する者

(8) 特別展示室又は県民ギャラリーを観覧する者

(9) 前各号に掲げる者のほか、知事が特に必要があると認めた者

2 前項第1号に掲げる者は、入室の際、同号に該当することを証明するに足りる書類を提示しなければならない。

3 第1項第2号に掲げる者は、入室の際、身体障害者手帳を提示しなければならない。

4 第1項第3号に掲げる者は、入室の際、療育手帳を提示しなければならない。

5 第1項第4号に掲げる者は、入室の際、精神障害者保健福祉手帳を提示しなければならない。

6 第1項第5号に掲げる者は、入室の際、当該施設に在籍していることを証明するに足りる書類を提示しなければならない。

7 第1項第6号に掲げる者は、あらかじめ、観覧料免除申請書(別記様式)を知事に提出し、その許可を受けなければならない。

8 第1項第8号に掲げる者は、入室の際、特別展示室観覧券又は県民ギャラリー観覧券を提示しなければならない。

(観覧料の減額)

第5条 次の各号のいずれかに該当する者については、歴史展示室、常設展示室及び特別展示室並びに県民ギャラリーの観覧料を、団体で利用する場合における歴史展示室、常設展示室及び特別展示室並びに県民ギャラリーの観覧料に相当する額に減額する。

(1) かがわウエルカムカード(公益社団法人香川県観光協会が外国人に対し交付する証票で、当該外国人が県内の観光に関する施設等を利用する際に提示することにより当該利用に係る料金の割引等を受けることができるものをいう。以下同じ。)の交付を受けている者

(2) 文化観光施設入場割引券(公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローが県内で開催され

る大会等の参加者に対し交付する証票で、当該参加者が県内の観光に関する施設等を利用する際に提出することにより当該利用に係る料金の割引を受けられるものをいう。以下同じ。)の交付を受けている者

(3) 前2号に掲げる者のほか、知事が特に必要があると認めた者

2 前項第1号に掲げる者は、入室の際、かがわウエルカムカードを提示しなければならない。

3 第1項第2号に掲げる者は、入室の際、文化観光施設入場割引券を提出しなければならない。

4 学齢に達しない者、児童、中学校生徒、高等学校生徒及びこれらに準ずる者並びに前条第1項第1号から第4号までのいずれかに該当する者については、第2条第2項に規定する観覧料を、その3分の1に相当する額に減額する。この場合において、10円未満の端数は、切り捨てるものとする。

(資料画像等使用料の免除)

第6条 次の各号のいずれかに該当する者については、資料画像等使用料を免除する。

(1) 歴史、芸術及び民俗に関する教育、学術上の調査研究又は啓発を目的として資料画像等の利用をする者

(2) ミュージアムの広報に資する用途に供することを目的として資料画像等の利用をする者

(3) 前2号に掲げる者のほか、知事が特に必要があると認めた者

(補則)

第7条 この規則に定めるもののほか、ミュージアムの使用料に関し必要な事項は、別に定める。

附則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附則(平成26年3月31日規則第30号)

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附則(平成27年3月27日規則第14号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附則(平成28年3月31日規則第22号)

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附則(平成29年3月14日規則第9号)

この規則は平成29年4月1日から施行する。

香川県立ミュージアムの歴史、 美術及び民俗に関する資料収集要綱 (趣旨)

第1条 この要綱は、香川県立ミュージアムの歴史、美術及び民俗に関する資料(以下「資料」という。)の収集に関し、必要な事項を定める。

(収集する資料)

第2条 収集は、歴史、美術及び民俗に関する実物のほか、標本、複写、模型、文献、図表、写真、フィルム、レコード、電磁的記録その他の資料について行い、以下の収集方針に沿って行う。

(1) 歴史資料

香川県の歴史の解明に役立つ資料および資料群
展示公開、調査研究、教育普及活動において活用できる資料および資料群

(2) 美術資料

香川県ゆかりの作家で美術史上特筆される活躍をした作家の代表的作品および資料

香川の工芸史を展覧する上で必要な作家の作品および資料

近代以降わが国及び世界の美術分野で活躍した作家の作品および資料

展示公開、調査研究、教育普及活動において活用できる作品および資料

(3) 民俗資料

香川県および瀬戸内地方の文化的価値の解明に役立つ有形・無形の資料および資料群

展示公開、調査研究、教育普及活動において活用できる資料および資料群

(資料収集の方法)

第3条 資料の収集は、次の各号に掲げる方法により行う。

- (1) 購入
- (2) 寄贈
- (3) 寄託
- (4) 発掘・採集
- (5) 製作

(資料の調査研究・鑑定評価・意見聴取)

第4条 館長は、資料を収集しようとするときは、あらかじめ当該資料について調査研究及び鑑定評価を行うものとする。

2 購入価格が1件100万円を超える資料を購入しようとするときは、館長が別に定めるところにより意見聴取を行うものとする。

(申込書の提出)

第5条 館長は、寄贈又は寄託の申込みがあった資料を収集しようとするときは、速やかに当該資料の所有者に対し、寄贈申込書(様式1)又は寄託申込書(様式2)の提出を求めるものとする。ただし、寄贈申込書又は寄託申込書により難いときは、その都度別に定めるところによるものとする。

(寄託契約)

第6条 寄託資料は、歴史、美術及び民俗に関する資料寄託契約書(様式3)に目録を添付し、受託するものとする。

(寄託期間)

第7条 寄託契約の期間は、原則として2年とし、期間満了の2ヶ月前までにいずれか一方から文書による別段の意思表示がないときは、自動的に契約期間を更新したものとする。ただし、契約期間中において、特別な事情が生じたときは、寄託者と協議のうえ寄託資料を返還するものとする。

(受領書の交付)

第8条 寄贈資料又は寄託資料を受領した場合は、速やかに受領書(様式4)を寄贈申込者又は寄託申込者に交付する。

(感謝状の贈呈)

第9条 資料の寄贈申込者に対しては、資料の寄贈に伴う感謝状贈呈基準(別記)に基づいて感謝状の贈呈を行うものとする。ただし、特別な事情がある場合は、その都度別に定めるものとする。

(補則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、資料の収集に関し必要な事項は、館長が別に定める。

附則

- 1 この要綱は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 香川県歴史博物館の歴史、民俗資料収集に関する要綱(次項において「旧要綱」という。)は、廃止する。
- 3 この要綱の施行日前に旧要綱の規定に基づいてなされた寄附申込、寄託契約その他の手続であって、この要綱に相当の規定があるものは、この要綱の規定に基づいてなされた手続とみなす。

附則

この要綱は、平成22年4月1日から施行する。

附則

この要綱は、平成25年11月1日から施行する。
香川県立ミュージアムの歴史、美術及び民俗に関する資料利用要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、「財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例」(昭和39年3月31日条例第29号)第7条に基づき、香川県立ミュージアム(以下「ミュージアム」という。)が管理する歴史、美術及び民俗に関する資料(以下「資料」という。)の利用に関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 資料とは、ミュージアムにおいて特別な管理がされている実物資料(以下「一次資料」という。)のほか、一次資料に関する写真原板、画像データ、複製品、調査資料等(以下「二次資料」という。)をいう。

2 資料の利用とは、資料の館外貸出し、資料の閲覧をいう。

(資料貸出しの手続)

第3条 資料の館外貸出しを希望する者は、資料貸出申込書(様式第1号)に必要事項を記載し、貸出しを受けようとする期間の初日の30日前までに館長に提出して、承諾を受けなければならない。

2 資料の貸出しを承諾する場合は、館長が資料貸出承諾書(様式第2号)を交付する。

3 資料の貸出しの承諾を受けた者(以下「借受者」という。)は、当該資料の引渡しに際し、資料預りを示す書面を館長に提出しなければならない。本書面は資料返却後に借受者へ返却する。

(資料貸出しの承諾と条件)

第4条 資料の館外貸出しを受けることができる者は、次のとおりとする。

(1) 国立の博物館、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項に規定する博物館及び同法第29条の規定する博物館に相当する施設

(2) その他館長が適当と認めたる者

2 資料の貸出し承諾は、次にかかげる場合に承諾することができる。

(1) 歴史、美術及び民俗に関する普及、啓発及び学術研究に資する。

(2) 資料が良好な状態で管理・利用される。

(3) 貸出し期間が原則として60日以内で、そのうち展示期間が30日以内である。ただし、資料の材質・状態によってはこの限りではない。

(4) 資料の内、歴史資料や古美術資料等、館長が指定する資料については、原則としてケース内展示とする。

(5) 資料が寄託されたものであるときは、所有者の同意が得られている。

3 借受者は、資料の貸出しに際し次にかかげる事項を遵守しなければならない。

(1) 資料貸出承諾書に記載した目的以外に資料を使用しないこと。

(2) 資料の取り扱い、輸送及び保管については、係員の指示に従うこと。

(3) 資料の貸出し、返却及び貸出し期間中の保管等に要する経費をすべて借受者が負担すること。

(4) その他必要に応じた条件に従うこと。

4 借受者に、前項に違反する行為があるとき、若しくは違反するおそれがあるとき、又は特別の理由が生じたときは、館長は貸出しの承諾を取り消すことができる。この場合において、ミュージアムは、この際生じた借受者の損害について、その責を負わ

ないものとする。

(資料閲覧等の手続)

第5条 資料の閲覧等を希望する者は、資料閲覧申込書(様式第3号)に、閲覧目的その他必要事項を記載し、原則として資料を閲覧しようとする期日の初日の14日前までに館長に提出して、承諾を受けなければならない。

2 閲覧の利用を承諾する場合は、館長が資料閲覧承諾書(様式第4号)を交付する。

(資料閲覧等の承諾と条件)

第6条 資料の閲覧等は、次にかかげる場合に承諾することができる。

(1) 歴史、美術及び民俗に関する普及、啓発及び学術研究に資すると認められる。

(2) 人権やプライバシー等を侵害するおそれがないと認められる。

(3) 資料の保存に悪影響を及ぼさないと認められる。

(4) ミュージアムの事業運営に支障をきたさないと認められる。

(5) 資料が寄託されたものであるときは、所有者の同意が得られている。

2 資料の閲覧等の承諾を受けた者(以下「閲覧者」という。)は、次にかかげる事項を遵守しなければならない。

(1) 資料は、資料閲覧承諾書に記載した目的以外に使用しないこと。

(2) 資料の閲覧等は、館長の指定した日時、場所で行うこと。

(3) 資料の取扱いは、係員の指示に従うこと。

(4) 資料の閲覧等に要する経費は、すべて閲覧者の負担とすること。

(5) その他必要に応じた条件に従うこと。

3 閲覧者に、前項に違反する行為があるとき、又は違反するおそれがあるときは、館長はその承諾を取り消すことができる。この場合において、ミュージアムは、この際生じた閲覧者の損害について、その責を負わないものとする。

(損害賠償)

利用案内（平成30年4月1日現在）

◆本館

- 開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
 特別展開催時の金曜日は原則午後7時30分まで開館（入館は午後7時まで）
- 休館日 ・毎週月曜日（月曜日が休日の場合は、原則として翌火曜日）
 ・年末年始（12月25日～1月1日）
 ただし、ゴールデンウィークの期間は無休
 詳細は「香川県立ミュージアム年間スケジュール」をご覧ください。
- 観覧料 常設展（歴史展示室・常設展示室）
 一般個人 410円
 一般団体（20人以上） 330円
 高校生以下 無料
- ・特別展は展覧会により異なります。
 - ・特別展観覧券で常設展もご覧いただけます。（一部の特別展を除く）
 - ・次の方は観覧料が免除されます。当館受付にて証明するものをご提示ください。
 - *高校生以下の方
 - *65歳以上の方
 - *身体障害者手帳等をお持ちの方
 - *学校教育活動の一環として児童生徒と入室する引率者
 - *このほかにも無料もしくは免除になる場合がありますので、詳しくはお問い合わせ下さい。

- 交通案内 JR高松駅から東へ900m
 ことடன்高松築港駅から東へ800m
 ことடன்片原町駅から北へ500m
- ・岡山・愛媛・高知方面から
 高松自動車道高松西ICより車で約30分
 - ・徳島方面から
 高松自動車道高松中央ICより車で約25分
 - ・高松空港から
 JR高松駅までリムジンバスで35分

- 駐車場 地下駐車場（普通乗用車50台）
- ・使用料：25分あたり100円
 - ・使用時間：午前9時～午後10時
- 別に、大型バス3台駐車可能（事前申込が必要です。）
 近くに香川県玉藻町駐車場（有料）があります。

利用案内（平成30年4月1日現在）



〒760-0030 高松市玉藻町5番5号
 TEL. 087-822-0002 (代)

◆分館 瀬戸内海歴史民俗資料館

- 開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
休館日 ・毎週月曜日（月曜日が休日の場合は、原則として翌火曜日）
・年末年始（12月29日～1月3日）
観覧料 無料
交通案内 五色台北端部に立地
・R高松駅、坂出駅から車で25分程度
・坂出ICから車で30分程度
（いずれも県道大越線の大崎の鼻経由）
駐車場 普通車30台、大型バス可（無料）



〒761-8001 高松市亀水町 1412-2
TEL. 087-881-4707
<http://www.pref.kagawa.lg.jp/setorekishi/>

◆分館 香川県文化会館

- 利用時間 県民ギャラリー 午前9時～午後5時（金曜日は午後7時30分まで）
芸能ホール・和室 午前9時～午後10時
休館日 年末年始（12月29日～1月3日）
交通案内 JR高松駅から南へ1.5km
ことでん瓦町駅から西へ1.2km
駐車場 香川県番町地下駐車場（有料）
高松市立中央駐車場（有料）



〒760-0017 高松市番町1-10-39
TEL. 087-831-1806
<http://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/>

香川県立ミュージアム年報 第10号 (平成29年度)

発行日 平成30年7月31日

編集発行 香川県立ミュージアム

香川県高松市玉藻町5番5号

TEL (087) 822-0002 (代) FAX (087) 822-0043

URL <http://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/>